

少子化対策のためのアンケート

【報告書】

上田市政策企画部政策企画課

令和4年12月

アンケート概要

1 調査の目的

少子化対策プロジェクトの中で設定した上田市の少子化原因の要因仮説を裏付けるものとして調査を実施。

2 調査対象

令和4年4月1日現在で満15歳以上の人

3 調査期間

令和4年11月11日（金）～令和4年11月28日（月）

4 調査方法

ながの電子申請サービスによるアンケート

（周知は「上田市メール」「市 Twitter」「各関係課窓口によるチラシ配布」「職員掲示板」による）

5 回答状況

回答数：1035件

6 集計上の留意点

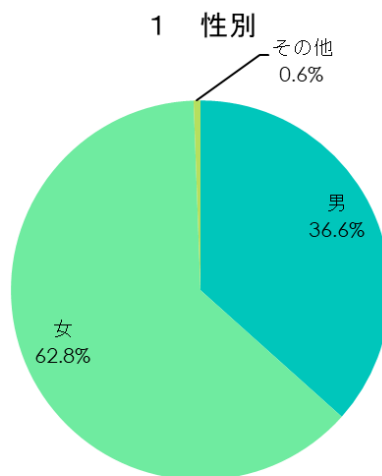
・単回答設問の集計には特に断りせず、複数回答設問の集計には「複数回答」と付記しました。

アンケート調査結果：単純集計

1 回答者属性

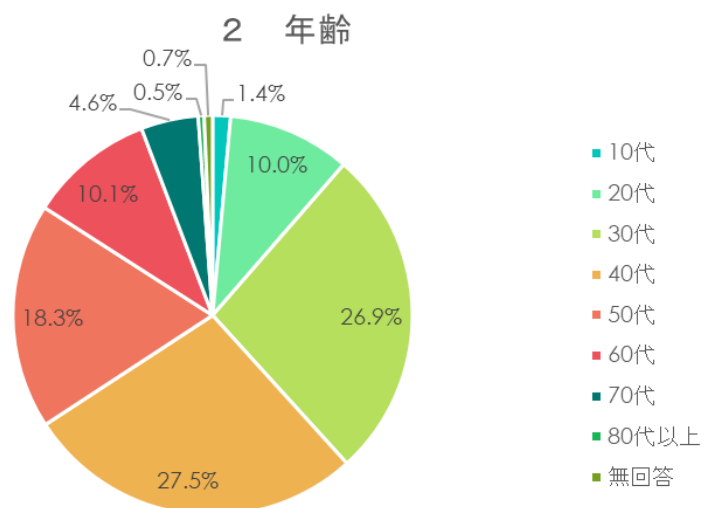
【問 1.性別】

回答	回答数	割合
男	379	36.6%
女	650	62.8%
その他	6	0.6%
総数	1035	100.0%



【問 2.年齢】

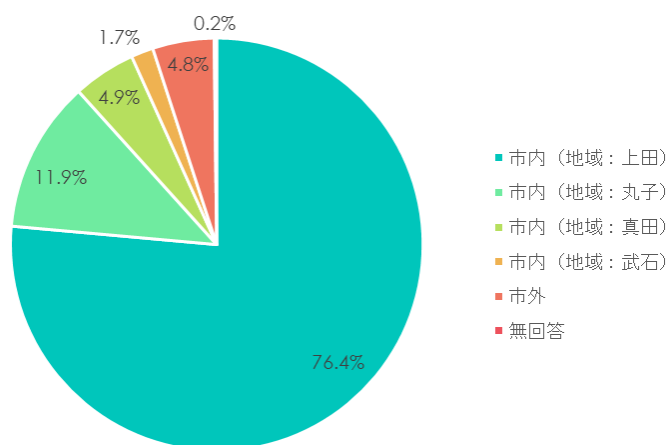
回答	回答数	割合
10代	15	1.4%
20代	103	10.0%
30代	278	26.9%
40代	285	27.5%
50代	189	18.3%
60代	105	10.1%
70代	48	4.6%
80代以上	5	0.5%
無回答	7	0.7%
総数	1035	100.0%



【問 3.居住地】

回答	回答数	割合
市内(地域:上田)	791	76.4%
市内(地域:丸子)	123	11.9%
市内(地域:真田)	51	4.9%
市内(地域:武石)	18	1.7%
市外	50	4.8%
無回答	2	0.2%
総数	1035	100.0%

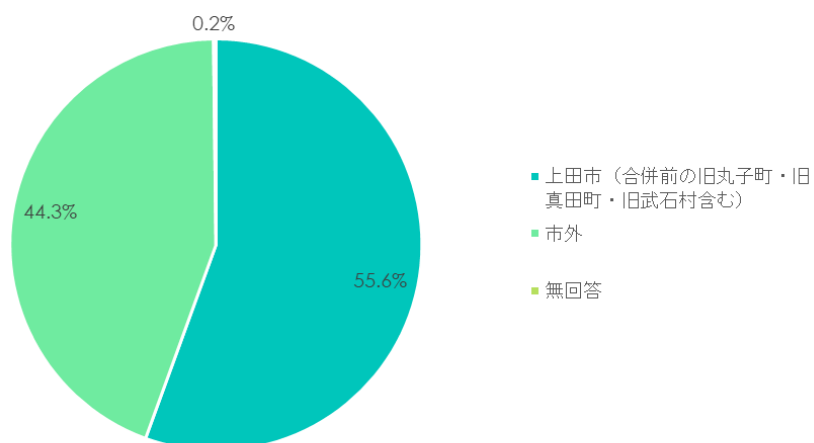
3 居住地



【問 4.出身地】

回答	回答数	割合
上田市(合併前の旧丸子町・旧真田町・旧武石村含む)	575	55.6%
市外	458	44.3%
無回答	2	0.2%
総数	1035	100.0%

4 出身地

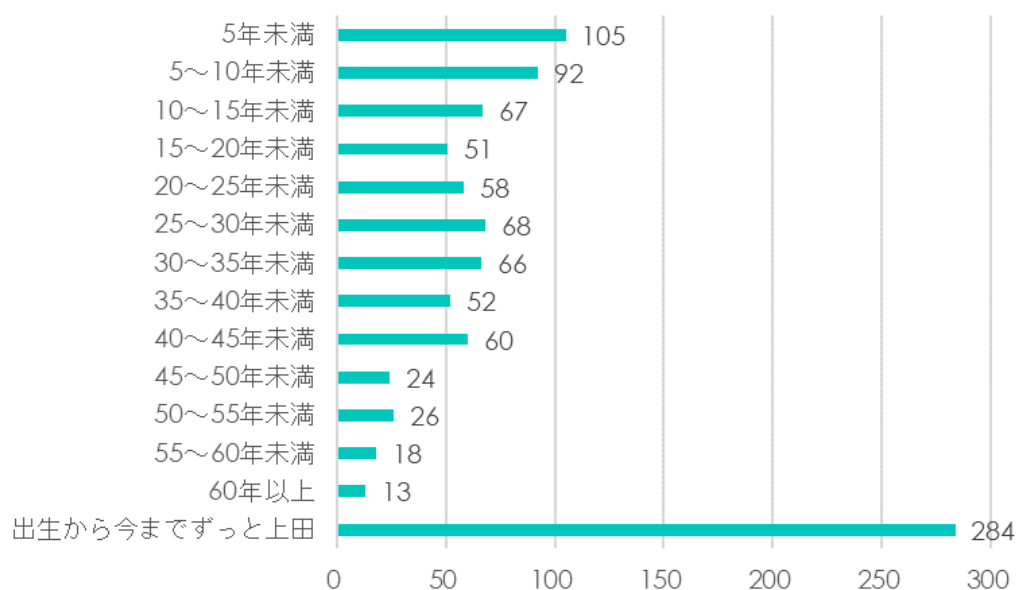


【問 5.市内居住年数】

「市内居住者」に質問（問 3：居住地市内に回答項目表示）

回答	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30～35年未満	35～40年未満	40～45年未満	45～50年未満	50～55年未満	55～60年未満	60年以上	ずっと上田 出生から今まで	総数
回答数	105	92	67	51	58	68	66	52	60	24	26	18	13	284	984
割合(%)	10.7	9.3	6.8	5.2	5.9	6.9	6.7	5.3	6.1	2.4	2.6	1.8	1.3	28.9	100.0

5 市内居住年数

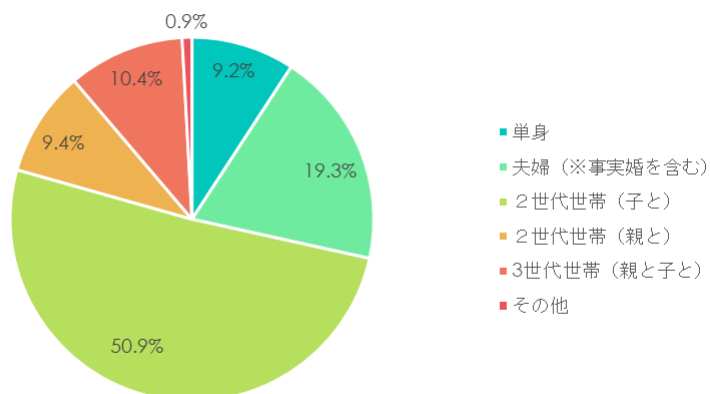


【問 6.同居の家族構成】

⇒「2世代世帯（子と）」の割合が50%を超え、子育て世帯のアンケートへの関心が高いことが分かる。

回答	回答数	割合
単身	95	9.2%
夫婦（※事実婚を含む）	199	19.3%
2世代世帯（子と）	526	50.9%
2世代世帯（親と）	97	9.4%
3世代世帯（親と子と）	107	10.4%
その他	9	0.9%
総数	1033	100.0%

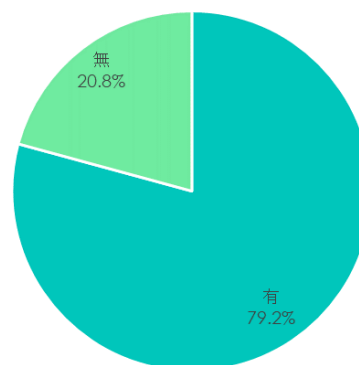
6 同居の家族構成



【問 7.配偶者の有無】

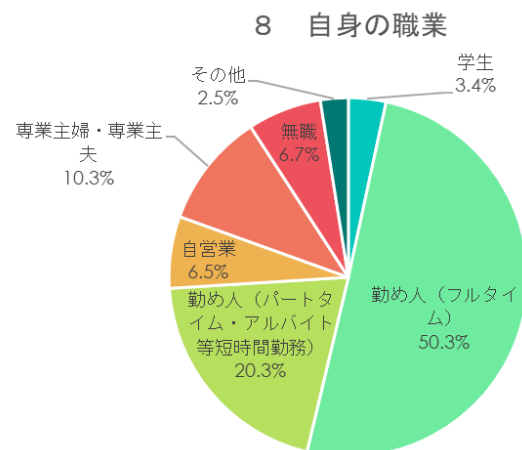
回答	回答数	割合
有	820	79.2%
無	215	20.8%
総数	1035	100.0%

7 配偶者の有無



【問 8.自身の職業】

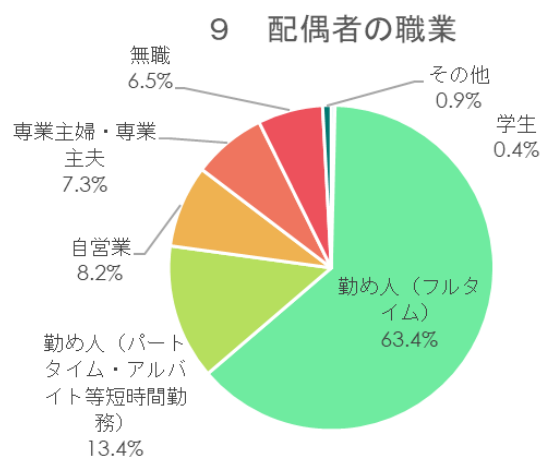
回答	回答数	割合
学生	35	3.4%
勤め人(フルタイム)	521	50.3%
勤め人(パートタイム・アルバイト等短時間勤務)	210	20.3%
自営業	67	6.5%
専業主婦・専業主夫	107	10.3%
無職	69	6.7%
その他	26	2.5%
総数	1035	100.0%



【問 9.配偶者の職業】

「有配偶者」に質問（問 7：配偶者有のみに回答項目表示）

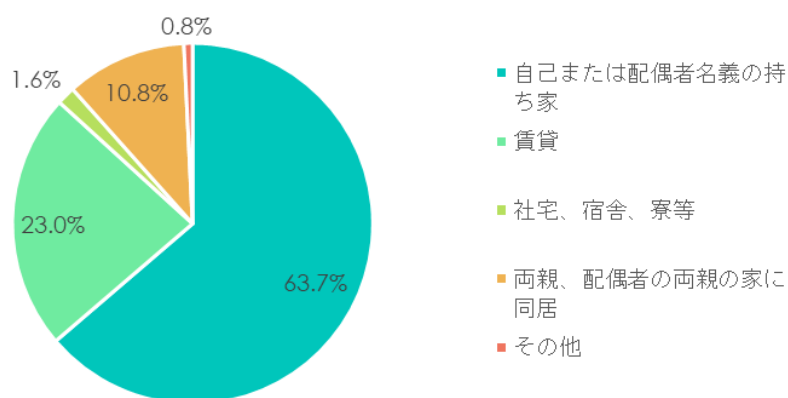
回答	回答数	割合
学生	3	0.4%
勤め人(フルタイム)	519	63.4%
勤め人(パートタイム・アルバイト等短時間勤務)	110	13.4%
自営業	67	8.2%
専業主婦・専業主夫	60	7.3%
無職	53	6.5%
その他	7	0.9%
総数	819	100.0%



【問 10.住まいの形態】

回答	回答数	割合
自己または配偶者名義の持ち家	659	63.7%
賃貸	238	23.0%
社宅、宿舍、寮等	17	1.6%
両親、配偶者の両親の家に同居	112	10.8%
その他	8	0.8%
総数	1034	100.0%

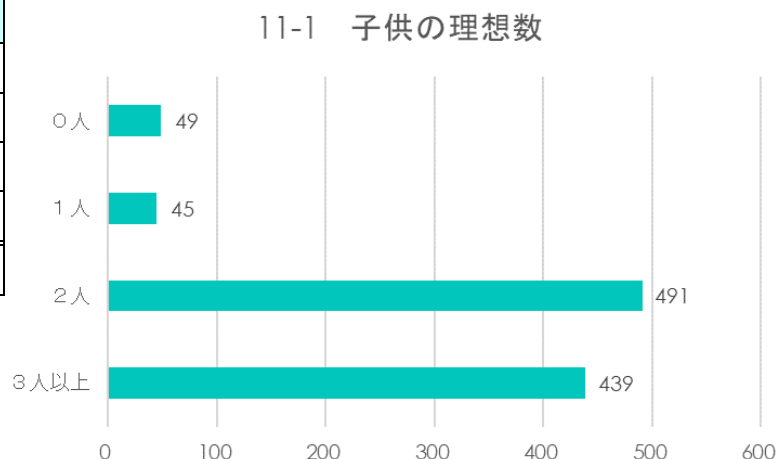
10 住まいの形態



【問 11-1.子供の理想数】

⇒理想の子供の人数は2人以上（「2人」「3人以上」の合計）の回答が90%以上となった。

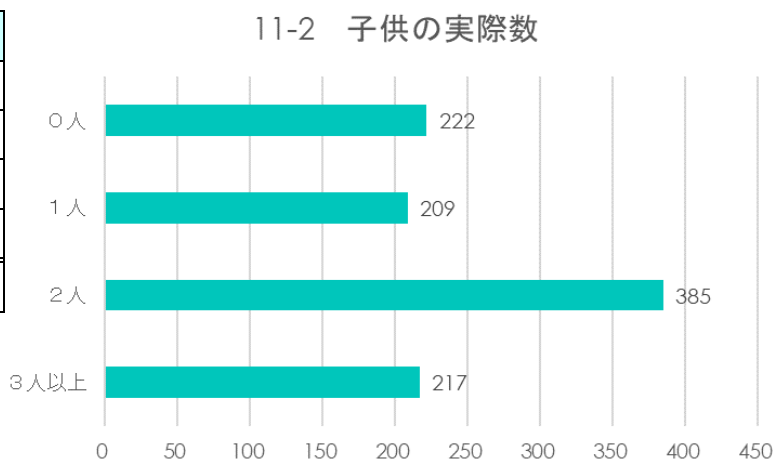
回答	回答数	割合
0人	49	4.8%
1人	45	4.4%
2人	491	47.9%
3人以上	439	42.9%
総数	1024	100.0%



【問 11-2.子供の実際数】

⇒実際の子供の人数は「2人」が最も多い。

回答	回答数	割合
0人	222	21.5%
1人	209	20.2%
2人	385	37.3%
3人以上	217	21.0%
総数	1033	100.0%

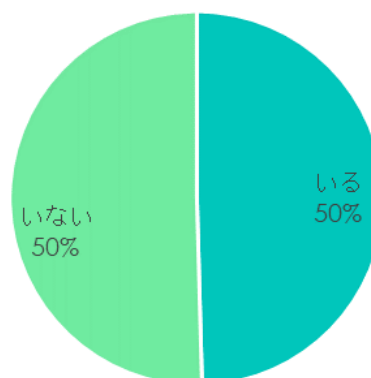


【問 12.小学生以下の子供の有無】

「子供のいる人」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
いる	402	49.6%
いない	409	50.4%
総数	811	100.0%

12 小学生以下の子供の有無



【問 13-1.学生の進路希望】

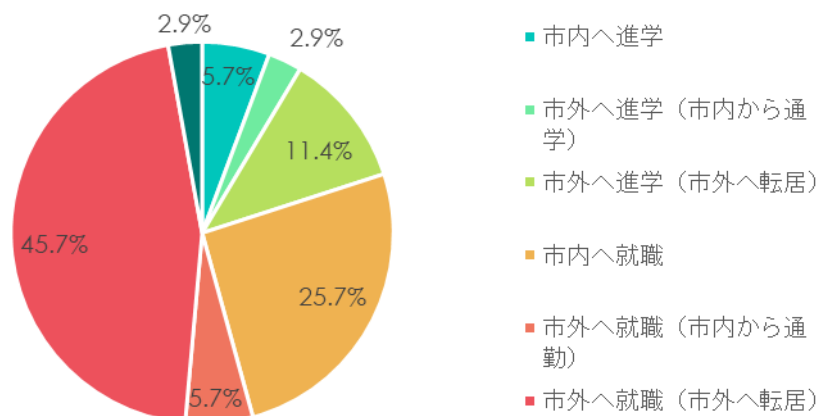
「学生」に質問（問 8：学生のみ回答項目表示）

⇒回答者の母数が少ないが、「市外へ進学」が 14.3%、「市外へ就職」が 51.4%となり、「市内への進学・就職」を大きく超える結果となった。

⇒「市外への進学・就職」の中でも「市外へ転居」を希望する人の割合が高い。近隣地域や圏域内においても学生のニーズに応えられていない現状がうかがえる。

回答	回答数	割合
市内へ進学	2	5.7%
市外へ進学(市内から通学)	1	2.9%
市外へ進学(市外へ転居)	4	11.4%
市内へ就職	9	25.7%
市外へ就職(市内から通勤)	2	5.7%
市外へ就職(市外へ転居)	16	45.7%
未定	1	2.9%
総数	35	100.0%

13-1 学生の進路希望



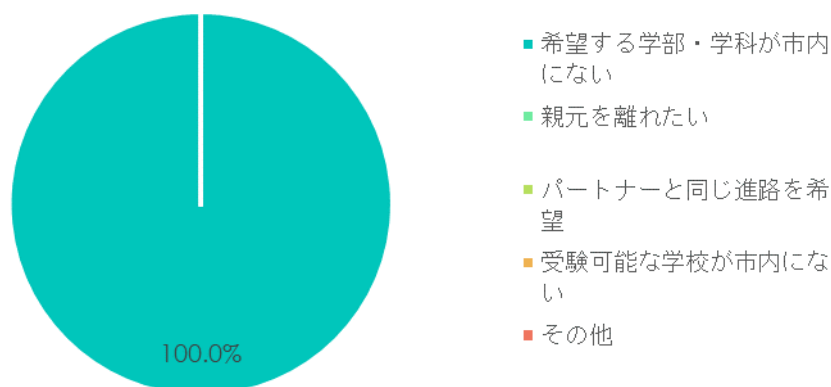
【問 13-2. 学生の市外進学希望の理由】

「学生」で「進路希望が「市外へ進学」者」へ質問（問 8：学生、及び、問 13-1：市外へ進学（市内から通学）・市外へ進学（市外へ転居）のみに回答項目表示）

⇒回答者の母数が少ないが、市外進学希望の理由は「希望する学部・学科が市内にない」のみだった。

回答	回答数	割合
希望する学部・学科が市内にない	5	100.0%
親元を離れたい	0	0.0%
パートナーと同じ進路を希望	0	0.0%
受験可能な学校が市内にない	0	0.0%
その他	0	0.0%
総数	5	100.0%

13-2 学生の市外進学希望理由



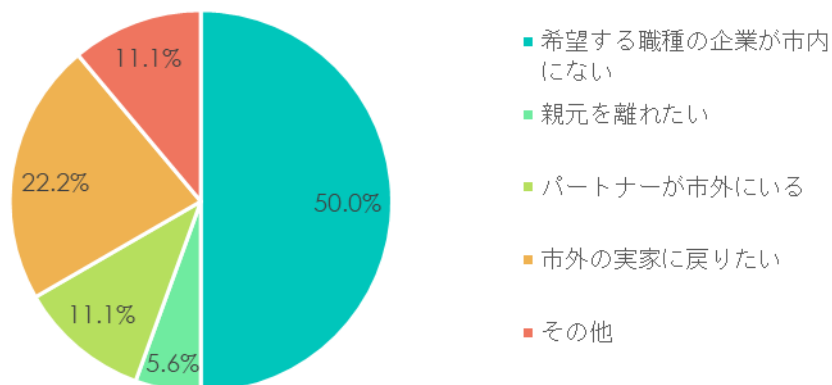
【問 13-3.学生の市外就職希望の理由】

「学生」で「進路希望が「市外へ就職」者」へ質問（問 8：学生、及び、問 13-1：市外へ就職（市内から通勤）・市外へ就職（市外へ転居）のみに回答項目表示）

その他の内容は「働きたい場所が市外にある」「魅力がない」であった。

回答	回答数	割合
希望する職種の企業が市内にない	9	50.0%
親元を離れたい	1	5.6%
パートナーが市外にいる	2	11.1%
市外の実家に戻りたい	4	22.2%
その他	2	11.1%
総数	18	100.0%

13-3 学生の市外就職希望理由



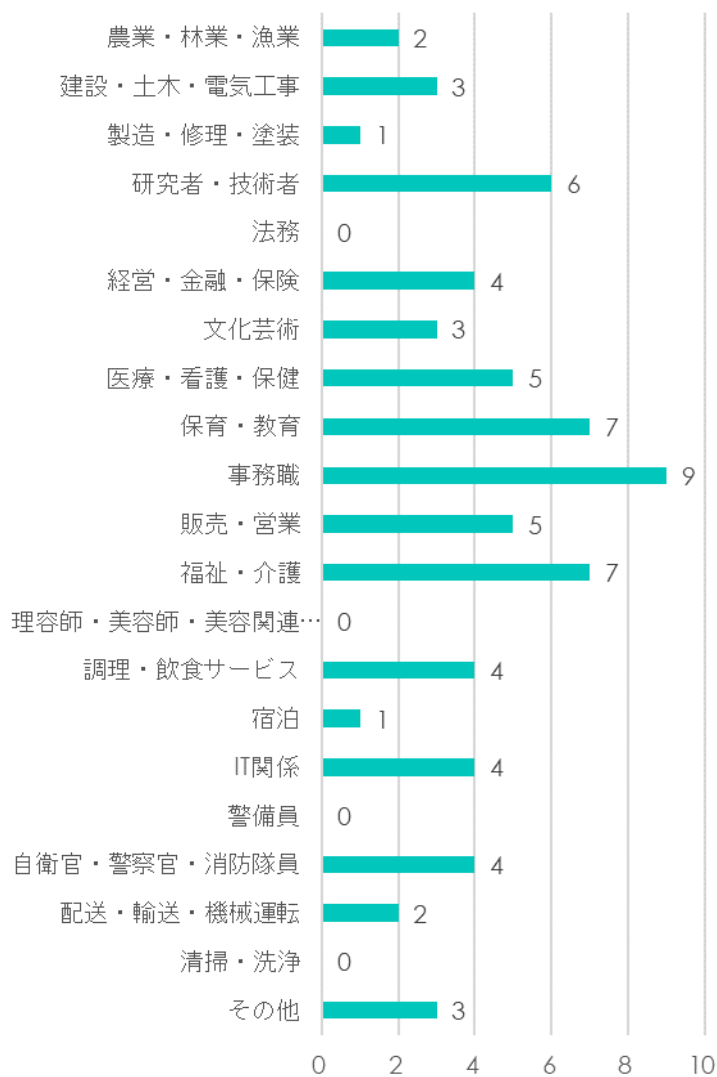
【問 13-4.学生の就職希望職種：複数回答】

「学生」に質問（問 8：学生のみ回答項目表示）

⇒回答数が少なく、傾向をつかむのは困難だった。

回答	回答数	割合
農業・林業・漁業	2	2.9%
建設・土木・電気工事	3	4.3%
製造・修理・塗装	1	1.4%
研究者・技術者	6	8.6%
法務	0	0.0%
経営・金融・保険	4	5.7%
文化芸術	3	4.3%
医療・看護・保健	5	7.1%
保育・教育	7	10.0%
事務職	9	12.9%
販売・営業	5	7.1%
福祉・介護	7	10.0%
理、美容師・美容関連サービス	0	0.0%
調理・飲食サービス	4	5.7%
宿泊	1	1.4%
IT関係	4	5.7%
警備員	0	0.0%
自衛官・警察官・消防隊員	4	5.7%
配送・輸送・機械運転	2	2.9%
清掃・洗浄	0	0.0%
その他	3	4.3%
総数	70	100.0%

13-4 就職希望職種



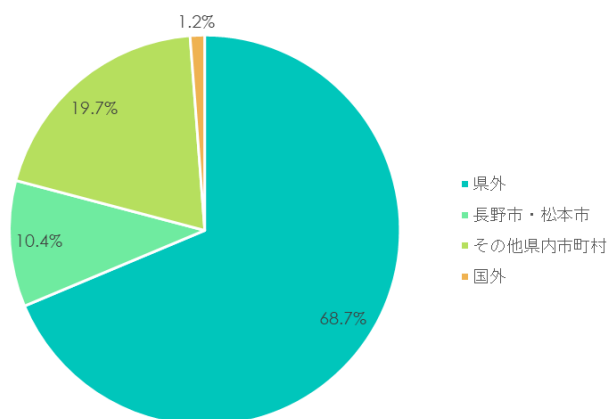
【問 14-1.市外在住の子供の居住地】

「市内居住者」で「子供が市外で生活している人」に質問（問 3：市内居住者、及び、問 11-2：

1人以上子供のいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
県外	171	68.7%
長野市・松本市	26	10.4%
その他県内市町村	49	19.7%
国外	3	1.2%
総数	249	100.0%

14-1 子供の居住地



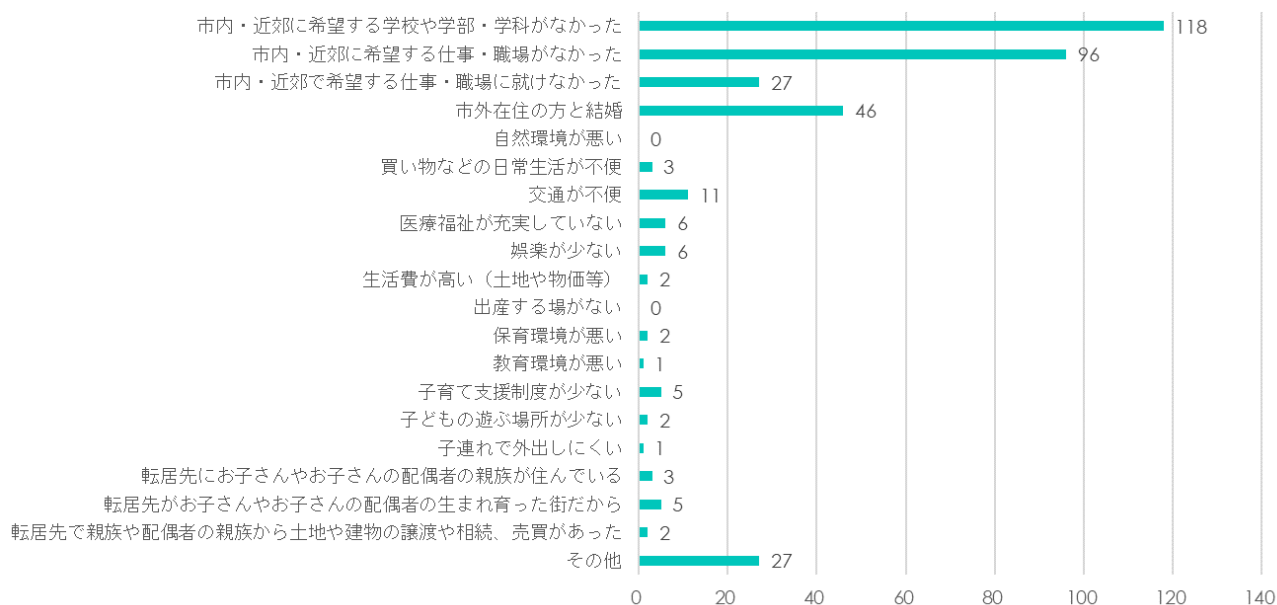
【問 14-2.市外在住の子供の転出理由：複数回答】

「市内居住者」で「子供が市外で生活している人」に質問（問 3：市内居住者、及び、問 11-2：

1人以上子供のいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	118	32.5%
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	96	26.4%
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	27	7.4%
市外在住の方と結婚	46	12.7%
自然環境が悪い	0	0.0%
買い物などの日常生活が不便	3	0.8%
交通が不便	11	3.0%
医療福祉が充実していない	6	1.7%
娯楽が少ない	6	1.7%
生活費が高い(土地や物価等)	2	0.6%
出産する場がない	0	0.0%
保育環境が悪い	2	0.6%
教育環境が悪い	1	0.3%
子育て支援制度が少ない	5	1.4%
子どもの遊ぶ場所が少ない	2	0.6%
子連れで外出しにくい	1	0.3%
転居先にお子さんやお子さんの配偶者の親族が住んでいる	3	0.8%
転居先がお子さんやお子さんの配偶者の生まれ育った街だから	5	1.4%
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	2	0.6%
その他	27	7.4%
総数	363	100.0%

14-2 子供の市外転出理由



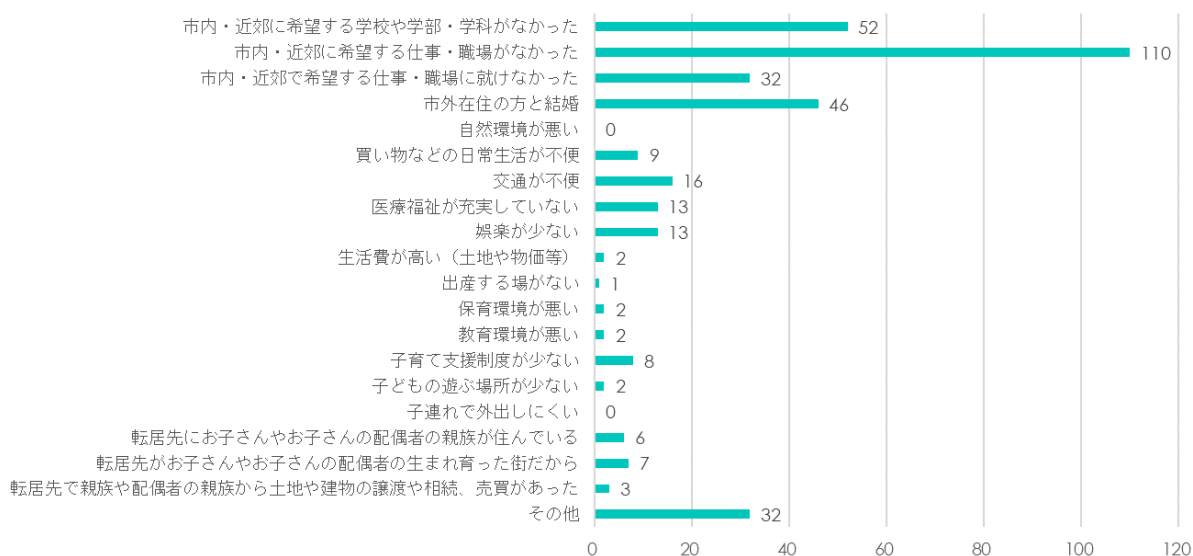
【問 14-3.市外在住の子供の市内へ戻らない・戻れない理由：複数回答】

「市内居住者」で「子供が市外で生活している人」に質問（問 3：市内居住者、及び、問 11-2：

1人以上子供のいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	52	14.6%
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	110	30.9%
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	32	9.0%
市外在住の方と結婚	46	12.9%
自然環境が悪い	0	0.0%
買い物などの日常生活が不便	9	2.5%
交通が不便	16	4.5%
医療福祉が充実していない	13	3.7%
娯楽が少ない	13	3.7%
生活費が高い(土地や物価等)	2	0.6%
出産する場がない	1	0.3%
保育環境が悪い	2	0.6%
教育環境が悪い	2	0.6%
子育て支援制度が少ない	8	2.2%
子どもの遊ぶ場所が少ない	2	0.6%
子連れで外出しにくい	0	0.0%
転居先にお子さんやお子さんの配偶者の親族が住んでいる	6	1.7%
転居先がお子さんやお子さんの配偶者の生まれ育った街だから	7	2.0%
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	3	0.8%
その他	32	9.0%
総数	356	100.0%

14-3 子供の市内へ戻らない・戻れない理由

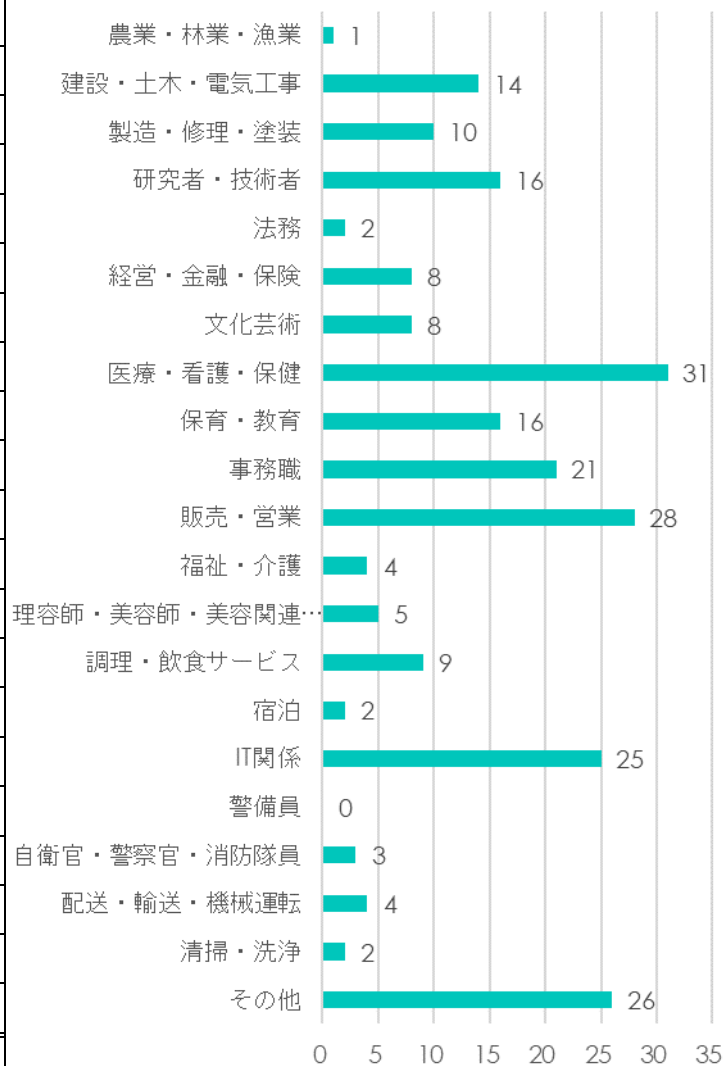


【問 14-4.市外在住の子供の職種：複数回答】

「市内居住者」で「子供が市外で生活している人」で、「子供の転出理由・戻らない戻れない理由が市内近郊に希望する仕事職場がなかった」人に質問（問 3：市内居住者、及び、問 11-2：1人以上子供のいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
農業・林業・漁業	1	0.4%
建設・土木・電気工事	14	6.0%
製造・修理・塗装	10	4.3%
研究者・技術者	16	6.8%
法務	2	0.9%
経営・金融・保険	8	3.4%
文化芸術	8	3.4%
医療・看護・保健	31	13.2%
保育・教育	16	6.8%
事務職	21	8.9%
販売・営業	28	11.9%
福祉・介護	4	1.7%
理、美容師・美容関連サービス	5	2.1%
調理・飲食サービス	9	3.8%
宿泊	2	0.9%
IT関係	25	10.6%
警備員	0	0.0%
自衛官・警察官・消防隊員	3	1.3%
配送・輸送・機械運転	4	1.7%
清掃・洗浄	2	0.9%
その他	26	11.1%
総数	235	100.0%

14-4 子供の職種



【問 15.市内居住理由：複数回答】

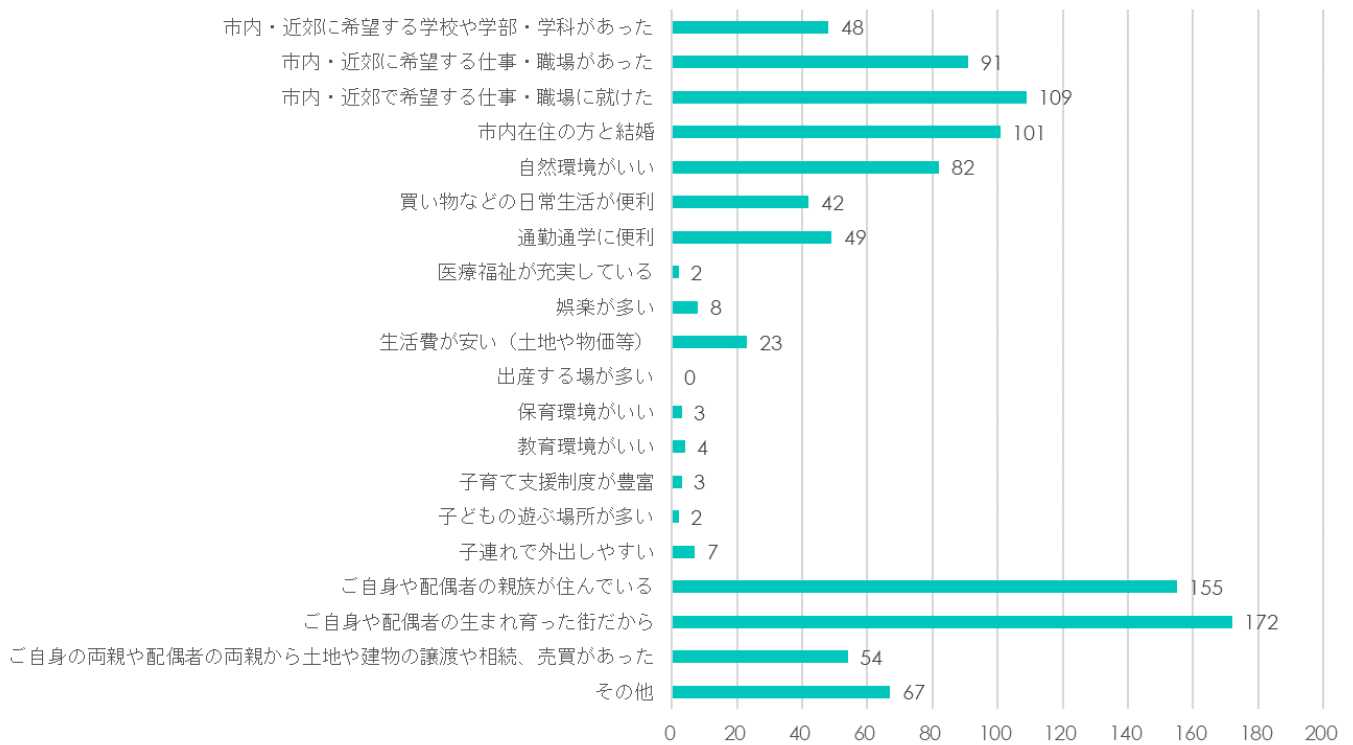
「市内居住者」で「過去市外に居住経験のある人」に質問（問 3：市内居住者、及び、問 5：出生から今までずっと上田に居住以外の人に回答項目表示）

⇒「就業・就学」「結婚」「出身地」以外の転入理由として、「自然環境の良さ」「通勤通学に便利」「日常生活が便利」という項目を挙げる人が多い。

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する学校や学部・学科があった	48	4.7%
市内・近郊に希望する仕事・職場があった	91	8.9%
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けた	109	10.7%
市内在住の方と結婚	101	9.9%
自然環境がいい	82	8.0%
買い物などの日常生活が便利	42	4.1%
通勤通学に便利	49	4.8%
医療福祉が充実している	2	0.2%
娯楽が多い	8	0.8%
生活費が安い(土地や物価等)	23	2.3%
出産する場が多い	0	0.0%
保育環境がいい	3	0.3%
教育環境がいい	4	0.4%
子育て支援制度が豊富	3	0.3%
子どもの遊ぶ場所が多い	2	0.2%
子連れで外出しやすい	7	0.7%
ご自身や配偶者の親族が住んでいる	155	15.2%
ご自身や配偶者の生まれ育った街だから	172	16.8%
ご自身の両親や配偶者の両親から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	54	5.3%
その他	67	6.6%
転勤	(14)	(1.4%)
配偶者の仕事の関係	(5)	(0.5%)
介護	(4)	(0.4%)
実家があるため	(7)	(0.7%)
その他	(37)	(3.6%)
総数	1022	100.0%

() はその他の中の内数。

15 市内居住理由



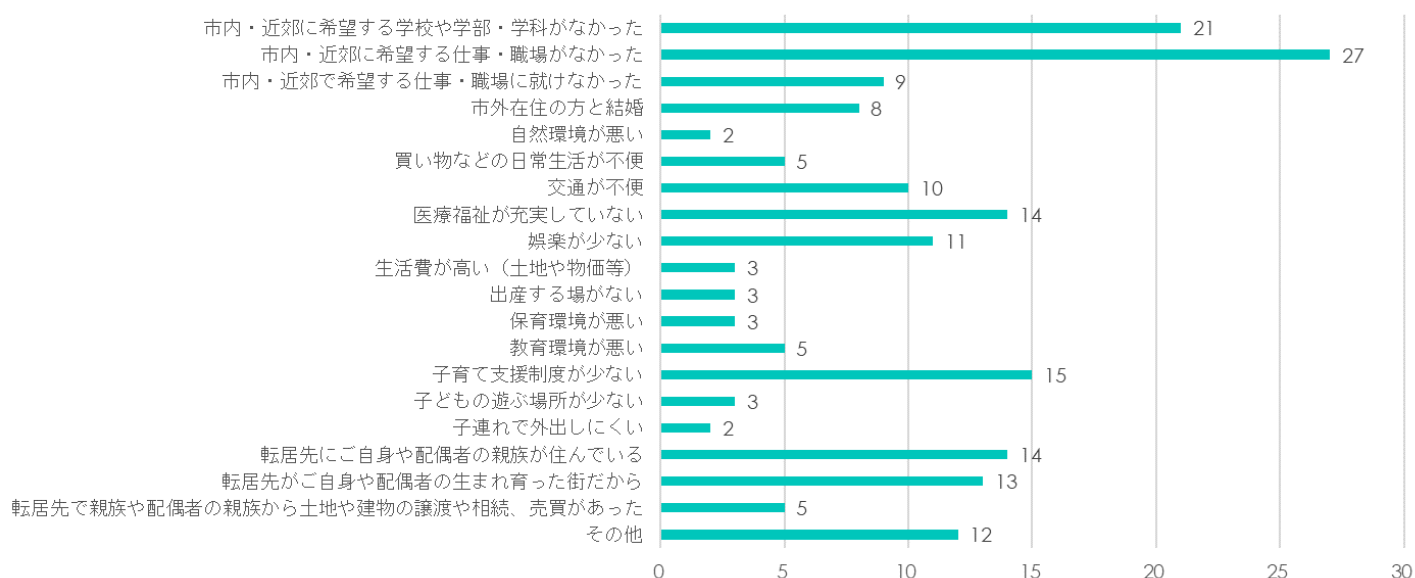
【問 16.市外への転出予定理由：複数回答】

「市内居住者」で「市外へ転居予定の人」に質問（問 3：市内居住者に回答項目表示）

⇒「就業・就学」「結婚」「出身地」以外の理由として、「医療福祉が充実していない」「子育て支援制度が少ない」という項目を挙げる人が多い。

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	21	11.4%
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	27	14.6%
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	9	4.9%
市外在住の方と結婚	8	4.3%
自然環境が悪い	2	1.1%
買い物などの日常生活が不便	5	2.7%
交通が不便	10	5.4%
医療福祉が充実していない	14	7.6%
娯楽が少ない	11	5.9%
生活費が高い(土地や物価等)	3	1.6%
出産する場がない	3	1.6%
保育環境が悪い	3	1.6%
教育環境が悪い	5	2.7%
子育て支援制度が少ない	15	8.1%
子どもの遊ぶ場所が少ない	3	1.6%
子連れで外出しにくい	2	1.1%
転居先にご自身や配偶者の親族が住んでいる	14	7.6%
転居先がご自身や配偶者の生まれ育った街だから	13	7.0%
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	5	2.7%
その他	12	6.5%
総数	185	100.0%

16 市外転居理由



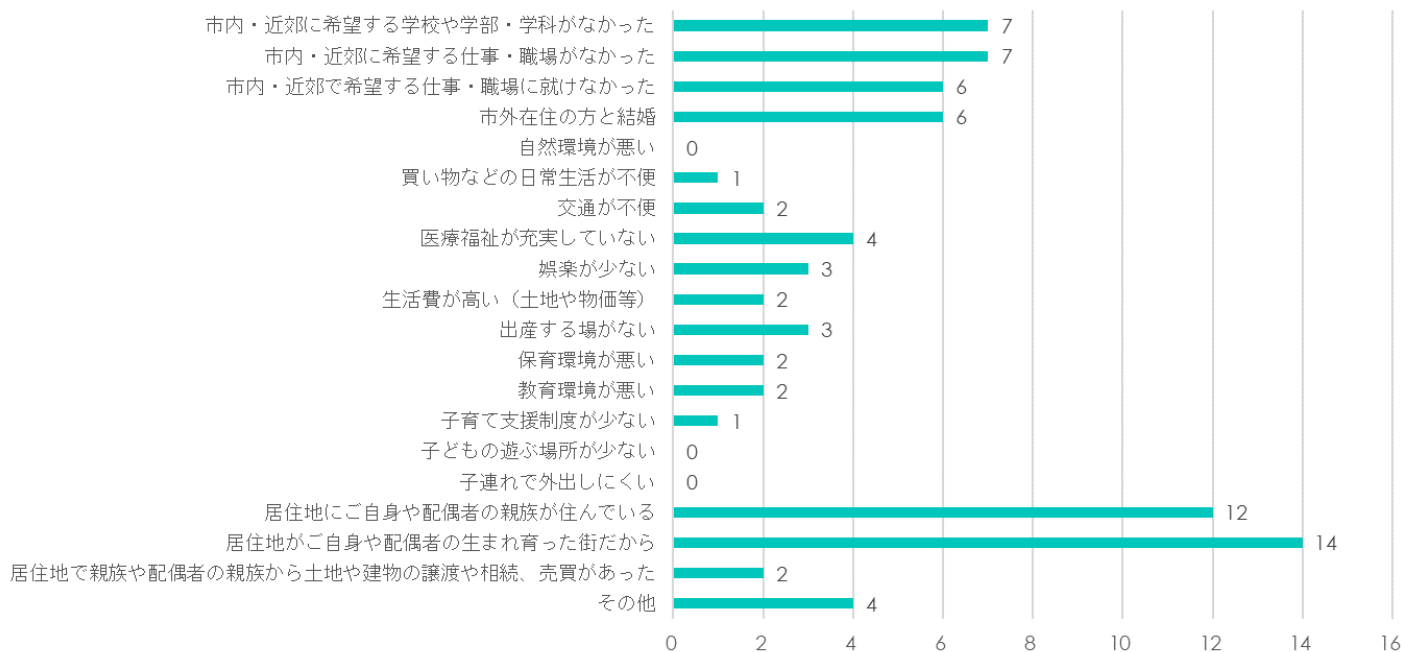
【問 17.市外転居・市外定住理由：複数回答】

「市外居住者」に質問（問 3：市外居住者に回答項目表示）

⇒回答数が少なく、市外転居・市外定住理由の傾向をつかむのは困難だった。

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	7	9.0%
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	7	9.0%
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	6	7.7%
市外在住の方と結婚	6	7.7%
自然環境が悪い	0	0.0%
買い物などの日常生活が不便	1	1.3%
交通が不便	2	2.6%
医療福祉が充実していない	4	5.1%
娯楽が少ない	3	3.8%
生活費が高い(土地や物価等)	2	2.6%
出産する場がない	3	3.8%
保育環境が悪い	2	2.6%
教育環境が悪い	2	2.6%
子育て支援制度が少ない	1	1.3%
子どもの遊ぶ場所が少ない	0	0.0%
子連れで外出しにくい	0	0.0%
居住地にご自身や配偶者の親族が住んでいる	12	15.4%
居住地がご自身や配偶者の生まれ育った街だから	14	17.9%
居住地で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	2	2.6%
その他	4	5.1%
総数	78	100.0%

17 市外居住理由

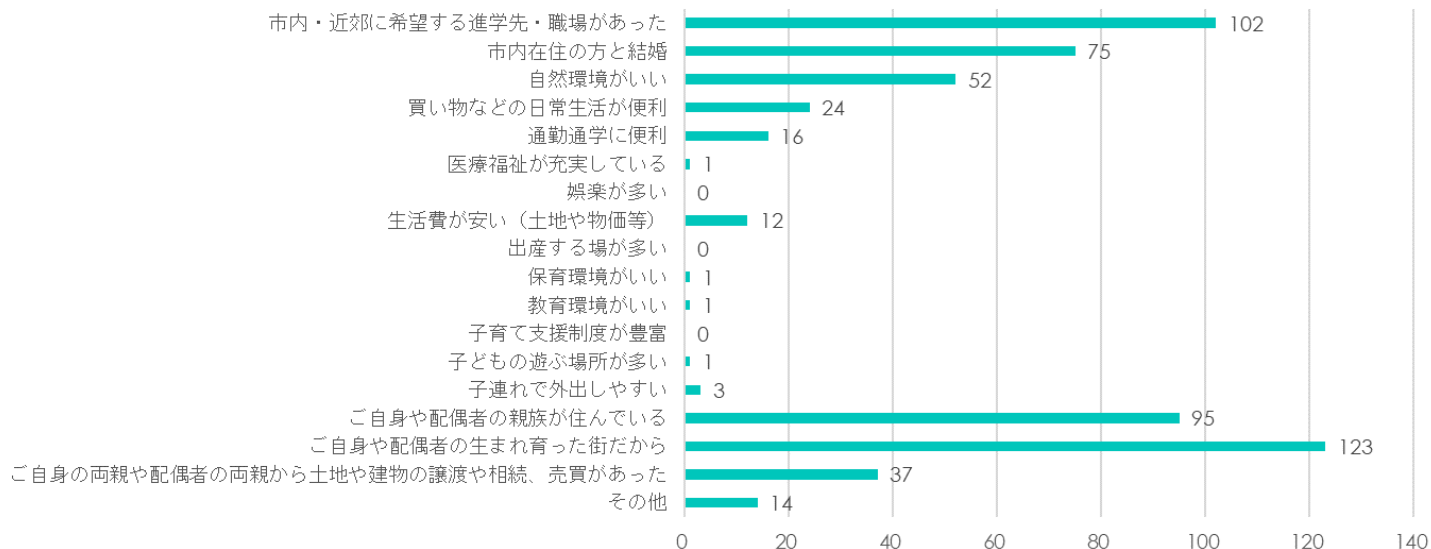


【問 18.市内定住理由：複数回答】

「市内居住者」で「上田市以外に居住したことがない人」に質問（問 3：市内居住者、及び、問 5：出生から今までずっと上田に居住の人に回答項目表示）
 ⇒「就業・就学」「結婚」「出身地」以外の理由として、「自然環境がいい」という項目を挙げる人が多い。

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する進学先・職場があった	102	18.3%
市内在住の方と結婚	75	13.5%
自然環境がいい	52	9.3%
買い物などの日常生活が便利	24	4.3%
通勤通学に便利	16	2.9%
医療福祉が充実している	1	0.2%
娯楽が多い	0	0.0%
生活費が安い(土地や物価等)	12	2.2%
出産する場が多い	0	0.0%
保育環境がいい	1	0.2%
教育環境がいい	1	0.2%
子育て支援制度が豊富	0	0.0%
子どもの遊ぶ場が多い	1	0.2%
子連れで外出しやすい	3	0.5%
ご自身や配偶者の親族が住んでいる	95	17.1%
ご自身や配偶者の生まれ育った街だから	123	22.1%
ご自身の両親や配偶者の両親から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	37	6.6%
その他	14	2.5%
総数	557	100.0%

18 市内定住理由

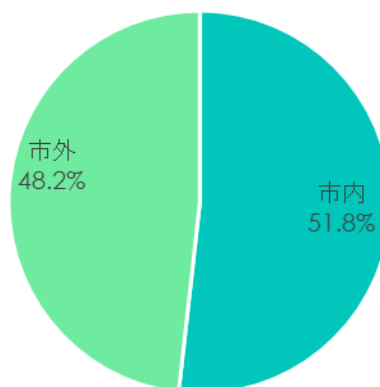


【問 19-1.配偶者と知り合った場所】

婚姻経験のある人に質問

回答	回答数	割合
市内	465	51.8%
市外	433	48.2%
総数	898	100.0%

19-1 配偶者と知り合った場所

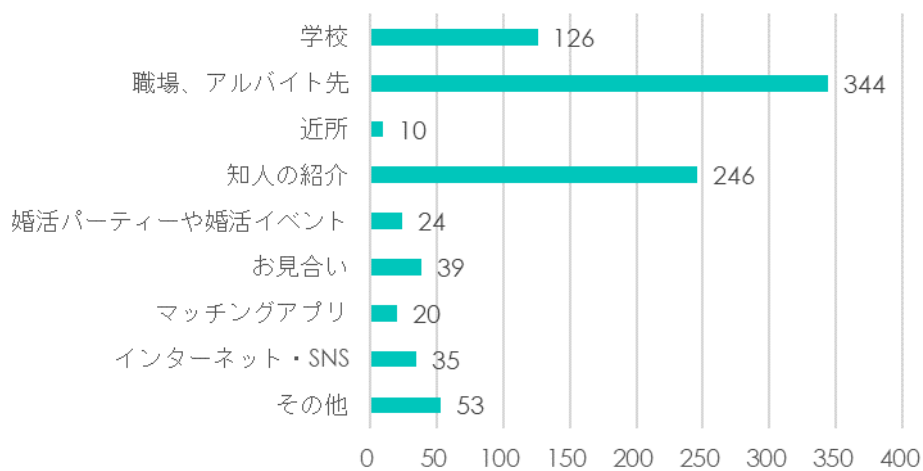


【問 19-2.配偶者と知り合った具体的な場所】

婚姻経験のある人に質問

回答	回答数	割合
学校	126	14.0%
職場、アルバイト先	344	38.4%
近所	10	1.1%
知人の紹介	246	27.4%
婚活パーティーや婚活イベント	24	2.7%
お見合い	39	4.3%
マッチングアプリ	20	2.2%
インターネット・SNS	35	3.9%
その他	53	5.9%
総数	897	100.0%

19-2 配偶者と知り合った具体的な場所

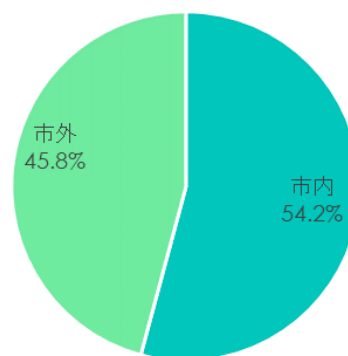


【問 20-1.自身の結婚前居住地】

婚姻経験のある人に質問

回答	回答数	割合
市内	486	54.2%
市外	411	45.8%
総数	897	100.0%

20-1 自身の結婚前居住地

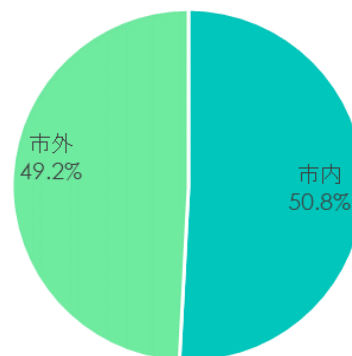


【問 20-2.配偶者の結婚前居住地】

婚姻経験のある人に質問

回答	回答数	割合
市内	457	50.8%
市外	442	49.2%
総数	899	100.0%

20-2 配偶者の結婚前居住地

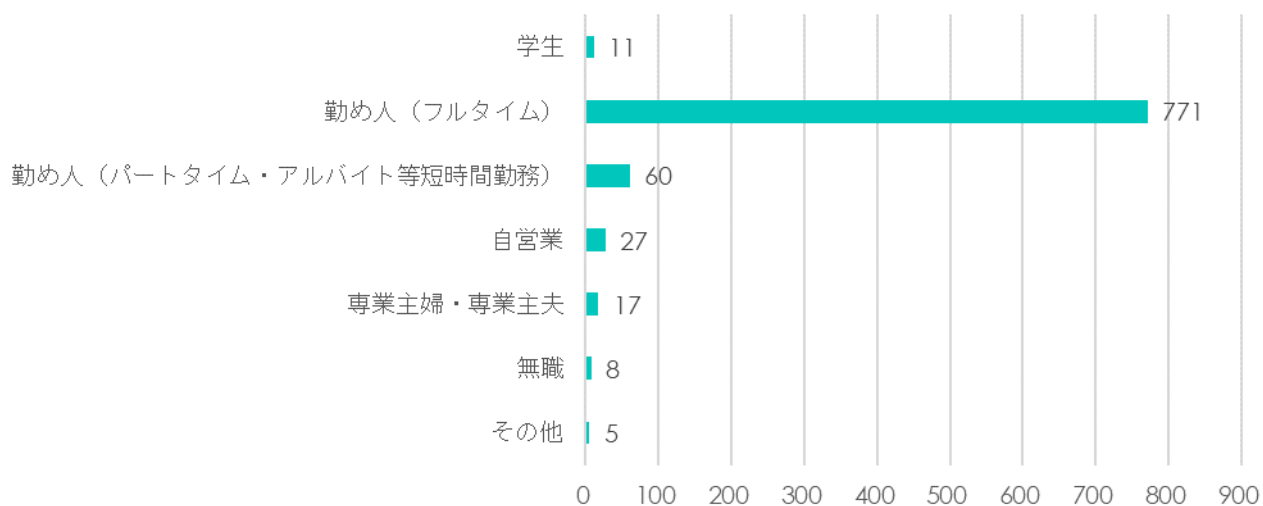


【問 21-1.結婚時の自身の職業】

婚姻経験のある人に質問

回答	回答数	割合
学生	11	1.2%
勤め人(フルタイム)	771	85.8%
勤め人(パートタイム・アルバイト等短時間勤務)	60	6.7%
自営業	27	3.0%
専業主婦・専業主夫	17	1.9%
無職	8	0.9%
その他	5	0.6%
総数	899	100.0%

21-1 結婚時の自身の職業

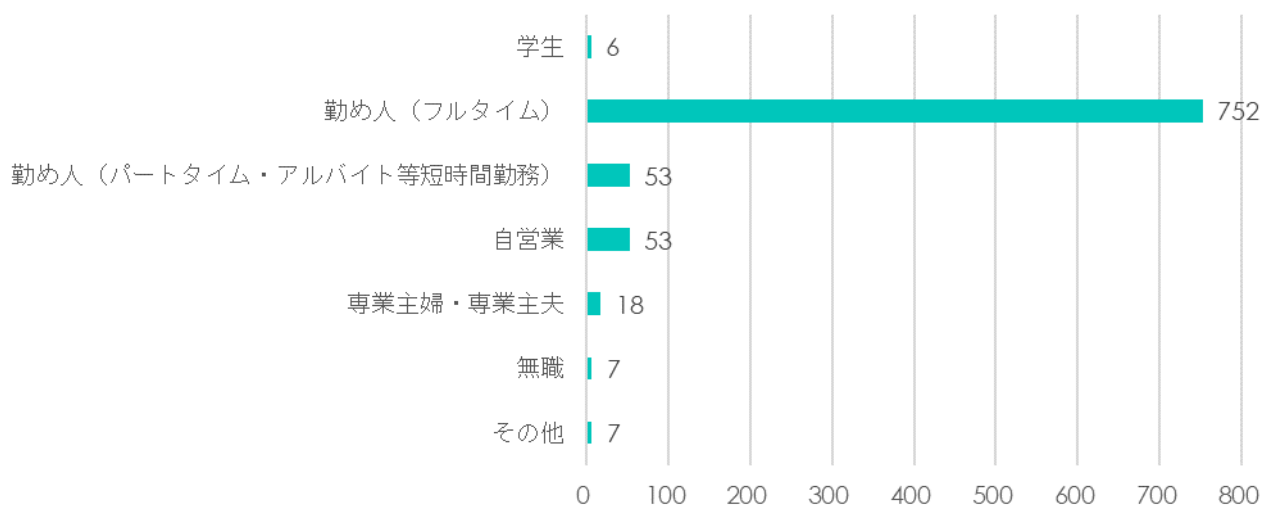


【問 21-2.結婚時の配偶者の職業】

婚姻経験のある人に質問

回答	回答数	割合
学生	6	0.7%
勤め人(フルタイム)	752	83.9%
勤め人(パートタイム・アルバイト等短時間勤務)	53	5.9%
自営業	53	5.9%
専業主婦・専業主夫	18	2.0%
無職	7	0.8%
その他	7	0.8%
総数	896	100.0%

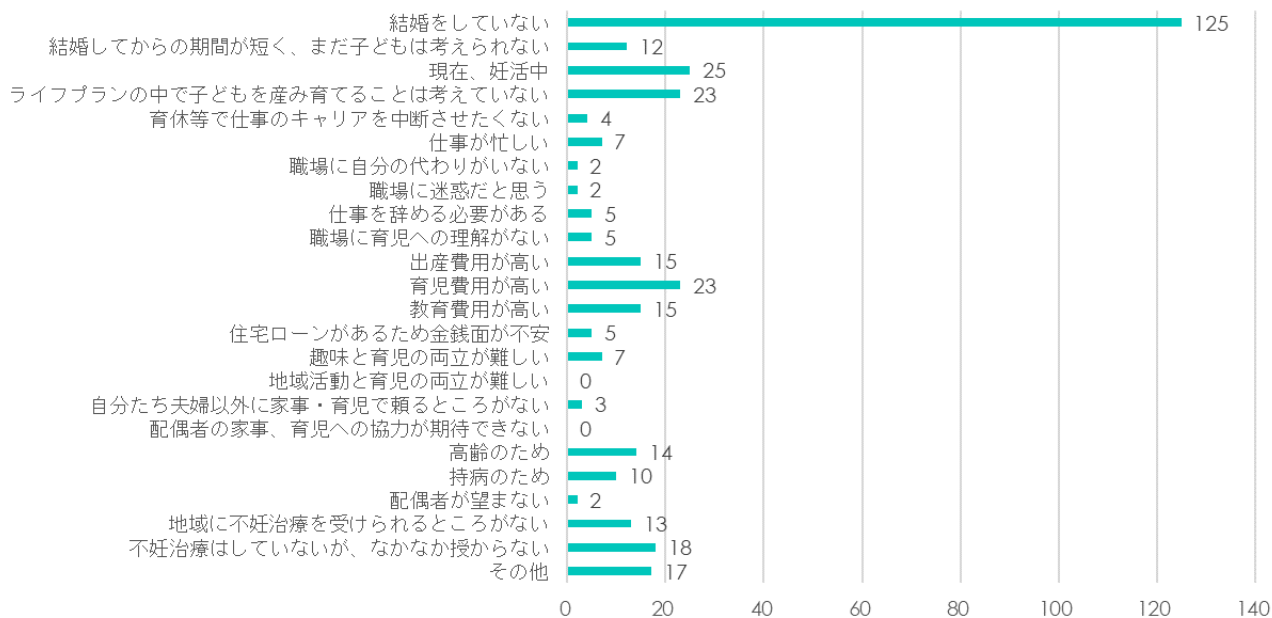
21-2 結婚時の配偶者の職業



【問 22.子供のいない理由：複数回答】

「子供のいない人」に質問（問 11-2.実際の子供の数が0人の人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
結婚をしていない	125	35.5%
結婚してからの期間が短く、まだ子どもは考えられない	12	3.4%
現在、妊活中	25	7.1%
ライフプランの中で子どもを産み育てることは考えていない	23	6.5%
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	4	1.1%
仕事が忙しい	7	2.0%
職場に自分の代わりがない	2	0.6%
職場に迷惑だと思う	2	0.6%
仕事を辞める必要がある	5	1.4%
職場に育児への理解がない	5	1.4%
出産費用が高い	15	4.3%
育児費用が高い	23	6.5%
教育費用が高い	15	4.3%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	1.4%
趣味と育児の両立が難しい	7	2.0%
地域活動と育児の両立が難しい	0	0.0%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	3	0.9%
配偶者の家事、育児への協力が期待できない	0	0.0%
高齢のため	14	4.0%
持病のため	10	2.8%
配偶者が望まない	2	0.6%
地域に不妊治療を受けられるところがない	13	3.7%
不妊治療はしていないが、なかなか授からない	18	5.1%
その他	17	4.8%
総数	352	100.0%

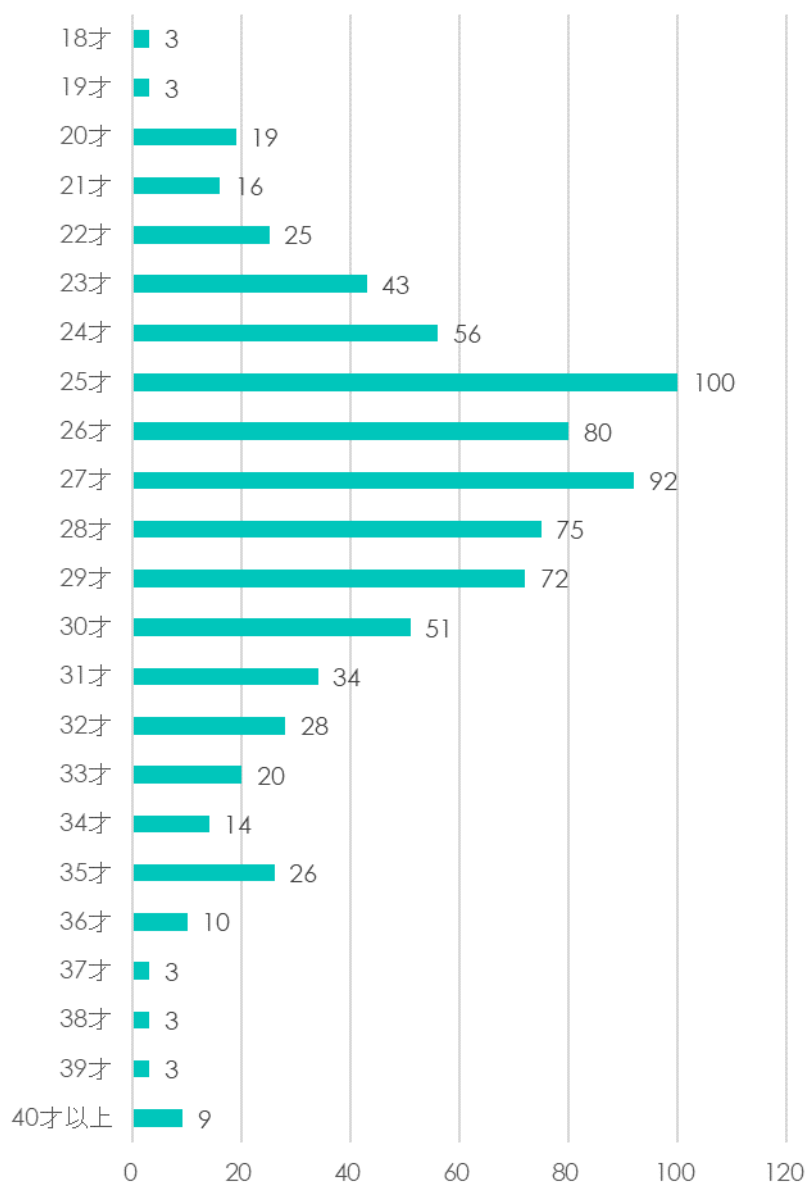


【問 23-1.結婚年齢】

「出産経験がある人」または「出産経験のある人の配偶者」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人に回答項目表示）

23-1 結婚年齢

回答	回答数	割合
18才	3	0.4%
19才	3	0.4%
20才	19	2.4%
21才	16	2.0%
22才	25	3.2%
23才	43	5.5%
24才	56	7.1%
25才	100	12.7%
26才	80	10.2%
27才	92	11.7%
28才	75	9.6%
29才	72	9.2%
30才	51	6.5%
31才	34	4.3%
32才	28	3.6%
33才	20	2.5%
34才	14	1.8%
35才	26	3.3%
36才	10	1.3%
37才	3	0.4%
38才	3	0.4%
39才	3	0.4%
40才以上	9	1.1%
総数	785	100.0%

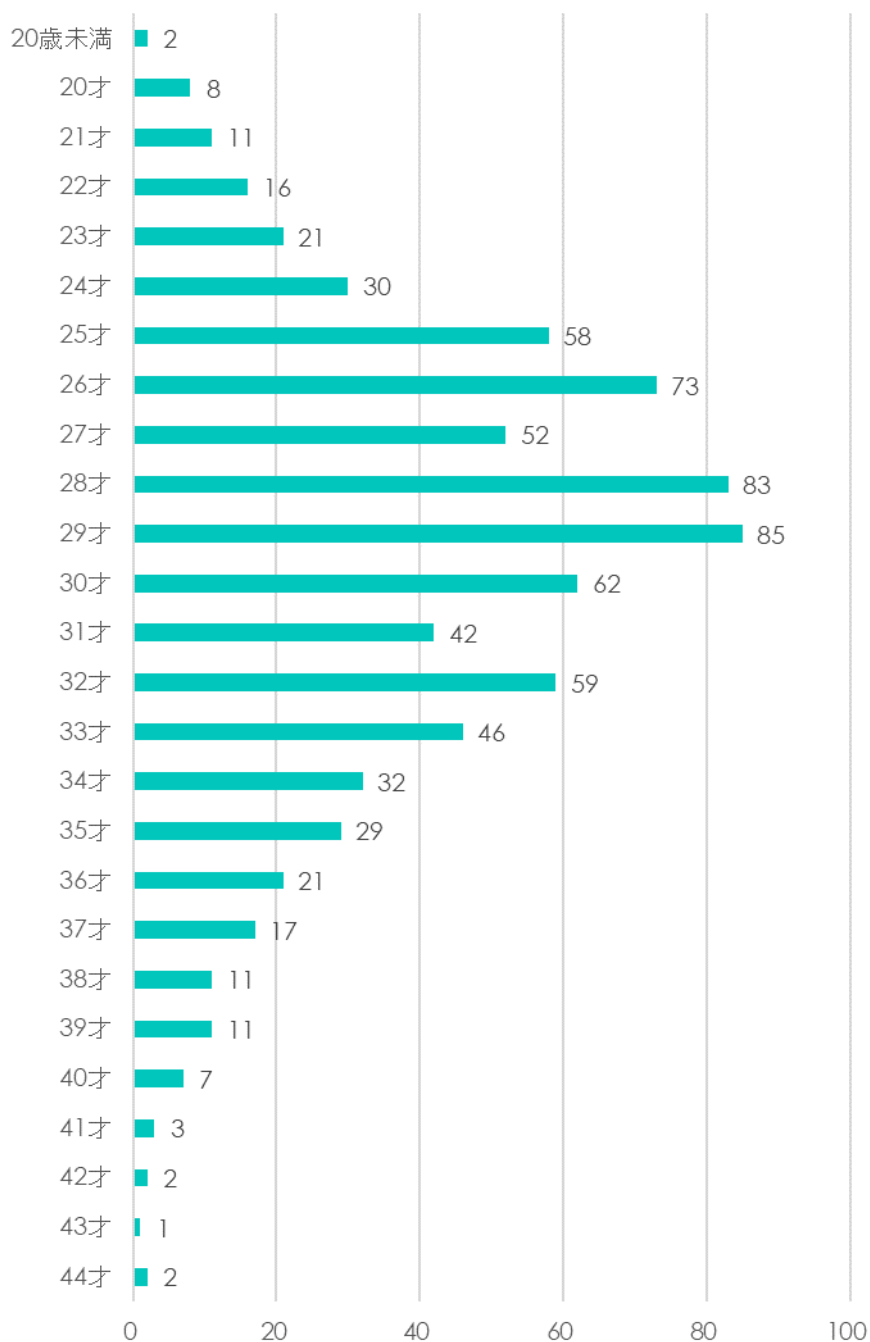


【問 23-2.第一子出産年齢】

「出産経験がある人」または「出産経験のある人の配偶者」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人に回答項目表示）

23-2 第一子出産年齢

回答	回答数	割合
20歳未満	2	0.3%
20才	8	1.0%
21才	11	1.4%
22才	16	2.0%
23才	21	2.7%
24才	30	3.8%
25才	58	7.4%
26才	73	9.3%
27才	52	6.6%
28才	83	10.6%
29才	85	10.8%
30才	62	7.9%
31才	42	5.4%
32才	59	7.5%
33才	46	5.9%
34才	32	4.1%
35才	29	3.7%
36才	21	2.7%
37才	17	2.2%
38才	11	1.4%
39才	11	1.4%
40才	7	0.9%
41才	3	0.4%
42才	2	0.3%
43才	1	0.1%
44才	2	0.3%
総数	784	100.0%

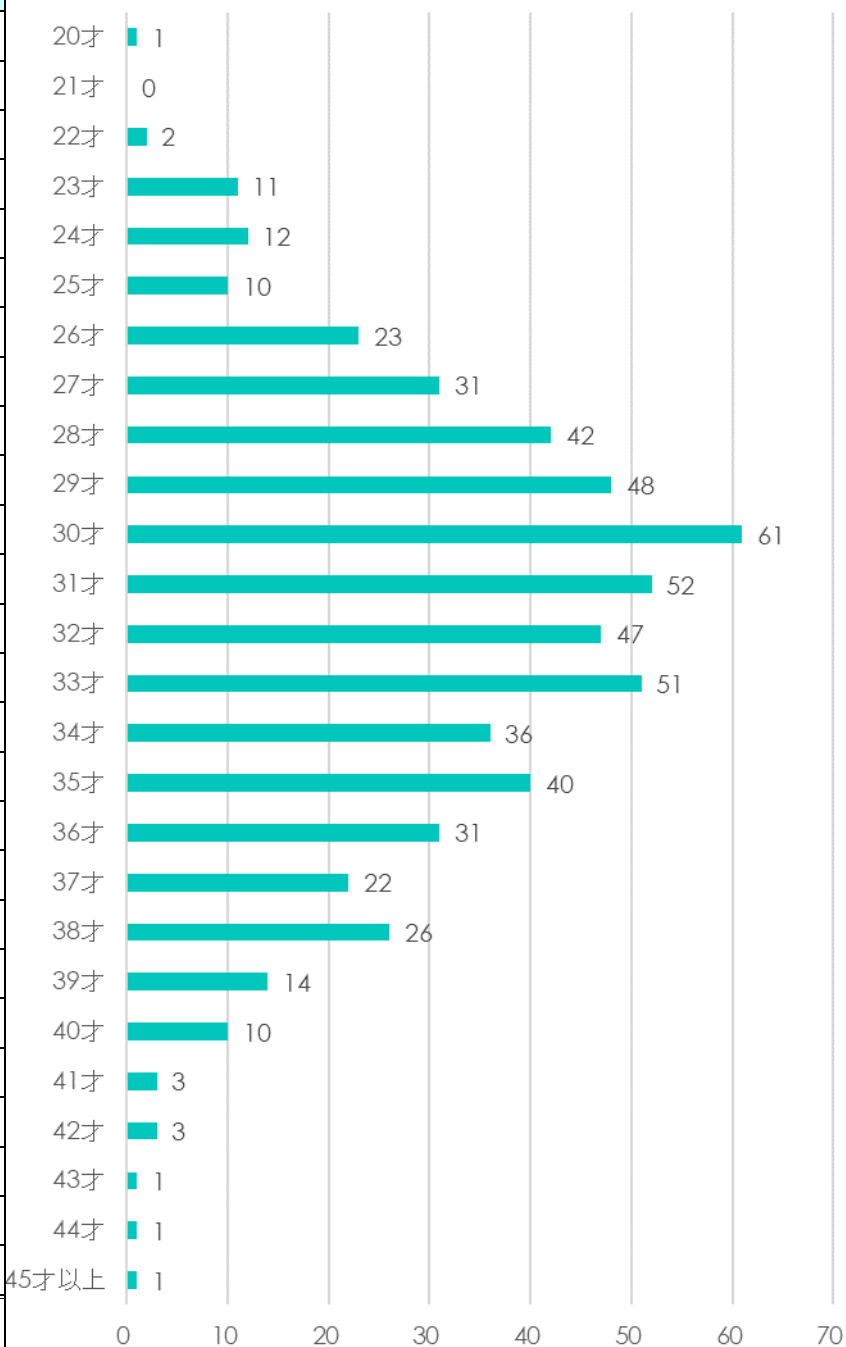


【問 23-3.第二子出産年齢】

「出産経験がある人」または「出産経験のある人の配偶者」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人に回答項目表示）

23-3 第二子出産年齢

回答	回答数	割合
20才	1	0.2%
21才	0	0.0%
22才	2	0.3%
23才	11	1.9%
24才	12	2.1%
25才	10	1.7%
26才	23	4.0%
27才	31	5.4%
28才	42	7.3%
29才	48	8.3%
30才	61	10.5%
31才	52	9.0%
32才	47	8.1%
33才	51	8.8%
34才	36	6.2%
35才	40	6.9%
36才	31	5.4%
37才	22	3.8%
38才	26	4.5%
39才	14	2.4%
40才	10	1.7%
41才	3	0.5%
42才	3	0.5%
43才	1	0.2%
44才	1	0.2%
45才以上	1	0.2%
総数	579	100.0%

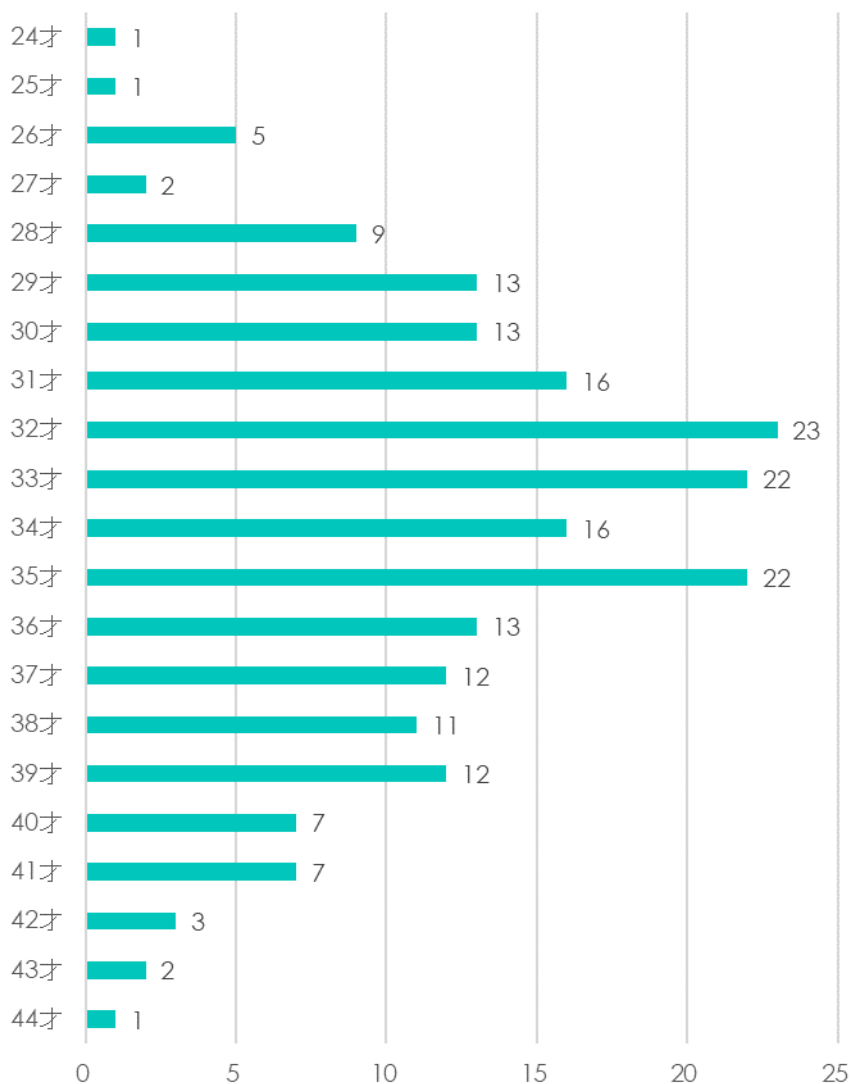


【問 23-4.第三子出産年齢】

「出産経験がある人」または「出産経験のある人の配偶者」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人に回答項目表示）

23-4 第三子出産年齢

回答	回答数	割合
24才	1	0.5%
25才	1	0.5%
26才	5	2.4%
27才	2	0.9%
28才	9	4.3%
29才	13	6.2%
30才	13	6.2%
31才	16	7.6%
32才	23	10.9%
33才	22	10.4%
34才	16	7.6%
35才	22	10.4%
36才	13	6.2%
37才	12	5.7%
38才	11	5.2%
39才	12	5.7%
40才	7	3.3%
41才	7	3.3%
42才	3	1.4%
43才	2	0.9%
44才	1	0.5%
総数	211	100.0%

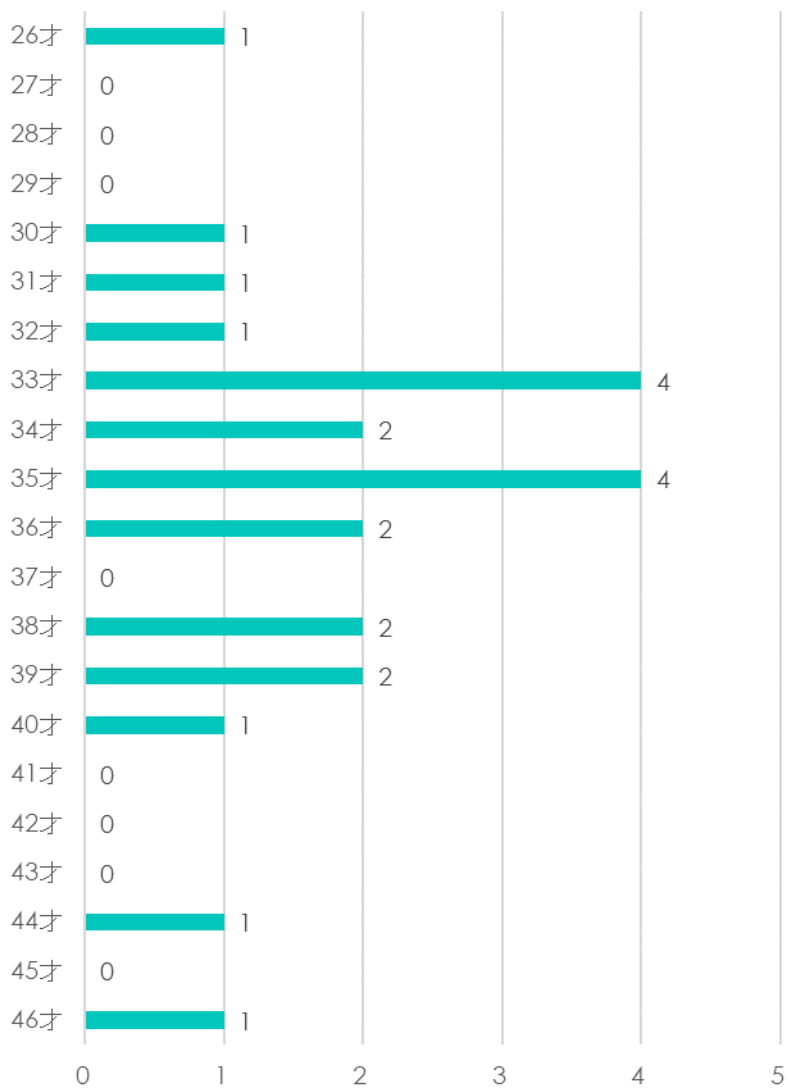


【問 23-5.第四子以上出産年齢】

「出産経験がある人」または「出産経験のある人の配偶者」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人に回答項目表示）

23-5 第四子以降出産年齢

回答	回答数	割合
26才	1	4.3%
27才	0	0.0%
28才	0	0.0%
29才	0	0.0%
30才	1	4.3%
31才	1	4.3%
32才	1	4.3%
33才	4	17.4%
34才	2	8.7%
35才	4	17.4%
36才	2	8.7%
37才	0	0.0%
38才	2	8.7%
39才	2	8.7%
40才	1	4.3%
41才	0	0.0%
42才	0	0.0%
43才	0	0.0%
44才	1	4.3%
45才	0	0.0%
46才	1	4.3%
総数	23	100.0%

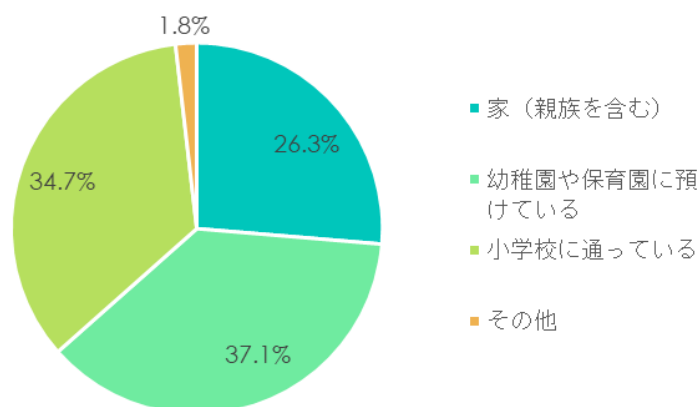


【問 24.日中の子供の生活場所】

「小学生以下の子供がいる人」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
家（親族を含む）	129	26.3%
幼稚園や保育園に預けている	182	37.1%
小学校に通っている	170	34.7%
その他	9	1.8%
総数	490	100.0%

24 日中の子供の生活場所

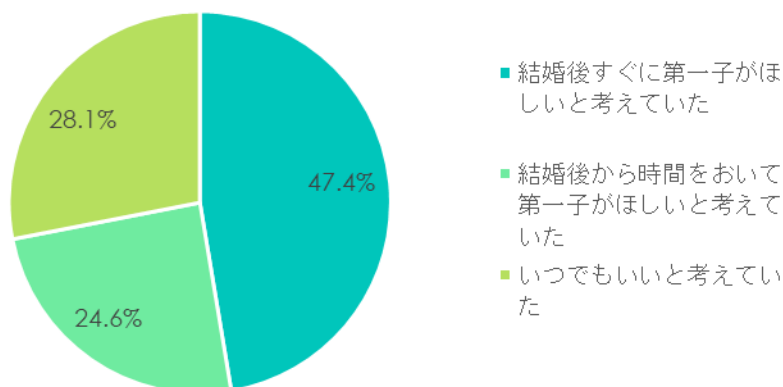


【問 25.結婚～第一子妊娠出産期間の考え方】

「小学生以下の子供がいる人」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
結婚後すぐに第一子がほしいと考えていた	189	47.4%
結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた	98	24.6%
いつでもいいと考えていた	112	28.1%
総数	399	100.0%

25 第一子妊娠出産期間の考え方



【問 26.結婚から時間をおいて第一子がほしいと考えていた理由：複数回答】

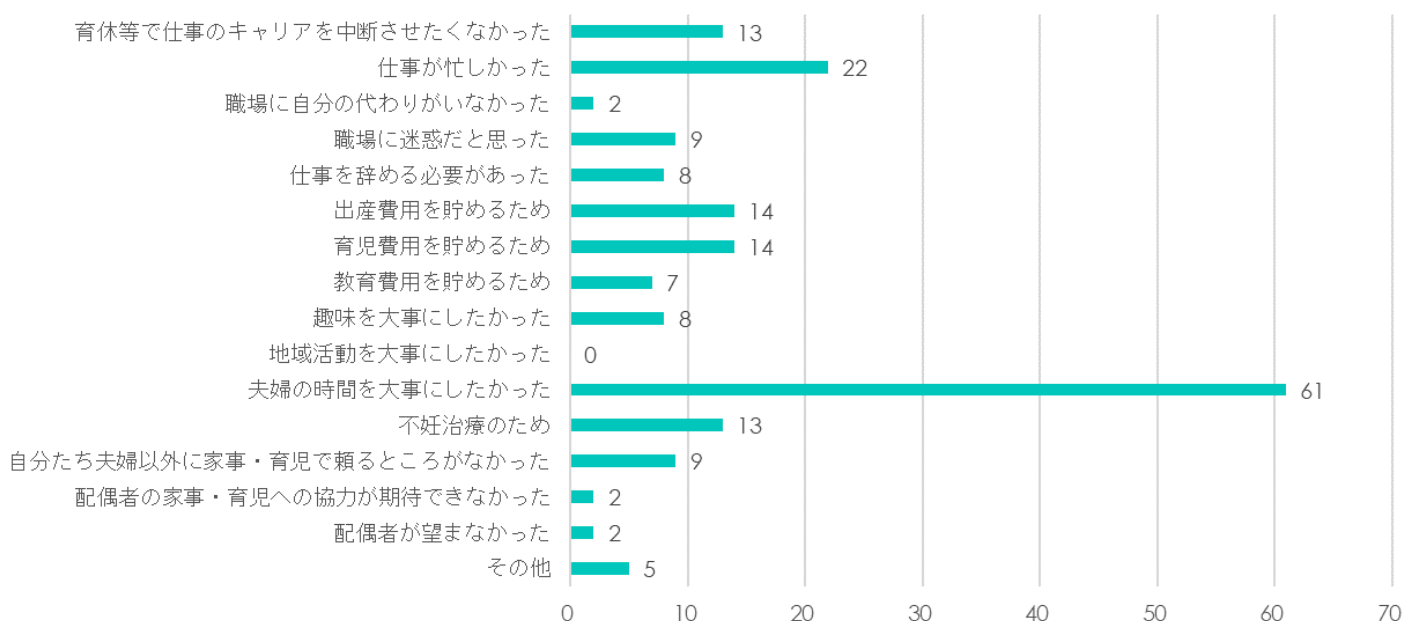
「小学生以下の子供がいる人」で「結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた」人に質問

(問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 25：結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた人に回答項目表示)

⇒「夫婦の時間を大事にしたかった（32.3%）」「仕事が忙しかった（11.6%）」「出産費用を貯めるため（7.4%）」「育児費用を貯めるため（7.4%）」という回答が多かった。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	13	6.9%
仕事が忙しかった	22	11.6%
職場に自分の代わりがいなかった	2	1.1%
職場に迷惑だと思った	9	4.8%
仕事を辞める必要があった	8	4.2%
出産費用を貯めるため	14	7.4%
育児費用を貯めるため	14	7.4%
教育費用を貯めるため	7	3.7%
趣味を大事にしたかった	8	4.2%
地域活動を大事にしたかった	0	0.0%
夫婦の時間を大事にしたかった	61	32.3%
不妊治療のため	13	6.9%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがなかった	9	4.8%
配偶者の家事・育児への協力が期待できなかった	2	1.1%
配偶者が望まなかった	2	1.1%
その他	5	2.6%
総数	189	100.0%

26 結婚から時間をおいて第一子が欲しかった理由

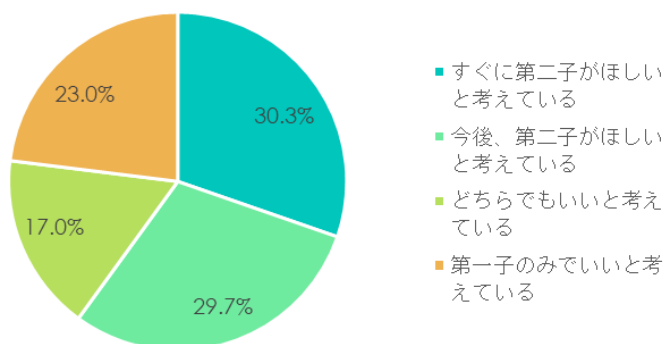


【問 27.第二子の妊娠・出産への考え】

「小学生以下の子供がいる人」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
すぐに第二子がほしいと考えている	50	30.3%
今後、第二子がほしいと考えている	49	29.7%
どちらでもいいと考えている	28	17.0%
第一子のみでいいと考えている	38	23.0%
総数	165	100.0%

27 第二子妊娠出産の考え方



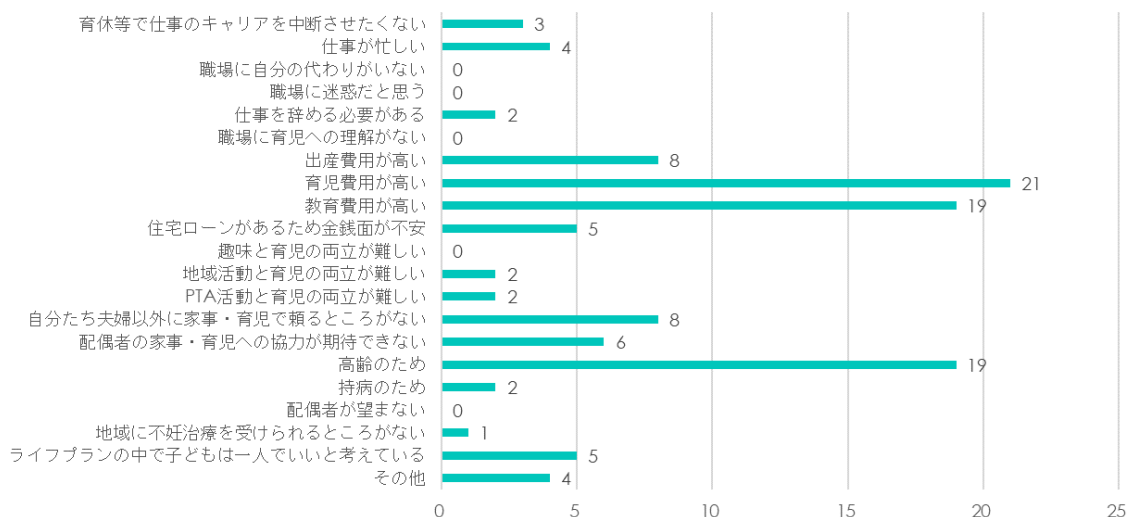
【問 28.第一子のみでいいと考える理由：複数回答】

「小学生以下の子供がいる人」で「第一子のみでいいと考えている」人に質問（問 11-2：1人以上の子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 27：第一子のみでいいと考えている人に回答項目表示）

⇒「育児費用が高い（18.9%）」「教育費用が高い（17.1%）」「高齢のため（17.1%）」という回答が多い。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2.7%
仕事が忙しい	4	3.6%
職場に自分の代わりがない	0	0.0%
職場に迷惑だと思う	0	0.0%
仕事を辞める必要がある	2	1.8%
職場に育児への理解がない	0	0.0%
出産費用が高い	8	7.2%
育児費用が高い	21	18.9%
教育費用が高い	19	17.1%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	4.5%
趣味と育児の両立が難しい	0	0.0%
地域活動と育児の両立が難しい	2	1.8%
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	1.8%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	7.2%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	5.4%
高齢のため	19	17.1%
持病のため	2	1.8%
配偶者が望まない	0	0.0%
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	0.9%
ライフプランの中で子どもは一人がいいと考えている	5	4.5%
その他	4	3.6%
総数	111	100.0%

28 第一子のみでいい理由

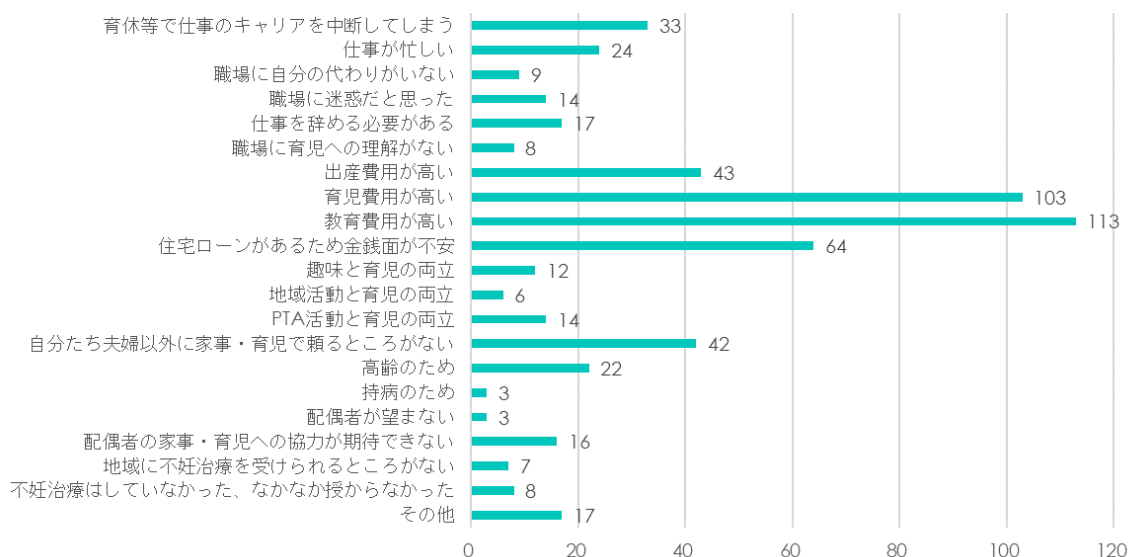


【問 29.第二子以降出産時の悩み：複数回答】

「小学生以下の子供がいる人」で「自身や配偶者が第2子以上を出産した人」に質問（問 11-2：2人以上子供がいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）
 ⇒「教育費用が高い（19.6%）」「育児費用が高い（17.8%）」「住宅ローンがあるため金銭面が不安（11.1%）」の回答が多い。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断してしまう	33	5.7%
仕事が忙しい	24	4.2%
職場に自分の代わりがない	9	1.6%
職場に迷惑だと思った	14	2.4%
仕事を辞める必要がある	17	2.9%
職場に育児への理解がない	8	1.4%
出産費用が高い	43	7.4%
育児費用が高い	103	17.8%
教育費用が高い	113	19.6%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	64	11.1%
趣味と育児の両立	12	2.1%
地域活動と育児の両立	6	1.0%
PTA 活動と育児の両立	14	2.4%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	42	7.3%
高齢のため	22	3.8%
持病のため	3	0.5%
配偶者が望まない	3	0.5%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	16	2.8%
地域に不妊治療を受けられるところがない	7	1.2%
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった	8	1.4%
その他	17	2.9%
総数	578	100.0%

29 第二子以降出産時の悩みや不安

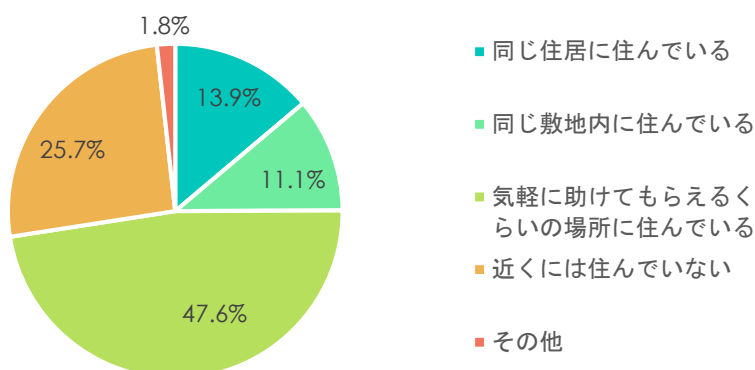


【問 30.親族との同居・近住状況】

「小学生以下の子供がいる人」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
同じ住居に住んでいる	55	13.9%
同じ敷地内に住んでいる	44	11.1%
気軽に助けてもらえるくらいの場所に住んでいる	189	47.6%
近くには住んでいない	102	25.7%
その他	7	1.8%
総数	397	100.0%

30 親族と同居・近住状況

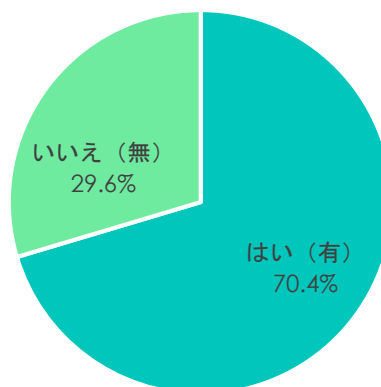


【問 31-1.同居・近住親族の家事・育児への手助けの状況】

「小学生以下の子供がいる人」で問 30 を親族が「同じ住居」「同じ敷地内」「気軽に助けてもらえるくらいの場所」に住んでいると回答した人へ質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 30：親族が同じ住居・同じ敷地内・気軽に助けてもらえるくらいの場所に住んでいる人に回答項目表示）

31-1 同居・近住親族の家事育児支援状況

回答	回答数	割合
はい(手助け有)	202	70.4%
いいえ(手助け無)	85	29.6%
総数	287	100.0%



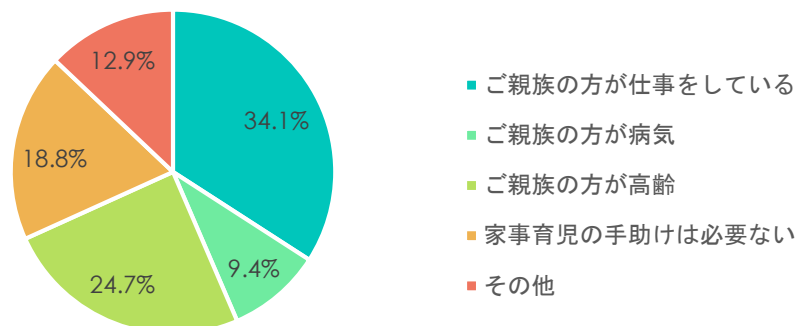
【問 31-2.同居・近住親族の家事・育児の手助けがない理由】

「小学生以下の子供がいる人」で問 30 を「親族が「同じ住居」「同じ敷地内」「気軽に助けてもらえるくらいの場所」に住んでいる」と回答した人で、問 31-1 を「手助けがない」とした人へ質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、問 12：小学生以下の子供がいる人、問 30：親族が同じ住居・同じ敷地内・気軽に助けてもらえるくらいの場所に住んでいる人、及び、問 31-1：手助け無（いいえ）と回答した人に回答項目表示）

⇒親族からの手助けがない理由として、「親族が仕事をしている」「親族が高齢」という意見が多かった。

回答	回答数	割合
ご親族の方が仕事をしている	29	34.1%
ご親族の方が病気	8	9.4%
ご親族の方が高齢	21	24.7%
家事育児の手助けは必要ない	16	18.8%
その他	11	12.9%
総数	85	100.0%

31-2 同居・近住親族の家事育児の支援ができない理由



アンケート調査結果：検証仮説ごと

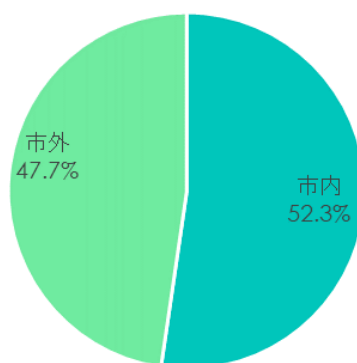
仮説 1：（有配偶率が高いのは）市内居住者かつ市内通勤者の割合が高く、職場や地域での出会いの機会が多いのではないか。⇒検証結果△

【問 3.居住地×問 19-1.配偶者と知り合った場所】

⇒市内在住者の配偶者と知り合った場所は市内・市外で 5%ほどの差しかなく、市内での出会いが多いわけではないことが分かる。

	居住地	市内合計	割合
配偶者と知り合った場所	回答数	864	100.0%
市内	463	452	52.3%
市外	433	412	47.7%

3居住地（市内）×19-1配偶者と知り合った場所



【問 19-1.配偶者と知り合った場所×問 19-2.配偶者と知り合った具体的な場所】

⇒知り合った場所が「市内」「市外」問わず、「職場、アルバイト先」での出会いが多いが、特に市内においては回答数が多い。

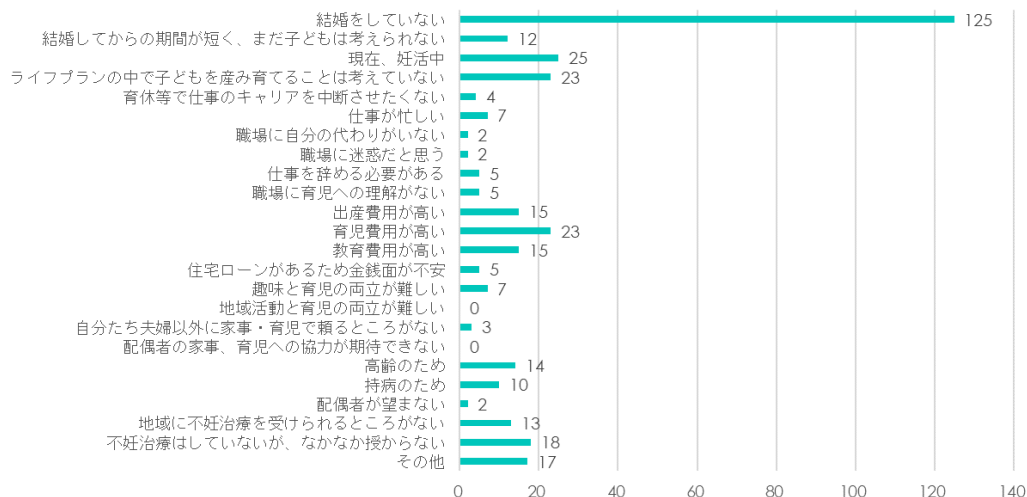
	場所	市内	市外
具体的な場所	回答数	465	431
学校	126	55	71
職場、アルバイト先	344	195	149
近所	10	7	3
知人の紹介	245	135	110
婚活パーティーや婚活イベント	24	9	15
お見合い	39	25	14
マッチングアプリ	20	5	15
インターネット・SNS	35	8	27
その他	53	26	27

仮説 2：（第 1 子出産が遅くなるのは）（第 2 子以上をもつ家庭が少ないのは）

【問 22.子供のいない理由：複数回答】

「子供のいない人」に質問（問 11-2.実際の子供の数が 1 人以上の人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
結婚をしていない	125	35.5%
結婚してからの期間が短く、まだ子どもは考えられない	12	3.4%
現在、妊活中	25	7.1%
ライフプランの中で子どもを産み育てることは考えていない	23	6.5%
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	4	1.1%
仕事が忙しい	7	2.0%
職場に自分の代わりがない	2	0.6%
職場に迷惑だと思う	2	0.6%
仕事を辞める必要がある	5	1.4%
職場に育児への理解がない	5	1.4%
出産費用が高い	15	4.3%
育児費用が高い	23	6.5%
教育費用が高い	15	4.3%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	1.4%
趣味と育児の両立が難しい	7	2.0%
地域活動と育児の両立が難しい	0	0.0%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	3	0.9%
配偶者の家事、育児への協力が期待できない	0	0.0%
高齢のため	14	4.0%
持病のため	10	2.8%
配偶者が望まない	2	0.6%
地域に不妊治療を受けられるところがない	13	3.7%
不妊治療はしていないが、なかなか授からない	18	5.1%
その他	17	4.8%
総数	352	100.0%



【問 7.配偶者の有無×問 22.子供のいない理由】

⇒「配偶者有」回答者では、子供のいない理由が「現在、妊活中（16.56%）」「育児費用が高い（10.6%）」「不妊治療をしていないが授からない（9.9%）」が多い。

⇒子供のいない夫婦では妊活中や期間が短い等、今後子供ができる可能性のある回答を除くと、大きな分類とすると「出産育児教育の費用の高さ」「不妊治療不足・不妊傾向」が見られる。

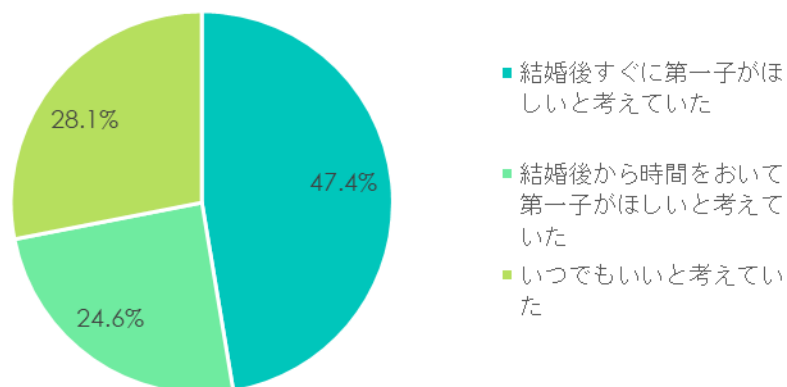
	配偶者有無	有	無
子供のいない理由	回答数	151	201
結婚をしていない	125	0	125
結婚してからの期間が短く、まだ子どもは考えられない	12	11	1
現在、妊活中	25	25	0
ライフプランの中で子どもを産み育てることは考えていない	23	8	15
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	4	4	0
仕事が忙しい	7	6	1
職場に自分の代わりがない	2	0	2
職場に迷惑だと思う	2	2	0
仕事を辞める必要がある	5	3	2
職場に育児への理解がない	5	5	0
出産費用が高い	15	8	7
育児費用が高い	23	16	7
教育費用が高い	15	8	7
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	4	1
趣味と育児の両立が難しい	7	1	6
地域活動と育児の両立が難しい	0	0	0
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	3	3	0
配偶者の家事、育児への協力が期待できない	0	0	0
高齢のため	14	9	5
持病のため	10	4	6
配偶者が望まない	2	0	2
地域に不妊治療を受けられるところがない	13	10	3
不妊治療はしていないが、なかなか授からない	18	15	3
その他	17	9	8

【問 25.結婚～第一子妊娠出産期間の考え方】

「小学生以下の子供がいる人」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
結婚後すぐに第一子がほしいと考えていた	189	47.4%
結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた	98	24.6%
いつでもいいと考えていた	112	28.1%
総数	399	100.0%

25 第一子妊娠出産期間の考え方



【問 26.結婚から時間をおいて第一子がほしいと考えていた理由：複数回答】

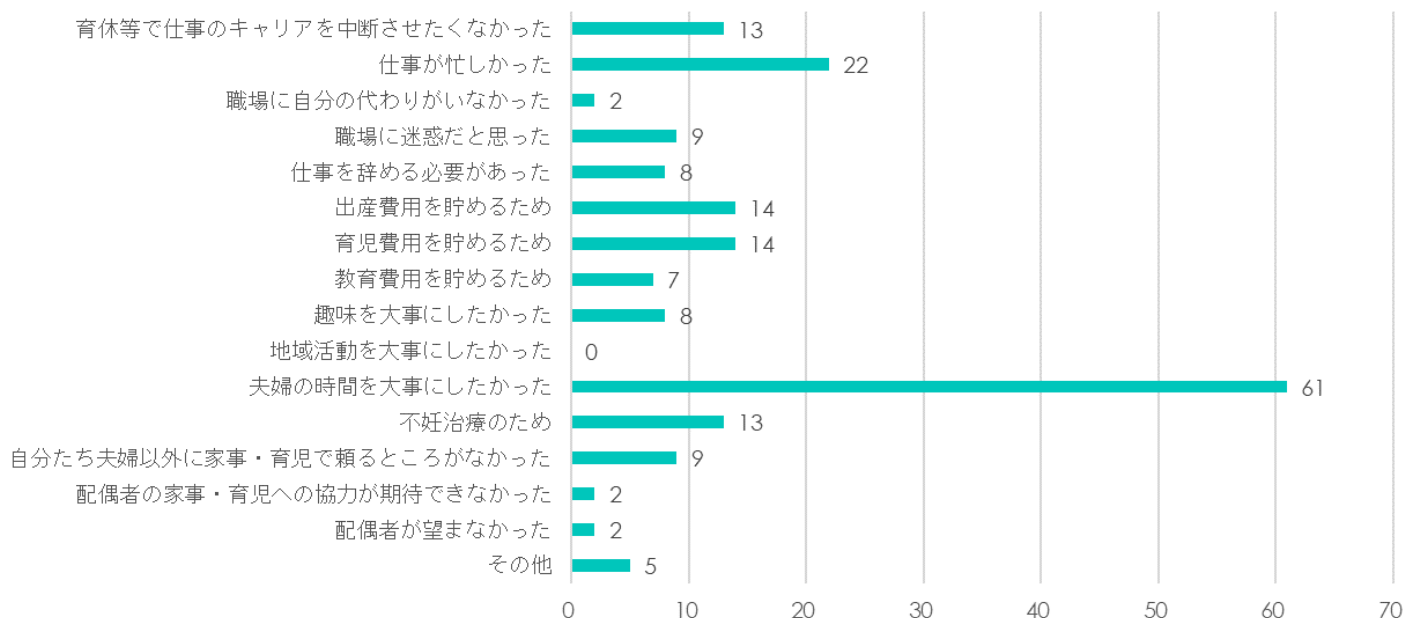
「小学生以下の子供がいる人」で「結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた」人に質問

(問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 25：結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた人に回答項目表示)

⇒「夫婦の時間を大事にしたかった（32.3%）」「仕事が忙しかった（11.6%）」「出産費用を貯めるため（7.4%）」「育児費用を貯めるため（7.4%）」という回答が多かった。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくなかった	13	6.9%
仕事が忙しかった	22	11.6%
職場に自分の代わりがいなかった	2	1.1%
職場に迷惑だと思った	9	4.8%
仕事を辞める必要があった	8	4.2%
出産費用を貯めるため	14	7.4%
育児費用を貯めるため	14	7.4%
教育費用を貯めるため	7	3.7%
趣味を大事にしたかった	8	4.2%
地域活動を大事にしたかった	0	0.0%
夫婦の時間を大事にしたかった	61	32.3%
不妊治療のため	13	6.9%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがなかった	9	4.8%
配偶者の家事・育児への協力が期待できなかった	2	1.1%
配偶者が望まなかった	2	1.1%
その他	5	2.6%
総数	189	100.0%

26 結婚から時間をおいて第一子が欲しかった理由

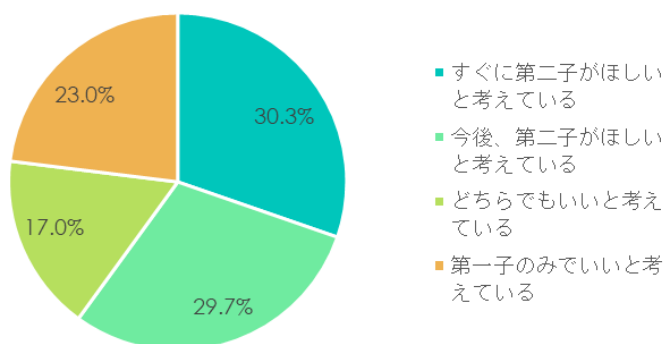


【問 27.第二子の妊娠・出産への考え】

「小学生以下の子供がいる人」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
すぐに第二子がほしいと考えている	50	30.3%
今後、第二子がほしいと考えている	49	29.7%
どちらでもいいと考えている	28	17.0%
第一子のみでいいと考えている	38	23.0%
総数	165	100.0%

27 第二子妊娠出産の考え方



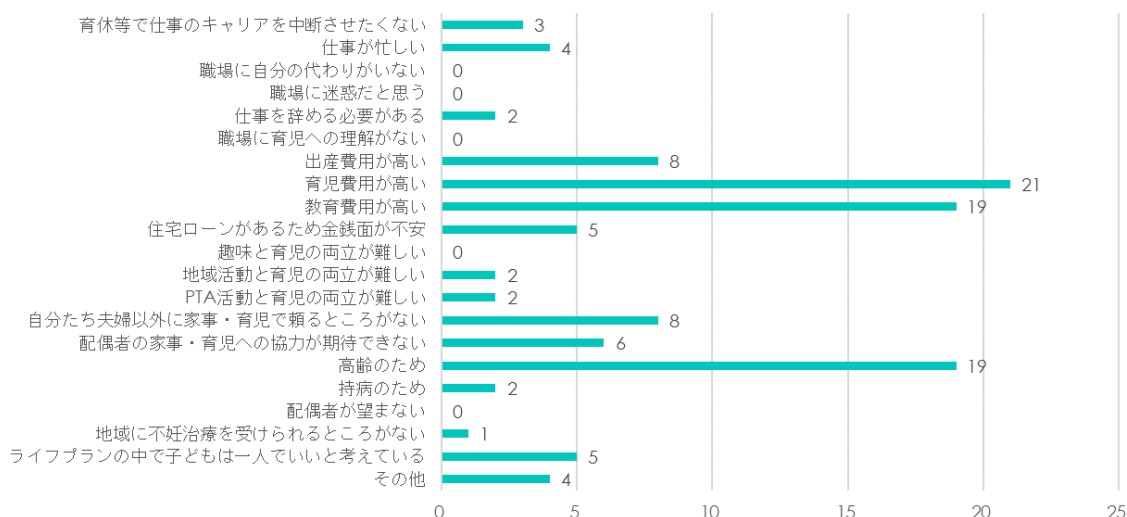
【問 28.第一子のみでいいと考える理由：複数回答】

「小学生以下の子供がいる人」で「第一子のみでいいと考えている」人に質問（問 11-2：1人以上の子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 27：第一子のみでいいと考えている人に回答項目表示）

⇒「育児費用が高い（18.9%）」「教育費用が高い（17.1%）」「高齢のため（17.1%）」という回答が多い。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2.7%
仕事が忙しい	4	3.6%
職場に自分の代わりがない	0	0.0%
職場に迷惑だと思う	0	0.0%
仕事を辞める必要がある	2	1.8%
職場に育児への理解がない	0	0.0%
出産費用が高い	8	7.2%
育児費用が高い	21	18.9%
教育費用が高い	19	17.1%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	4.5%
趣味と育児の両立が難しい	0	0.0%
地域活動と育児の両立が難しい	2	1.8%
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	1.8%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	7.2%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	5.4%
高齢のため	19	17.1%
持病のため	2	1.8%
配偶者が望まない	0	0.0%
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	0.9%
ライフプランの中で子どもは一人がいいと考えている	5	4.5%
その他	4	3.6%
総数	111	100.0%

28 第一子のみでいい理由

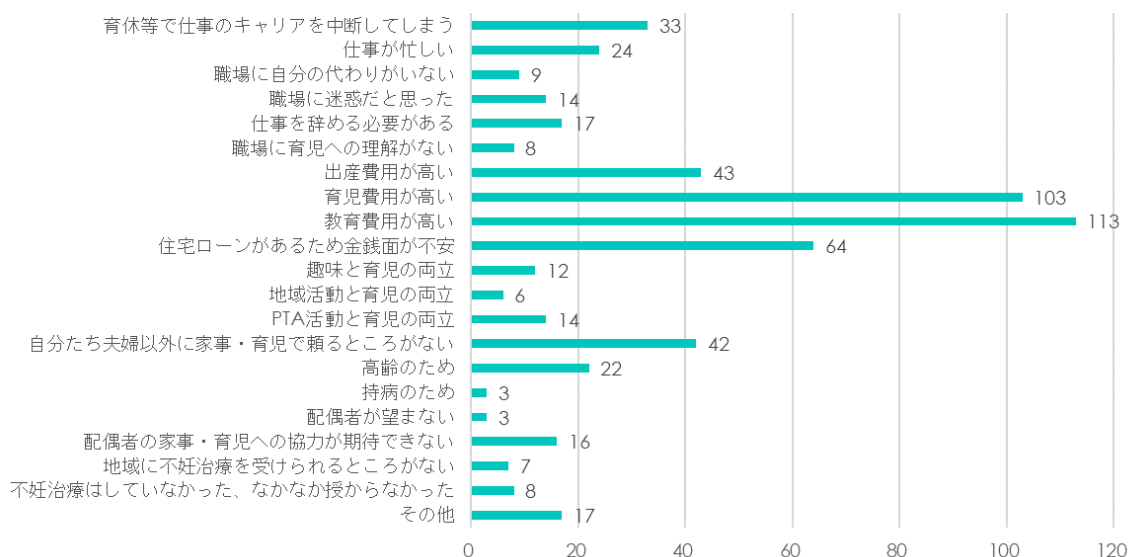


【問 29.第二子以降出産時の悩み：複数回答】

「小学生以下の子供がいる人」で「自身や配偶者が第2子以上を出産した人」に質問（問 11-2：2人以上子供がいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）
 ⇒「教育費用が高い（19.6%）」「育児費用が高い（17.8%）」「住宅ローンがあるため金銭面が不安（11.1%）」の回答が多い。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断してしまう	33	5.7%
仕事が忙しい	24	4.2%
職場に自分の代わりがない	9	1.6%
職場に迷惑だと思った	14	2.4%
仕事を辞める必要がある	17	2.9%
職場に育児への理解がない	8	1.4%
出産費用が高い	43	7.4%
育児費用が高い	103	17.8%
教育費用が高い	113	19.6%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	64	11.1%
趣味と育児の両立	12	2.1%
地域活動と育児の両立	6	1.0%
PTA活動と育児の両立	14	2.4%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	42	7.3%
高齢のため	22	3.8%
持病のため	3	0.5%
配偶者が望まない	3	0.5%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	16	2.8%
地域に不妊治療を受けられるところがない	7	1.2%
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった	8	1.4%
その他	17	2.9%
総数	578	100.0%

29 第二子以降出産時の悩みや不安



仮説 2-1：（第 1 子出産が遅くなるのは）地域的に医療環境が弱く、不妊治療が十分に受けられない夫婦が多いのではないか。⇒検証結果○

【問 7.配偶者の有無×問 22.子供のいない理由】

⇒「配偶者有」回答者では、子供のいない理由が「現在、妊活中（16.56%）」「育児費用が高い（10.6%）」「不妊治療をしていないが授からない（9.9%）」が多い。

⇒子供のいない夫婦では妊活中や期間が短い等、今後子供ができる可能性のある回答を除くと、大きな分類とする「出産育児教育の費用の高さ」「不妊治療不足・不妊傾向」が見られる。

⇒地域に不妊治療を行うところが少なく、不妊治療が一般的ではないため、不妊治療をしない人が多くなかなか授からない、また、地域に不妊治療を受けられるところがなく、第一子のお産が遅くなっている傾向がみられる。

	配偶者有無	有	無
子供のいない理由	回答数	151	201
結婚をしていない	125	0	125
結婚してからの期間が短く、まだ子どもは考えられない	12	11	1
現在、妊活中	25	25	0
ライフプランの中で子どもを産み育てることは考えていない	23	8	15
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	4	4	0
仕事が忙しい	7	6	1
職場に自分の代わりがない	2	0	2
職場に迷惑だと思う	2	2	0
仕事を辞める必要がある	5	3	2
職場に育児への理解がない	5	5	0
出産費用が高い	15	8	7
育児費用が高い	23	16	7
教育費用が高い	15	8	7
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	4	1
趣味と育児の両立が難しい	7	1	6
地域活動と育児の両立が難しい	0	0	0
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	3	3	0
配偶者の家事、育児への協力が期待できない	0	0	0
高齢のため	14	9	5
持病のため	10	4	6
配偶者が望まない	2	0	2
地域に不妊治療を受けられるところがない	13	10	3
不妊治療はしていないが、なかなか授からない	18	15	3
その他	17	9	8

仮説 2-2：（第1子出産が遅くなるのは）出産子育てによりキャリアを中断させたくないほど、仕事にやりがいがあるのではないか。⇒検証結果○

【問 26.結婚から時間をおいて第一子がほしいと考えていた理由：複数回答】

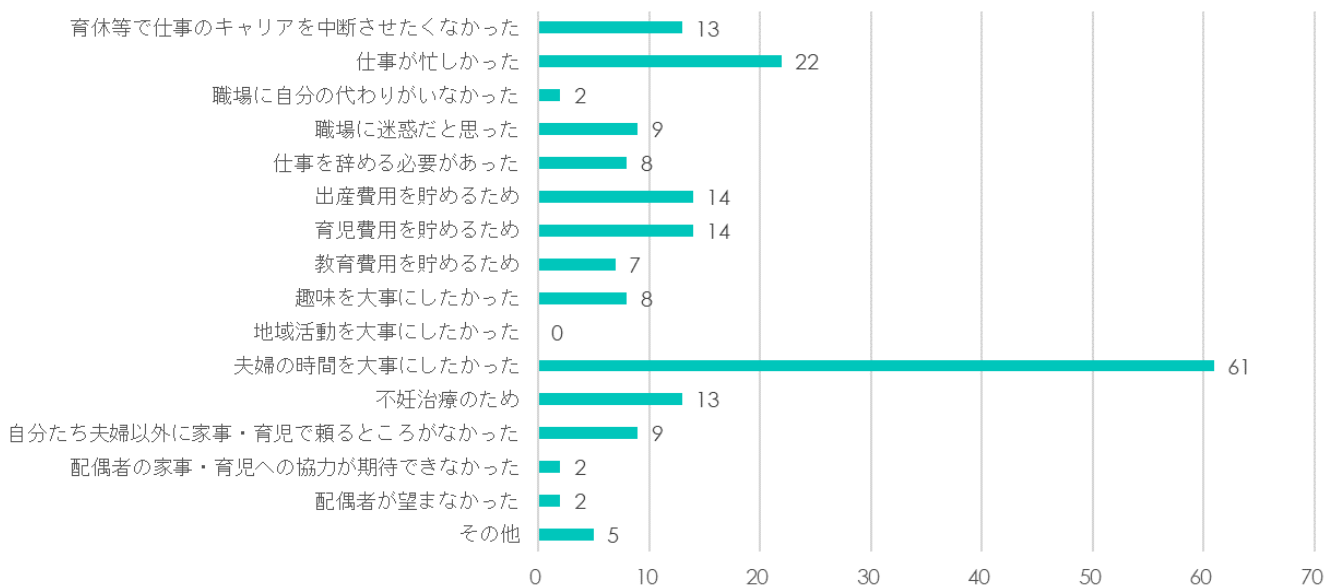
「小学生以下の子供がいる人」で「結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた」人に質問

（問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 25：結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた人に回答項目表示）

⇒「夫婦の時間を大事にしたかった（32.3%）」「仕事が忙しかった（11.6%）」「出産費用を貯めるため（7.4%）」「育児費用を貯めるため（7.4%）」という回答が多かった。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	13	6.9%
仕事が忙しかった	22	11.6%
職場に自分の代わりがいなかった	2	1.1%
職場に迷惑だと思った	9	4.8%
仕事を辞める必要があった	8	4.2%
出産費用を貯めるため	14	7.4%
育児費用を貯めるため	14	7.4%
教育費用を貯めるため	7	3.7%
趣味を大事にしたかった	8	4.2%
地域活動を大事にしたかった	0	0.0%
夫婦の時間を大事にしたかった	61	32.3%
不妊治療のため	13	6.9%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがなかった	9	4.8%
配偶者の家事・育児への協力が期待できなかった	2	1.1%
配偶者が望まなかった	2	1.1%
その他	5	2.6%
総数	189	100.0%

26 結婚から時間をおいて第一子が欲しかった理由



仮説 2-3：（第2子以上を持つ家庭が少ないのは）ローン等で経済的に2子以上を産み育てることが難しいからではないか。⇒検証結果○

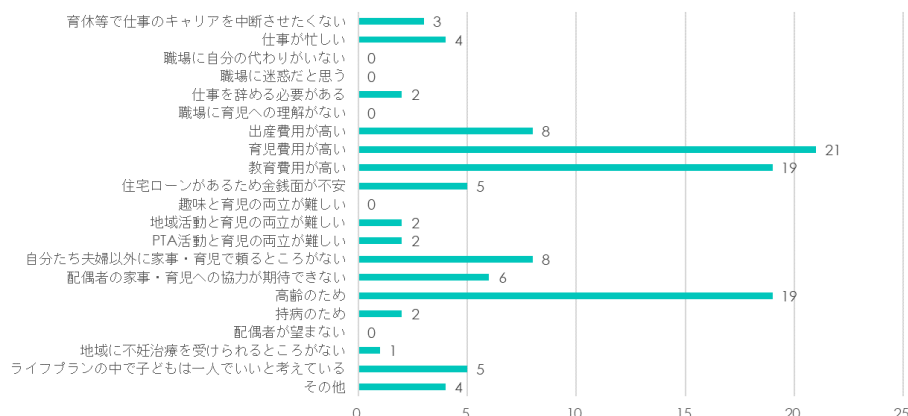
【問 28.第一子のみでいいと考える理由：複数回答】

「小学生以下の子供がいる人」で「第一子のみでいいと考えている」人に質問（問 11-2：1人以上の子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 27：第一子のみでいいと考えている人に回答項目表示）

⇒「育児費用が高い（18.9%）」「教育費用が高い（17.1%）」「高齢のため（17.1%）」という回答が多い。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2.7%
仕事が忙しい	4	3.6%
職場に自分の代わりがない	0	0.0%
職場に迷惑だと思う	0	0.0%
仕事を辞める必要がある	2	1.8%
職場に育児への理解がない	0	0.0%
出産費用が高い	8	7.2%
育児費用が高い	21	18.9%
教育費用が高い	19	17.1%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	4.5%
趣味と育児の両立が難しい	0	0.0%
地域活動と育児の両立が難しい	2	1.8%
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	1.8%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	7.2%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	5.4%
高齢のため	19	17.1%
持病のため	2	1.8%
配偶者が望まない	0	0.0%
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	0.9%
ライフプランの中で子どもは一人がいいと考えている	5	4.5%
その他	4	3.6%
総数	111	100.0%

28 第一子のみでいい理由

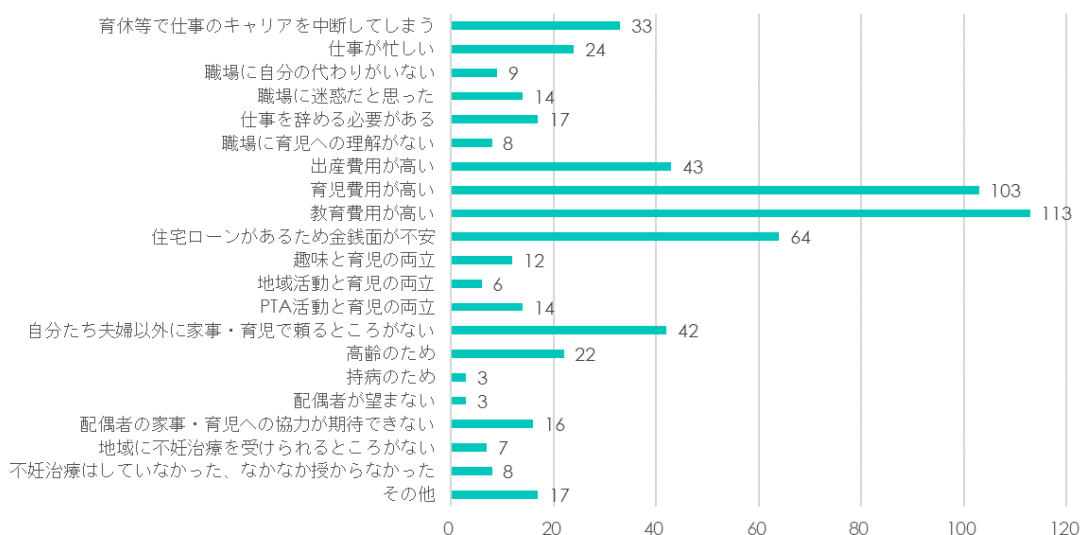


【問 29.第二子以降出産時の悩み：複数回答】

「小学生以下の子供がいる人」で「自身や配偶者が第2子以上を出産した人」に質問（問 11-2：2人以上の子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）
 ⇒「教育費用が高い（19.6%）」「育児費用が高い（17.8%）」「住宅ローンがあるため金銭面が不安（11.1%）」の回答が多い。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断してしまう	33	5.7%
仕事が忙しい	24	4.2%
職場に自分の代わりがない	9	1.6%
職場に迷惑だと思った	14	2.4%
仕事を辞める必要がある	17	2.9%
職場に育児への理解がない	8	1.4%
出産費用が高い	43	7.4%
育児費用が高い	103	17.8%
教育費用が高い	113	19.6%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	64	11.1%
趣味と育児の両立	12	2.1%
地域活動と育児の両立	6	1.0%
PTA 活動と育児の両立	14	2.4%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	42	7.3%
高齢のため	22	3.8%
持病のため	3	0.5%
配偶者が望まない	3	0.5%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	16	2.8%
地域に不妊治療を受けられるところがない	7	1.2%
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった	8	1.4%
その他	17	2.9%
総数	578	100.0%

29 第二子以降出産時の悩みや不安



【問 10.住まいの形態×問 29.第二子以降出産時の悩み】

⇒持ち家所有者においては「第2子以降の出産の悩み」において、「住宅ローンがあるため金銭面が不安 13.45%」の割合が高くなる。（第一子のみでいい理由においての割合は少ない。）

	住まいの形態	自己または配偶者名義の持ち家	賃貸	社宅、宿舎、寮等	両親、配偶者の両親の家に同居	その他
第二子以降出産時の悩み	回答数	431	107	6	30	4
育休等で仕事のキャリアを中断してしまう	33	25	4	2	2	0
仕事が忙しい	24	19	4	0	1	0
職場に自分の代わりがない	9	6	3	0	0	0
職場に迷惑だと思った	14	9	3	0	2	0
仕事を辞める必要がある	17	16	1	0	0	0
職場に育児への理解がない	8	5	2	0	1	0
出産費用が高い	43	33	8	1	1	0
育児費用が高い	103	80	18	1	4	0
教育費用が高い	113	82	23	0	7	1
住宅ローンがあるため金銭面が不安	64	58	5	1	0	0
趣味と育児の両立	12	10	2	0	0	0
地域活動と育児の両立	6	4	1	0	1	0
PTA 活動と育児の両立	14	10	4	0	0	0
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	42	24	17	1	0	0
高齢のため	22	14	4	0	2	2
持病のため	3	1	1	0	1	0
配偶者が望まない	3	3	0	0	0	0
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	16	11	3	0	1	1
地域に不妊治療を受けられるところがない	7	5	1	0	1	0
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった	8	6	1	0	1	0
その他	17	10	2	0	5	0

【問 28.第一子のみでいいと考える理由】【問 29.第二子以降出産時の悩み】比較

比較すると、第二子以降を出産した人の悩みは第一子のみでいいと考えている人に比べ、「高齢のため」の回答率が減少し、「住宅ローンがあるため金銭面が不安」「育休等で仕事のキャリアを中断させたくない」「職場に迷惑だと思ふ」「教育費用が高い」が増加している。

⇒第二子以降出産に踏み切った人の中での不安は、「住宅ローン」「仕事面」「教育費用」となった。

理由/悩み・不安	第一子のみ		第二子以降		差
	回答数	割合	回答数	割合	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2.7%	33	5.7%	3.0%
仕事が忙しい	4	3.6%	24	4.2%	0.5%
職場に自分の代わりがない	0	0.0%	9	1.6%	1.6%
職場に迷惑だと思ふ	0	0.0%	14	2.4%	2.4%
仕事を辞める必要がある	2	1.8%	17	2.9%	1.1%
職場に育児への理解がない	0	0.0%	8	1.4%	1.4%
出産費用が高い	8	7.2%	43	7.4%	0.2%
育児費用が高い	21	18.9%	103	17.8%	-1.1%
教育費用が高い	19	17.1%	113	19.6%	2.4%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	4.5%	64	11.1%	6.6%
趣味と育児の両立が難しい	0	0.0%	12	2.1%	2.1%
地域活動と育児の両立が難しい	2	1.8%	6	1.0%	-0.8%
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	1.8%	14	2.4%	0.6%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	7.2%	42	7.3%	0.1%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	5.4%	16	2.8%	-2.6%
高齢のため	19	17.1%	22	3.8%	-13.3%
持病のため	2	1.8%	3	0.5%	-1.3%
配偶者が望まない	0	0.0%	3	0.5%	0.5%
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	0.9%	7	1.2%	0.3%
ライフプランの中で子どもは一人がいいと考えている	5	4.5%			
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった			8	1.4%	
その他	4	3.6%	17	2.9%	-0.7%
総数	111	100.0%	578	100.0%	

【問 10.住まいの形態×問 11-2.子供の実数】

⇒子供を産むまでは賃貸住宅に住み、子供が産まれると自己または配偶者名義の持ち家に居住する人が多いことが分かる。

⇒特に、第二子以上の子供がいる家庭が自己の住宅を持っている人が多く、住宅ローンが負担になると考えられる。

	住まいの形態	自己または 配偶者名義 の持ち家	賃貸	社宅、宿舎、 寮等	両親、配偶 者の両親の 家に同居	その他
子供の現実数	回答数	658	238	17	111	8
0人	221	51	103	9	56	2
1人	209	126	62	4	15	2
2人	385	302	57	3	20	3
3人以上	217	179	16	1	20	1

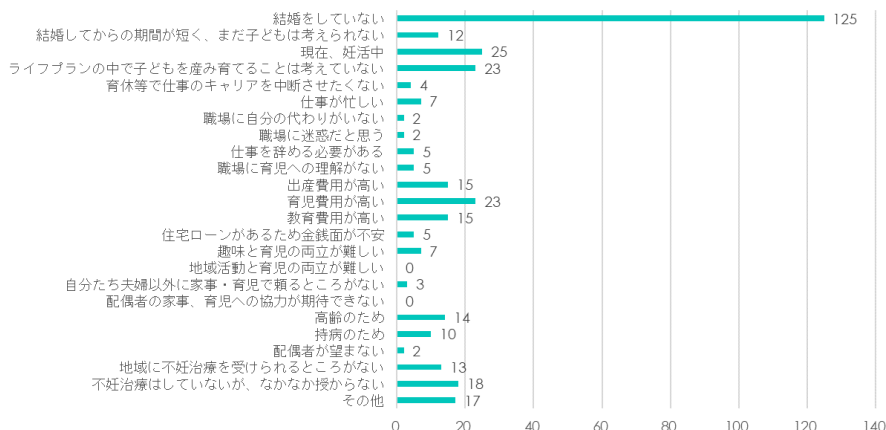
仮説 2-4：（第2子以上を持つ家庭が少ないのは）地域コミュニティ活動で忙しく、子育てに時間をかけられないと感じるからではないか。⇒検証結果×

【問 22.子供のいない理由：複数回答】

「子供のいない人」に質問（問 11-2.実際の子供の数が0人の人に回答項目表示）

⇒「地域活動と育児の両立が難しい」への回答は0。

回答	回答数	割合
結婚をしていない	125	35.5%
結婚してからの期間が短く、まだ子どもは考えられない	12	3.4%
現在、妊活中	25	7.1%
ライフプランの中で子どもを産み育てることは考えていない	23	6.5%
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	4	1.1%
仕事が忙しい	7	2.0%
職場に自分の代わりがない	2	0.6%
職場に迷惑だと思ふ	2	0.6%
仕事を辞める必要がある	5	1.4%
職場に育児への理解がない	5	1.4%
出産費用が高い	15	4.3%
育児費用が高い	23	6.5%
教育費用が高い	15	4.3%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	1.4%
趣味と育児の両立が難しい	7	2.0%
地域活動と育児の両立が難しい	0	0.0%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	3	0.9%
配偶者の家事、育児への協力が期待できない	0	0.0%
高齢のため	14	4.0%
持病のため	10	2.8%
配偶者が望まない	2	0.6%
地域に不妊治療を受けられるところがない	13	3.7%
不妊治療はしていないが、なかなか授からない	18	5.1%
その他	17	4.8%
総数	352	100.0%



【問 26.結婚から時間をおいて第一子がほしいと考えていた理由：複数回答】

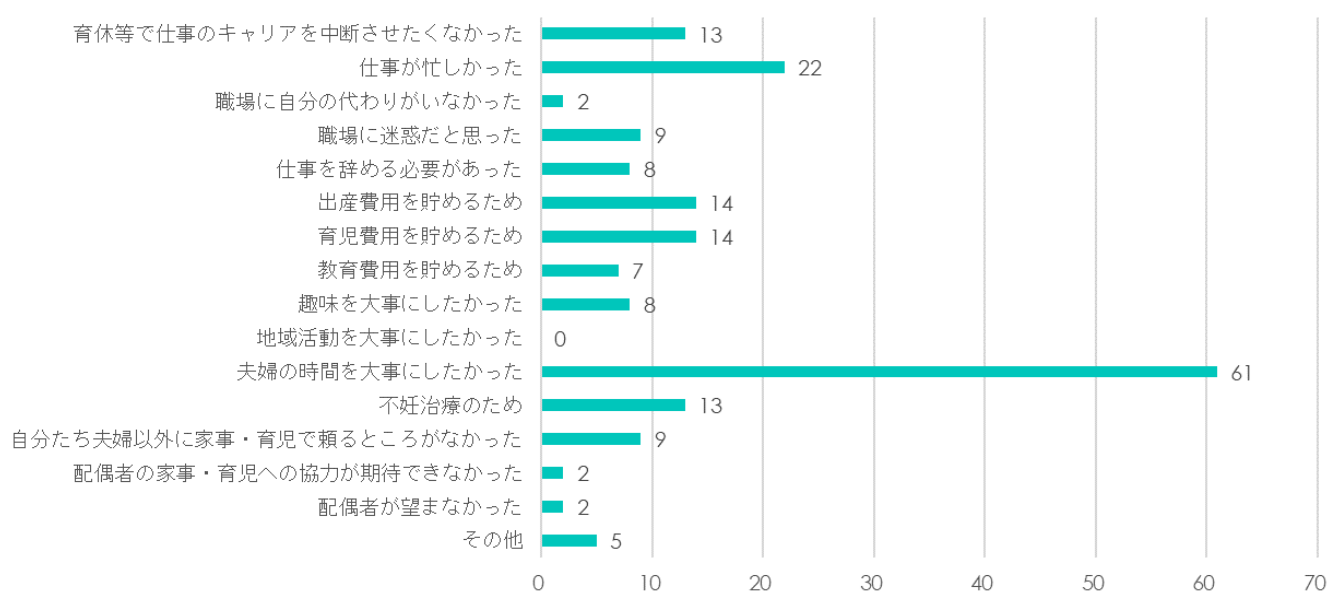
「小学生以下の子供がいる人」で「結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた」人に質問

(問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 25：結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた人に回答項目表示)

⇒「地域活動を大事にしたかった」の回答は0。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくなかった	13	6.9%
仕事が忙しかった	22	11.6%
職場に自分の代わりがいなかった	2	1.1%
職場に迷惑だと思った	9	4.8%
仕事を辞める必要があった	8	4.2%
出産費用を貯めるため	14	7.4%
育児費用を貯めるため	14	7.4%
教育費用を貯めるため	7	3.7%
趣味を大事にしたかった	8	4.2%
地域活動を大事にしたかった	0	0.0%
夫婦の時間を大事にしたかった	61	32.3%
不妊治療のため	13	6.9%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがなかった	9	4.8%
配偶者の家事・育児への協力が期待できなかった	2	1.1%
配偶者が望まなかった	2	1.1%
その他	5	2.6%
総数	189	100.0%

26 結婚から時間をおいて第一子が欲しかった理由



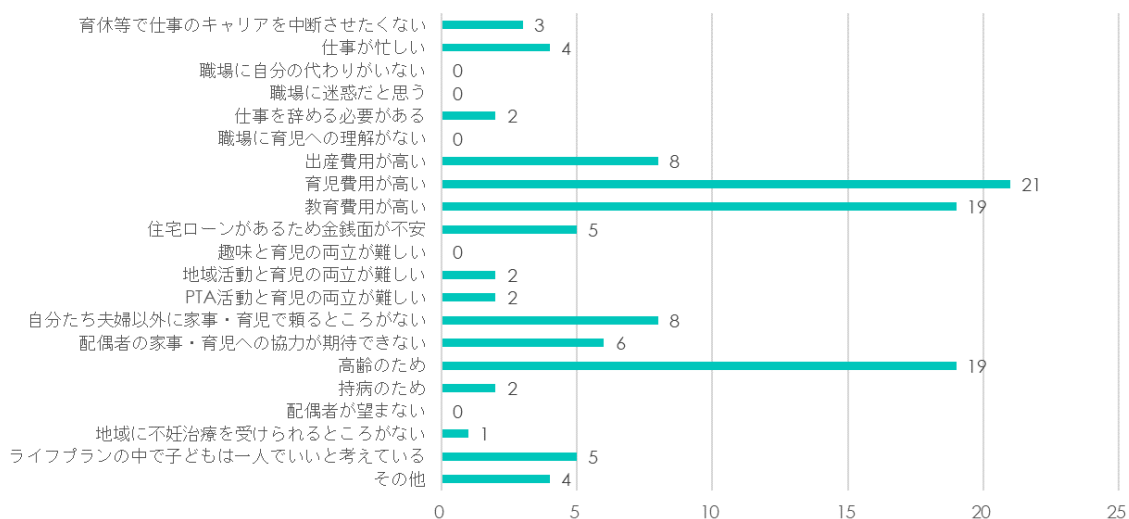
【問 28.第一子のみでいいと考える理由：複数回答】

「小学生以下の子供がいる人」で「第一子のみでいいと考えている」人に質問（問 11-2：1人以上の子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 27：第一子のみでいいと考えている人に回答項目表示）

⇒「地域活動と育児の両立が難しい」「PTA 活動と育児の両立が難しい」への回答はわずか。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2.7%
仕事が忙しい	4	3.6%
職場に自分の代わりがない	0	0.0%
職場に迷惑だと思う	0	0.0%
仕事を辞める必要がある	2	1.8%
職場に育児への理解がない	0	0.0%
出産費用が高い	8	7.2%
育児費用が高い	21	18.9%
教育費用が高い	19	17.1%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	4.5%
趣味と育児の両立が難しい	0	0.0%
地域活動と育児の両立が難しい	2	1.8%
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	1.8%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	7.2%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	5.4%
高齢のため	19	17.1%
持病のため	2	1.8%
配偶者が望まない	0	0.0%
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	0.9%
ライフプランの中で子どもは一人がいいと考えている	5	4.5%
その他	4	3.6%
総数	111	100.0%

28 第一子のみでいい理由

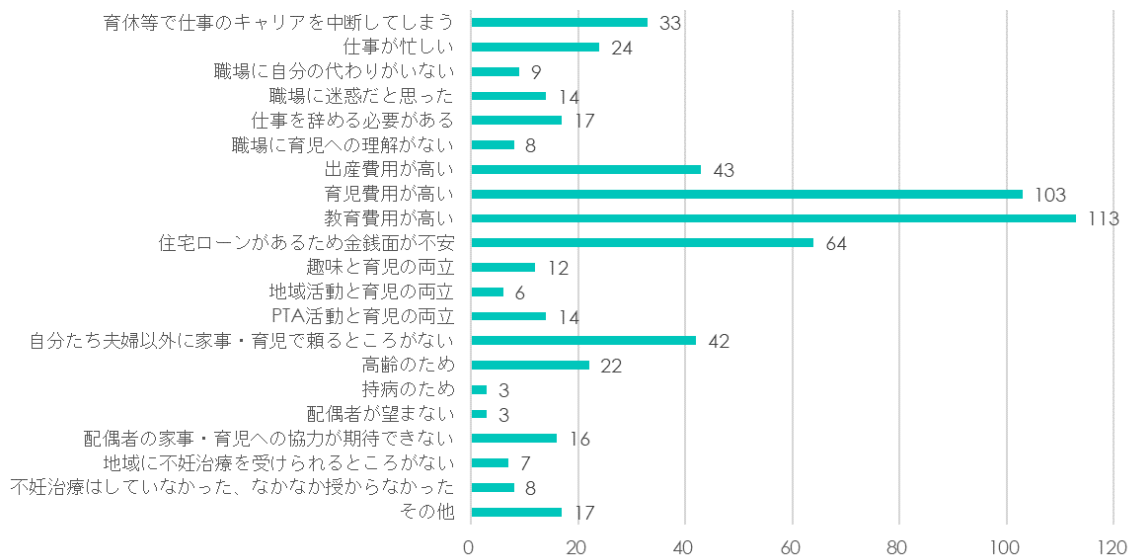


【問 29.第二子以降出産時の悩み：複数回答】

「小学生以下の子供がいる人」で「自身や配偶者が第2子以上を出産した人」に質問（問 11-2：2人以上子供がいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）
⇒「地域活動と育児の両立」「PTA 活動と育児の両立」への回答はわずか。

回答	回答数	割合
育休等で仕事のキャリアを中断してしまう	33	5.7%
仕事が忙しい	24	4.2%
職場に自分の代わりがない	9	1.6%
職場に迷惑だと思った	14	2.4%
仕事を辞める必要がある	17	2.9%
職場に育児への理解がない	8	1.4%
出産費用が高い	43	7.4%
育児費用が高い	103	17.8%
教育費用が高い	113	19.6%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	64	11.1%
趣味と育児の両立	12	2.1%
地域活動と育児の両立	6	1.0%
PTA 活動と育児の両立	14	2.4%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	42	7.3%
高齢のため	22	3.8%
持病のため	3	0.5%
配偶者が望まない	3	0.5%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	16	2.8%
地域に不妊治療を受けられるところがない	7	1.2%
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった	8	1.4%
その他	17	2.9%
総数	578	100.0%

29 第二子以降出産時の悩みや不安



仮説 2-5：（第 2 子以上を持つ家庭が少ないのは）親族と近住していても、親族も仕事等で忙しく、家事育児への協力が期待できないからではないか。⇒検証結果×

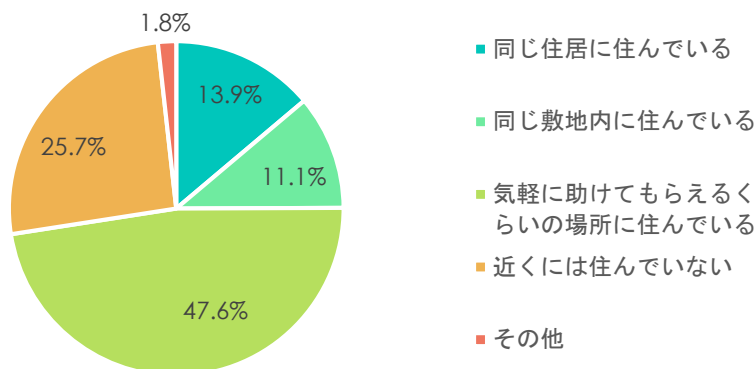
【問 30.親族との同居・近住状況】

「小学生以下の子供がいる人」に質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、及び、問 12：小学生以下の子供がいる人に回答項目表示）

⇒親族と同居・近住している人は 7 割を超える。

回答	回答数	割合
同じ住居に住んでいる	55	13.9%
同じ敷地内に住んでいる	44	11.1%
気軽に助けてもらえるくらいの場所に住んでいる	189	47.6%
近くには住んでいない	102	25.7%
その他	7	1.8%
総数	397	100.0%

30 親族と同居・近住状況



【問 31-1.同居・近住親族の家事・育児への手助けの状況】

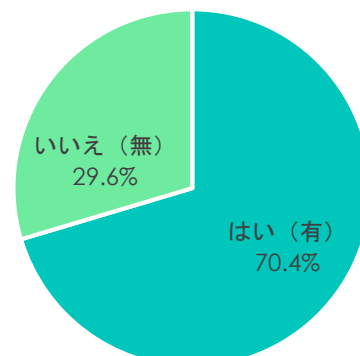
「小学生以下の子供がいる人」で問 30 を親族が「同じ住居」「同じ敷地内」「気軽に助けてもらえるくらいの場所」に住んでいると回答した人へ質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、問 12：小学生以下の子供がいる人、及び、問 30：親族が同じ住居・同じ敷地内・気軽に助けてもらえるくらいの場所に住んでいる人に回答項目表示）

⇒同居・近住しているが「手助け無」との

回答は約 3 割とそもそも割合が低い。

31-1 同居・近住親族の家事育児支援状況

回答	回答数	割合
はい(手助け有)	202	70.4%
いいえ(手助け無)	85	29.6%
総数	287	100.0%



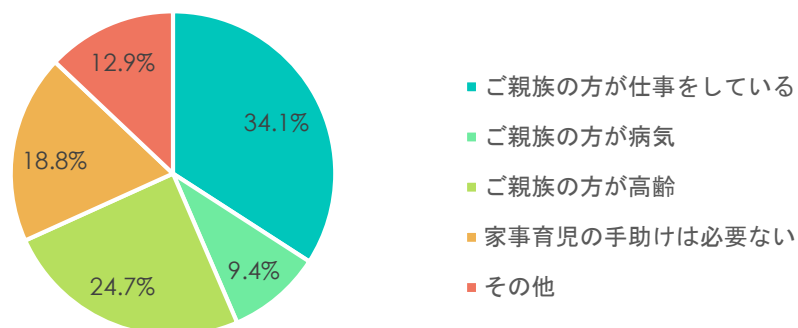
【問 31-2.同居・近住親族の家事・育児の手助けがない理由】

「小学生以下の子供がいる人」で問 30 を「親族が「同じ住居」「同じ敷地内」「気軽に助けてもらえるくらいの場所」に住んでいる」と回答した人で、問 31-1 を「手助けがない」とした人へ質問（問 11-2：1人以上子供のいる人、問 12：小学生以下の子供がいる人、問 30：親族が同じ住居・同じ敷地内・気軽に助けてもらえるくらいの場所に住んでいる人、及び、問 31-1：手助け無（いいえ）と回答した人に回答項目表示）

⇒割合は低いですが、親族からの手助けがない理由として、「親族が仕事をしている」「親族が高齢」という意見が多かった。

回答	回答数	割合
ご親族の方が仕事をしている	29	34.1%
ご親族の方が病気	8	9.4%
ご親族の方が高齢	21	24.7%
家事育児の手助けは必要ない	16	18.8%
その他	11	12.9%
総数	85	100.0%

31-2 同居・近住親族の家事育児の支援ができない理由



【問 29.第二子以降出産時の悩み×問 31-1.同居・近住親族の家事・育児への手助けの状況】
 ⇒第二子以降の出産においては割合で見ると親族からの手助けが無いとした人はあるとした人より「自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない」の割合が高い。

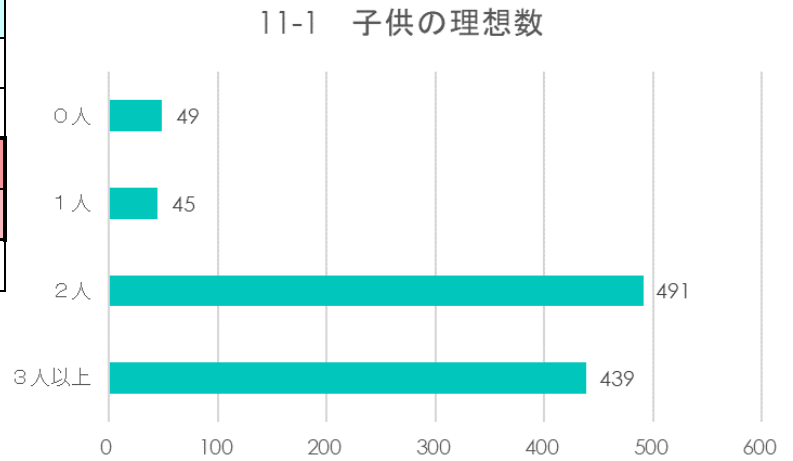
	手助け 有無	はい (有)	いいえ (無)
第二子以降を出産する上での悩みや不安	回答数	301	116
育休等で仕事のキャリアを中断してしまう	25	21	4
仕事が忙しい	17	15	2
職場に自分の代わりがない	5	4	1
職場に迷惑だと思った	12	11	1
仕事を辞める必要がある	13	8	5
職場に育児への理解がない	6	5	1
出産費用が高い	35	22	13
育児費用が高い	75	50	25
教育費用が高い	87	61	26
住宅ローンがあるため金銭面が不安	50	34	16
趣味と育児の両立	10	8	2
地域活動と育児の両立	3	3	0
PTA 活動と育児の両立	9	8	1
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	10	5	5
高齢のため	21	14	7
持病のため	3	2	1
配偶者が望まない	3	2	1
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	10	7	3
地域に不妊治療を受けられるところがない	7	7	0
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった	6	5	1
その他	10	9	1

仮説 2-6：（第2子以上を持つ家庭が少ないのは）考え方の多様化により、子どもは1人でいいと考える人が増えたからではないか。⇒検証結果×

【問 11-1.子供の理想数】

⇒理想の子供の人数は2人以上（「2人」「3人以上」の合計）の回答が90%以上となった。

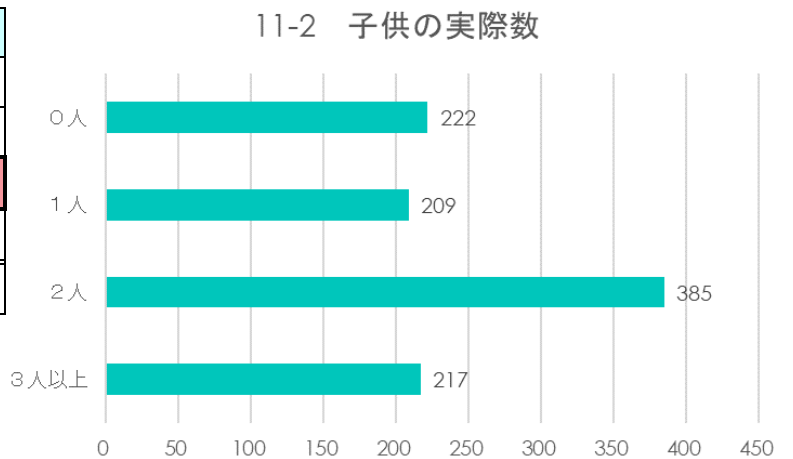
回答	回答数	割合
0人	49	4.8%
1人	45	4.4%
2人	491	47.9%
3人以上	439	42.9%
総数	1024	100.0%



【問 11-2.子供の実際数】

⇒実際の子供の人数は「2人」が最も多い。

回答	回答数	割合
0人	222	21.5%
1人	209	20.2%
2人	385	37.3%
3人以上	217	21.0%
総数	1033	100.0%



【問 11-1.子供の理想数×問 11-2.子供の実際数】

⇒子供の理想の数と実際の数と比較すると、理想は「2人」子供が欲しいとしている人は実際には「1人」「0人」である人も多く、理想は「3人以上」である人も実際には「2人」である人が最も多い。

⇒理想の子供の人数を実際には持つことができない理由があると考えられる。

	理想数	0人	1人	2人	3人以上
実際数	回答数	49	45	491	439
0人	219	45	27	115	32
1人	209	2	12	146	49
2人	380	1	4	183	192
3人以上	216	1	2	47	166

【問 11-1.子供の理想数×問 27.第二子の妊娠・出産への考え】

子供の理想の数は2人だったが、第一子のみでいいと考える人の割合が高くなっている。

⇒実際に第一子を出産した結果、何らかの理由で第二子出産をあきらめる人が多い。

	理想数	0人	1人	2人	3人以上
第二子の妊娠・出産への考え	回答数	2	7	101	55
すぐに第二子がほしいと考えている	50	0	1	26	23
今後、第二子がほしいと考えている	49	0	0	29	20
どちらでもいいと考えている	28	1	1	16	10
第一子のみでいいと考えている	38	1	5	30	2

【問 11-1.子供の理想数（2人のみ割合で色分け）×問 28.第一子のみでいいと考える理由】

⇒実際に第一子を出産した結果、第二子出産をあきらめる理由は、「育児費用が高い」「教育費用が高い」「高齢のため」であることが分かった。

	理想数	0人	1人	2人	3人以上
第一子のみでいいと考える理由	回答数	1	19	84	7
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	0	0	3	0
仕事が忙しい	4	0	1	2	1
職場に自分の代わりがない	0	0	0	0	0
職場に迷惑だと思う	0	0	0	0	0
仕事を辞める必要がある	2	0	0	2	0
職場に育児への理解がない	0	0	0	0	0
出産費用が高い	8	0	0	6	2
育児費用が高い	21	0	4	15	2
教育費用が高い	19	0	4	15	0
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	0	0	5	0
趣味と育児の両立が難しい	0	0	0	0	0
地域活動と育児の両立が難しい	2	0	1	1	0
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	0	0	2	0
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	0	1	7	0
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	0	2	4	0
高齢のため	19	0	2	15	2
持病のため	2	0	1	1	0
配偶者が望まない	0	0	0	0	0
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	0	0	1	0
ライフプランの中で子どもは一人がいいと考えている	5	0	3	2	0
その他	4	1	0	3	0

仮説 3：（進学等で出て行った若者が戻らないのは）

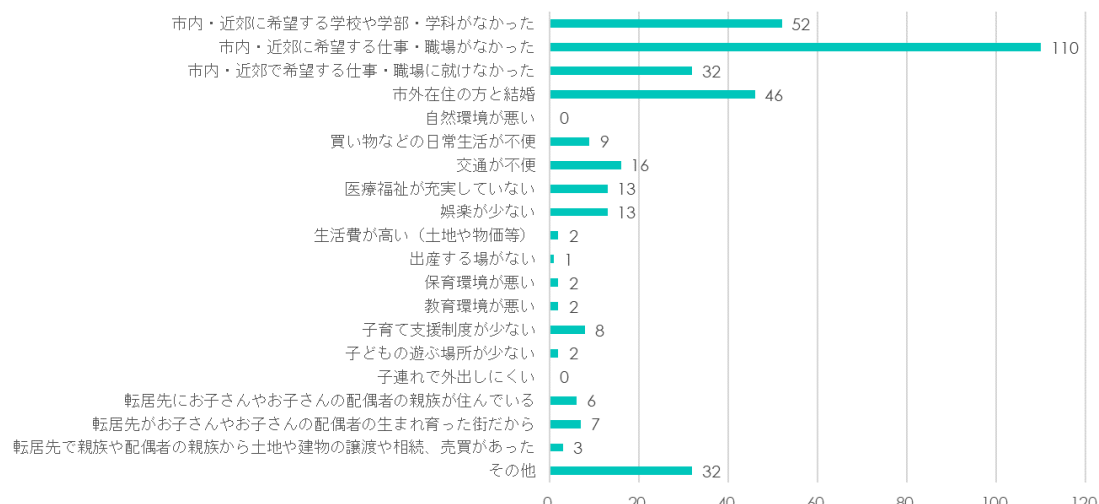
【問 14-3.市外在住の子供の市内へ戻らない理由：複数回答】

「市内居住者」で「子供が市外で生活している人」に質問（問 3：市内居住者、及び、問 11-2：1人以上子供のいる人に回答項目表示）

⇒「市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった」「市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった」「市外在住の方と結婚」の回答が多かった。

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	52	14.6%
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	110	30.9%
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	32	9.0%
市外在住の方と結婚	46	12.9%
自然環境が悪い	0	0.0%
買い物などの日常生活が不便	9	2.5%
交通が不便	16	4.5%
医療福祉が充実していない	13	3.7%
娯楽が少ない	13	3.7%
生活費が高い(土地や物価等)	2	0.6%
出産する場がない	1	0.3%
保育環境が悪い	2	0.6%
教育環境が悪い	2	0.6%
子育て支援制度が少ない	8	2.2%
子どもの遊ぶ場所が少ない	2	0.6%
子連れで外出しにくい	0	0.0%
転居先にお子さんやお子さんの配偶者の親族が住んでいる	6	1.7%
転居先がお子さんやお子さんの配偶者の生まれ育った街だから	7	2.0%
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	3	0.8%
その他	32	9.0%
総数	356	100.0%

14-3 子供の市内へ戻らない・戻れない理由



仮説 4：（進学等で女性が出て行ってしまうのは）上田市の産業・就労構造では女性が思い描くキャリアを実現できないからではないか。⇒検証結果△

【問 13-1.学生の進路希望】

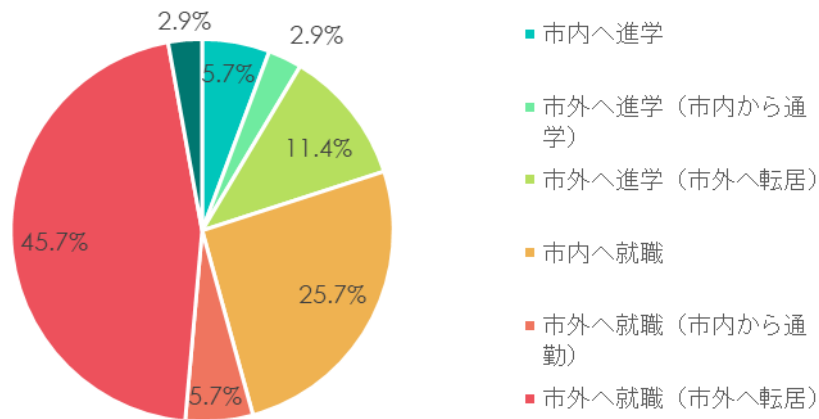
「学生」に質問（問 8：学生のみに回答項目表示）

⇒回答者の母数が少ないが、「市内へ就職」が 25.7%、「市外へ就職」が合計 51.4%となり、「市外へ就職」が「市内への就職」を大きく超える結果となった。

⇒「市外へ就職」の中でも「市外へ転居」を希望する人の割合が高い。近隣地域や圏域内においても学生のニーズに応えられていない現状がある。

回答	回答数	割合
市内へ進学	2	5.7%
市外へ進学(市内から通学)	1	2.9%
市外へ進学(市外へ転居)	4	11.4%
市内へ就職	9	25.7%
市外へ就職(市内から通勤)	2	5.7%
市外へ就職(市外へ転居)	16	45.7%
未定	1	2.9%
総数	35	100.0%

13-1 学生の進路希望



【問 13-3.学生の市外就職希望の理由】

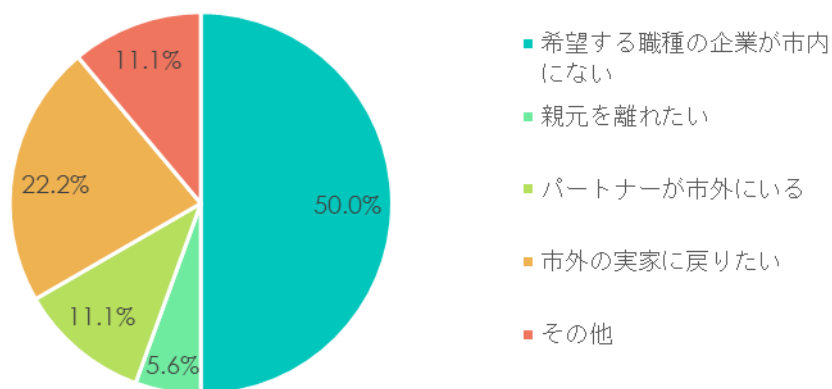
「学生」で「進路希望が「市外へ就職」者」へ質問（問 8：学生、及び、問 13-1：市外へ就職（市内から通勤）・市外へ就職（市外へ転居）のみに回答項目表示）

⇒その他の内容は「働きたい場所が市外にある」「魅力がない」であった。

⇒回答数が少ないが、「希望する職種の企業が市内にない」が 50.0%の回答だった。

回答	回答数	割合
希望する職種の企業が市内にない	9	50.0%
親元を離れたい	1	5.6%
パートナーが市外にいる	2	11.1%
市外の実家に戻りたい	4	22.2%
その他	2	11.1%
総数	18	100.0%

13-3 学生の市外就職希望理由



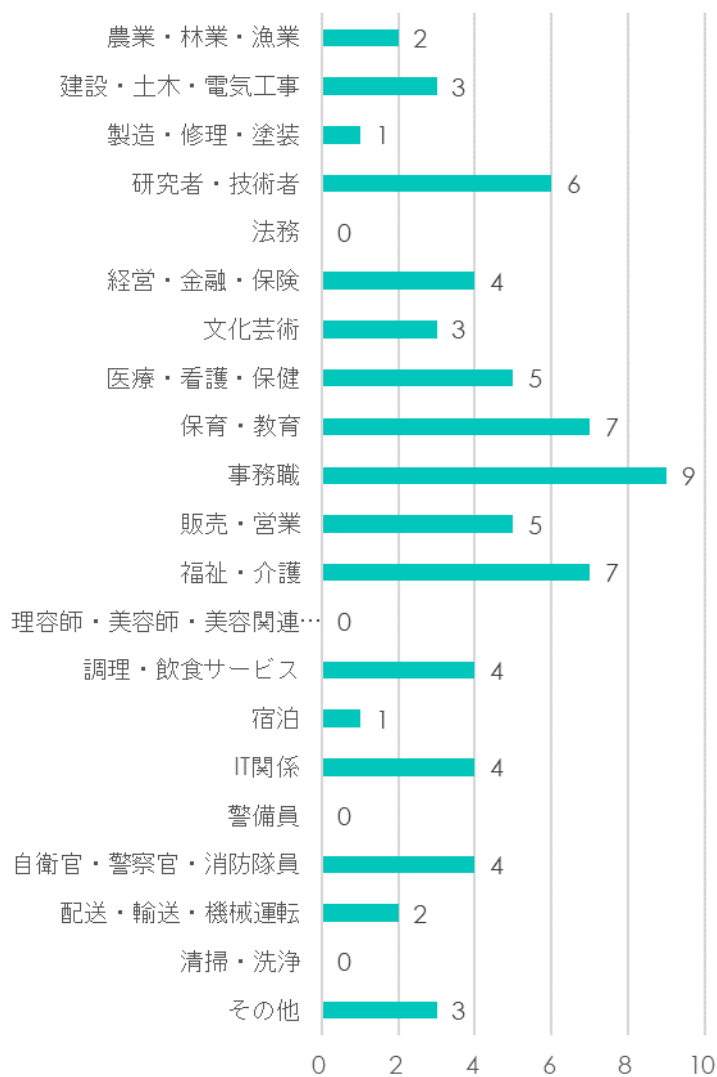
【問 13-4.学生の就職希望職種：複数回答】

「学生」に質問（問 8：学生のみ回答項目表示）

⇒回答数が少なく、傾向をつかむのは困難だった。

回答	回答数	割合
農業・林業・漁業	2	2.9%
建設・土木・電気工事	3	4.3%
製造・修理・塗装	1	1.4%
研究者・技術者	6	8.6%
法務	0	0.0%
経営・金融・保険	4	5.7%
文化芸術	3	4.3%
医療・看護・保健	5	7.1%
保育・教育	7	10.0%
事務職	9	12.9%
販売・営業	5	7.1%
福祉・介護	7	10.0%
理、美容師・美容関連サービス	0	0.0%
調理・飲食サービス	4	5.7%
宿泊	1	1.4%
IT関係	4	5.7%
警備員	0	0.0%
自衛官・警察官・消防隊員	4	5.7%
配送・輸送・機械運転	2	2.9%
清掃・洗浄	0	0.0%
その他	3	4.3%
総数	70	100.0%

13-4 就職希望職種



【問 13-3.学生の市外就職希望の理由×問 13-4.学生の就職希望職種：複数回答】

⇒回答数が少なく、傾向をつかむのは困難だった。

	回答	希望する 職種の 企業が 市内にな い	親元を離 れたい	パートナ ーが市外 にいる	市外の 実家に戻 りたい	その他
回答	回答数	16	1	3	5	6
農業・林業・漁業	1	1	0	0	0	0
建設・土木・電気工事	2	0	0	1	1	0
製造・修理・塗装	0	0	0	0	0	0
研究者・技術者	2	1	0	0	1	0
法務	0	0	0	0	0	0
経営・金融・保険	1	1	0	0	0	0
文化芸術	0	0	0	0	0	0
医療・看護・保健	3	2	0	0	0	1
保育・教育	4	2	0	0	0	2
事務職	5	4	0	0	0	1
販売・営業	1	1	0	0	0	0
福祉・介護	5	1	0	1	2	1
理美容師・美容関連サービス	0	0	0	0	0	0
調理・飲食サービス	2	0	1	0	0	1
宿泊	0	0	0	0	0	0
IT関係	1	1	0	0	0	0
警備員	0	0	0	0	0	0
自衛官・警察官・消防隊員	1	1	0	0	0	0
配送・輸送・機械運転	1	1	0	0	0	0
清掃・洗浄	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	1	1	0

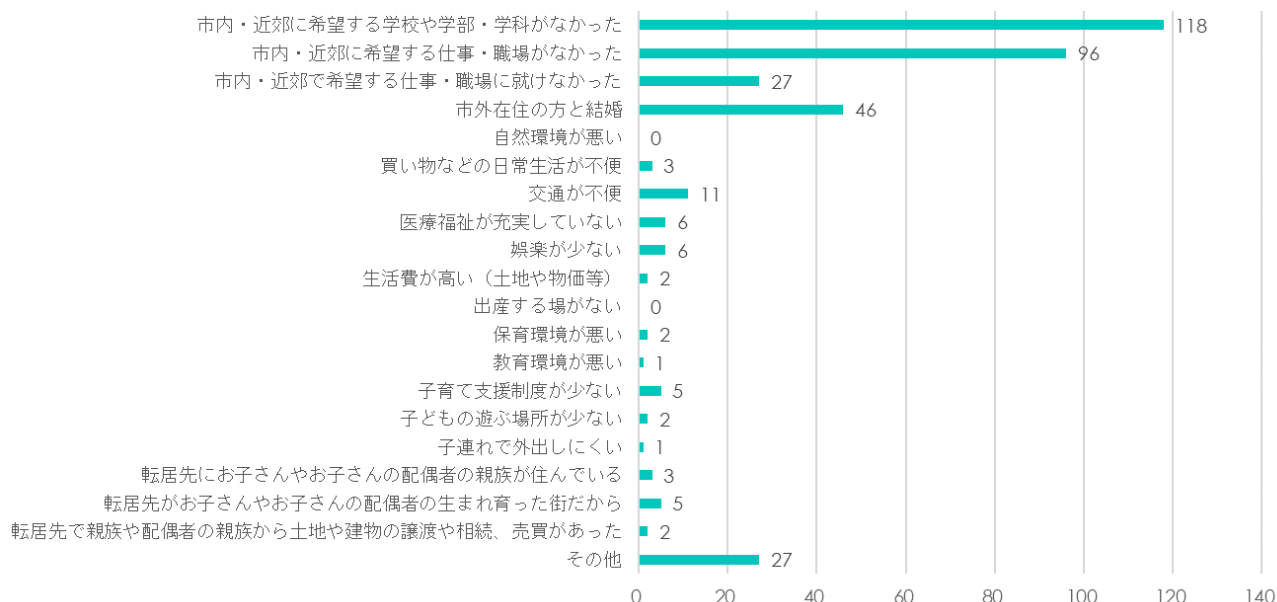
【問 14-2.市外在住の子供の転出理由：複数回答】

「市内居住者」で「子供が市外で生活している人」に質問（問 3：市内居住者、及び、問 11-2：

1人以上子供のいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	118	32.5%
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	96	26.4%
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	27	7.4%
市外在住の方と結婚	46	12.7%
自然環境が悪い	0	0.0%
買い物などの日常生活が不便	3	0.8%
交通が不便	11	3.0%
医療福祉が充実していない	6	1.7%
娯楽が少ない	6	1.7%
生活費が高い(土地や物価等)	2	0.6%
出産する場がない	0	0.0%
保育環境が悪い	2	0.6%
教育環境が悪い	1	0.3%
子育て支援制度が少ない	5	1.4%
子どもの遊ぶ場所が少ない	2	0.6%
子連れで外出しにくい	1	0.3%
転居先にお子さんやお子さんの配偶者の親族が住んでいる	3	0.8%
転居先がお子さんやお子さんの配偶者の生まれ育った街だから	5	1.4%
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	2	0.6%
その他	27	7.4%
総数	363	100.0%

14-2 子供の市外転出理由



【問 14-2.子供の市外転出理由：市内近郊に希望する仕事・職場がなかった

×問 14-4.子供の職種】

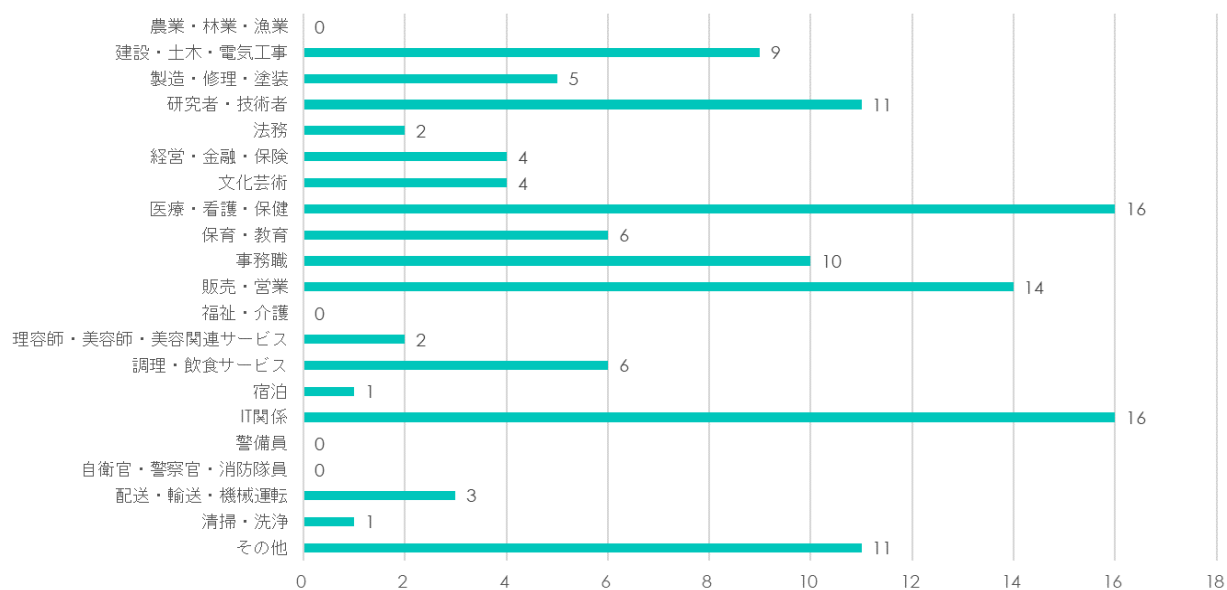
⇒学生での検証はできなかったが、子供が市外在住の人への質問で、子供の市外転出理由として市内近郊に希望する仕事・職場がなかったという回答とその職種を集計したところ、「医療・看護・保健」「IT 関係」の回答が多かった。

⇒上田市の産業構造で従業者数の多い順で①製造業②卸売業③医療・福祉という客観的指標分析があり、「医療・看護・保健」に関して、今回の回答とは重複しない分野だったのか、その分野の企業が市内にあるということが知られていないかが考えられる。

⇒市内近郊に「IT 関係」の企業が少ないと考えられる。

	市外転出理由	市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった
子供の職種	回答数	121
農業・林業・漁業	1	0
建設・土木・電気工事	22	9
製造・修理・塗装	15	5
研究者・技術者	26	11
法務	5	2
経営・金融・保険	12	4
文化芸術	17	4
医療・看護・保健	52	16
保育・教育	21	6
事務職	31	10
販売・営業	39	14
福祉・介護	4	0
理容師・美容師・美容関連サービス	6	2
調理・飲食サービス	16	6
宿泊	3	1
IT 関係	43	16
警備員	0	0
自衛官・警察官・消防隊員	2	0
配送・輸送・機械運転	6	3
清掃・洗浄	4	1
その他	37	11

14-2 子供の市外転出理由：市内近郊に希望する仕事・職場がなかった
 × 14-4子どもの職種



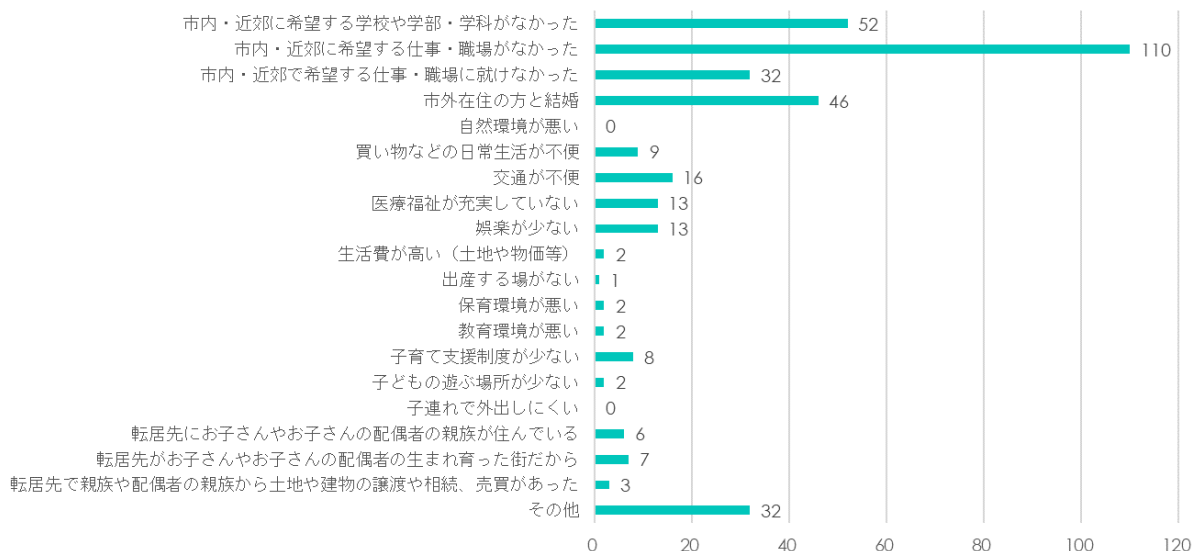
【問 14-3.市外在住の子供の市内へ戻らない理由：複数回答】

「市内居住者」で「子供が市外で生活している人」に質問（問 3：市内居住者、及び、問 11-2：

1人以上子供のいる人に回答項目表示）

回答	回答数	割合
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	52	14.6%
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	110	30.9%
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	32	9.0%
市外在住の方と結婚	46	12.9%
自然環境が悪い	0	0.0%
買い物などの日常生活が不便	9	2.5%
交通が不便	16	4.5%
医療福祉が充実していない	13	3.7%
娯楽が少ない	13	3.7%
生活費が高い(土地や物価等)	2	0.6%
出産する場がない	1	0.3%
保育環境が悪い	2	0.6%
教育環境が悪い	2	0.6%
子育て支援制度が少ない	8	2.2%
子どもの遊ぶ場所が少ない	2	0.6%
子連れで外出しにくい	0	0.0%
転居先にお子さんやお子さんの配偶者の親族が住んでいる	6	1.7%
転居先がお子さんやお子さんの配偶者の生まれ育った街だから	7	2.0%
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	3	0.8%
その他	32	9.0%
総数	356	100.0%

14-3 子供の市内へ戻らない・戻れない理由



【問 14-3.子供の市内へ戻らない・戻れない理由：市内近郊に希望する仕事・職場がなかった

×問 14-4.子供の職種】

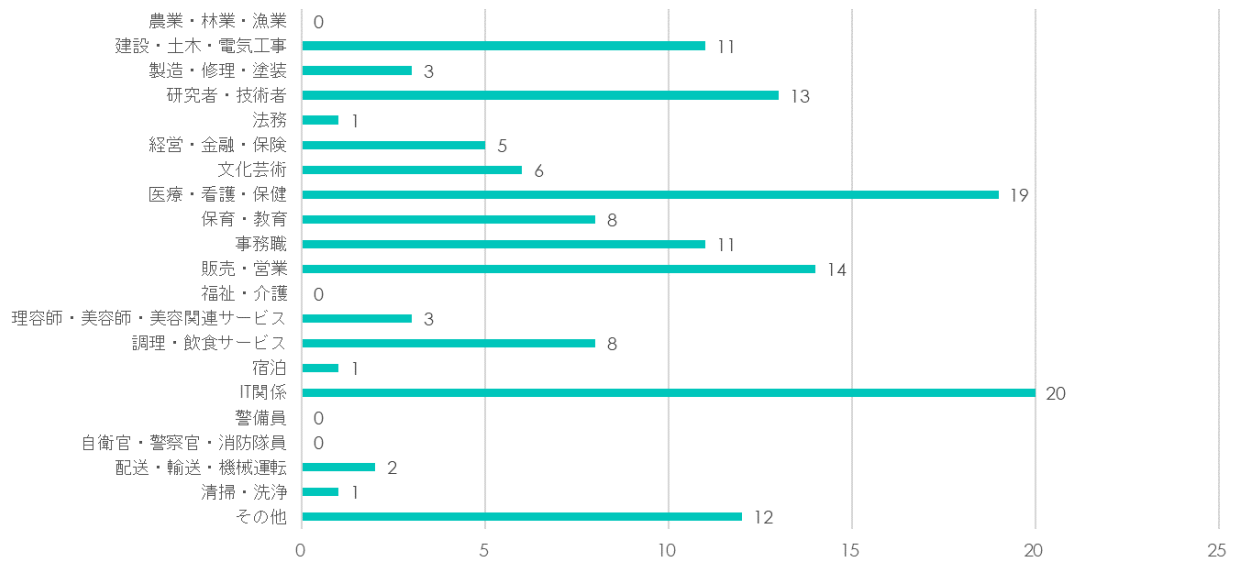
⇒学生での検証はできなかったが、子供が市外在住の人への質問で、子供が戻ってこない理由として市内近郊に希望する仕事・職場がなかったという回答とその職種を集計したところ、「医療・看護・保健」「IT 関係」の回答が多かった。

⇒上田市の産業構造で従業者数の多い順で①製造業②卸売業③医療・福祉という客観的指標分析があり、「医療・看護・保健」に関して、今回の回答とは重複しない分野だったのか、その分野の企業が市内にあるということが知られていないかが考えられる。

⇒市内近郊に「IT 関係」の企業が少ないと考えられる。

	市内へ戻らない・戻れない理由	市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった
子供の職種	回答数	138
農業・林業・漁業	1	0
建設・土木・電気工事	22	11
製造・修理・塗装	15	3
研究者・技術者	23	13
法務	4	1
経営・金融・保険	12	5
文化芸術	17	6
医療・看護・保健	54	19
保育・教育	22	8
事務職	28	11
販売・営業	40	14
福祉・介護	5	0
理容師・美容師・美容関連サービス	8	3
調理・飲食サービス	17	8
宿泊	4	1
IT 関係	45	20
警備員	0	0
自衛官・警察官・消防隊員	2	0
配送・輸送・機械運転	4	2
清掃・洗浄	2	1
その他	30	12

14-3 子供の市内へ戻らない・戻れない理由：市内近郊に希望する仕事・職場がなかった
 × 14-4子どもの職種



仮説5：（進学等で行った人が戻らないのは）高等教育機関が少なく、市外に進学してしまっているのではないか。⇒検証不可能

【問 13-1.学生の進路希望】

「学生」に質問（問8：学生のみ回答項目表示）

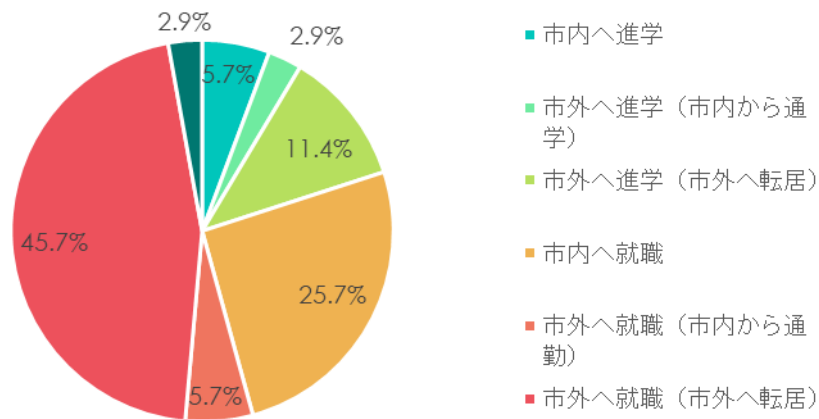
⇒回答者数が少なく、検証は不可能だった。（以下、その中でも参考として記載。）

⇒回答者の母数が少ないが、「市外へ進学」が14.3%となり、「市内への進学・就職」5.7%を大きく超える結果となった。

⇒回答者の母数が少ないが、「市外への進学」の中でも「市外へ転居」を希望する人の割合が高い。近隣地域や圏域内においても学生のニーズに応えられていない現状がある。

回答	回答数	割合
市内へ進学	2	5.7%
市外へ進学(市内から通学)	1	2.9%
市外へ進学(市外へ転居)	4	11.4%
市内へ就職	9	25.7%
市外へ就職(市内から通勤)	2	5.7%
市外へ就職(市外へ転居)	16	45.7%
未定	1	2.9%
総数	35	100.0%

13-1 学生の進路希望



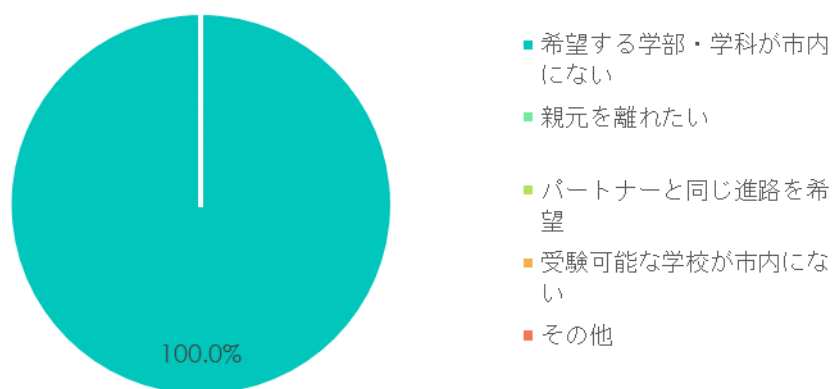
【問 13-2.学生の市外進学希望の理由】

「学生」で「進路希望が「市外へ進学」者」へ質問（問 8：学生、及び、問 13-1：市外へ進学（市内から通学）・市外へ進学（市外へ転居）のみに回答項目表示）

⇒回答者の母数が少ないが、市外進学希望の理由は「希望する学部・学科が市内にない」のみだった。

回答	回答数	割合
希望する学部・学科が市内にない	5	100.0%
親元を離れたい	0	0.0%
パートナーと同じ進路を希望	0	0.0%
受験可能な学校が市内にない	0	0.0%
その他	0	0.0%
総数	5	100.0%

13-2 学生の市外進学希望理由



仮説 6：（子育て世代が転出してしまうのは）子供ができると生活費の安い他市町村へ転居してしまうのではないか。⇒検証結果×

【問 6.同居の家族構成×問 15.市内居住理由】

⇒子育て世帯の転入理由は「就業・就学」「結婚」「出身地」以外では、「自然環境の良さ」「日常生活が便利」「通勤通学に便利」という項目を挙げる人が多い。

	家族構成	单身	夫婦(※ 事実婚を 含む)	2世代世 帯(子と)	2世代世 帯(親と)	3世代世 帯(親と 子と)	その他
市内居住理由	回答数	113	202	541	59	94	8
市内・近郊に希望する学校や学部・学科があった	48	23	2	19	0	3	1
市内・近郊に希望する仕事・職場があった	91	16	21	46	0	8	0
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けた	109	18	17	56	10	7	1
市内在住の方と結婚	101	4	13	67	2	14	1
自然環境がいい	82	11	21	39	4	7	0
買い物などの日常生活が便利	42	5	9	26	2	0	0
通勤通学に便利	49	7	14	23	2	3	0
医療福祉が充実している	2	1	0	0	0	0	1
娯楽が多い	8	3	1	4	0	0	0
生活費が安い(土地や物価等)	22	2	6	10	1	2	1
出産する場が多い	0	0	0	0	0	0	0
保育環境がいい	3	0	0	2	0	1	0
教育環境がいい	4	0	0	4	0	0	0
子育て支援制度が豊富	3	0	0	3	0	0	0
子どもの遊ぶ場所が多い	1	0	0	1	0	0	0
子連れで外出しやすい	7	0	1	5	0	0	1
ご自身や配偶者の親族が住んでいる	154	8	33	77	12	24	0
ご自身や配偶者の生まれ育った街だから	171	9	35	92	16	18	1
ご自身の両親や配偶者の両親から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	54	4	12	30	4	4	0
その他	66	2	17	37	6	3	1

【問 6.同居の家族構成×問 16.市外への転出理由】

⇒子育て世帯の転出理由は「就業・就学」「結婚」「出身地」以外では、「医療福祉が充実していない」「子育て支援制度が少ない」の割合が高く、対策または現行施策の積極的な広報の必要性があると考えられる。

	家族構成	单身	夫婦(※ 事実婚を 含む)	2世代世 帯(子と)	2世代世 帯(親と)	3 世代世 帯(親と 子と)	その他
市外への転出理由	回答数	39	44	63	20	15	2
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	20	3	6	6	3	2	0
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	27	9	1	8	4	4	1
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	9	0	3	4	1	1	0
市外在住の方と結婚	8	1	6	0	1	0	0
自然環境が悪い	2	0	0	1	0	1	0
買い物などの日常生活が不便	5	1	1	2	1	0	0
交通が不便	10	5	1	4	0	0	0
医療福祉が充実していない	14	0	2	7	3	2	0
娯楽が少ない	10	3	4	1	2	0	0
生活費が高い(土地や物価等)	3	2	0	0	0	1	0
出産する場がない	3	0	1	1	1	0	0
保育環境が悪い	3	1	1	1	0	0	0
教育環境が悪い	5	0	0	3	2	0	0
子育て支援制度が少ない	15	2	3	6	2	2	0
子どもの遊ぶ場所が少ない	3	0	1	2	0	0	0
子連れで外出しにくい	2	0	0	1	0	1	0
転居先にご自身や配偶者の親族が住んでいる	14	4	4	5	0	1	0
転居先がご自身や配偶者の生まれ育った街だから	13	4	3	6	0	0	0
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	5	1	0	4	0	0	0
その他	12	3	7	1	0	0	1

【問 6.同居の家族構成×問 17.市外転居・市外定住理由】

	家族構成	単身	夫婦(※ 事実婚を 含む)	2世代世 帯(子と)	2世代世 帯(親と)	3世代世 帯(親と 子と)	その他
市外転居・市外定住理由	回答数	7	18	24	19	9	1
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	7	4	1	0	1	1	0
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	7	1	3	1	1	1	0
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	6	2	2	0	1	1	0
市外在住の方と結婚	6	0	2	2	0	2	0
自然環境が悪い	0	0	0	0	0	0	0
買い物などの日常生活が不便	1	0	0	0	1	0	0
交通が不便	2	0	0	1	1	0	0
医療福祉が充実していない	4	0	2	1	1	0	0
娯楽が少ない	3	0	3	0	0	0	0
生活費が高い(土地や物価等)	2	0	0	2	0	0	0
出産する場がない	3	0	2	1	0	0	0
保育環境が悪い	2	0	0	2	0	0	0
教育環境が悪い	2	0	1	1	0	0	0
子育て支援制度が少ない	1	0	0	1	0	0	0
子どもの遊ぶ場所が少ない	0	0	0	0	0	0	0
子連れで外出しにくい	0	0	0	0	0	0	0
居住地にご自身や配偶者の親族が住んでいる	12	0	0	5	5	2	0
居住地にご自身や配偶者の生まれ育った街だから	14	0	0	6	6	2	0
居住地で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	2	0	0	0	2	0	0
その他	4	0	2	1	0	0	1

【問 6.同居の家族構成×問 18.市内定住理由】

⇒子育て世帯の定住理由は「就業・就学」「結婚」「出身地」以外では、「自然環境がいい」「日常生活が便利」の割合が高い。

	家族構成	单身	夫婦(※ 事実婚を 含む)	2世代世 帯(子と)	2世代世 帯(親と)	3世代世 帯(親と 子と)	その他
市内定住理由	回答数	40	96	258	84	64	15
市内・近郊に希望する進学先・職場があった	102	8	21	42	16	12	3
市内在住の方と結婚	75	3	16	45	3	5	3
自然環境がいい	52	4	8	20	11	8	1
買い物などの日常生活が便利	24	4	3	10	4	3	0
通勤通学に便利	16	1	4	4	4	2	1
医療福祉が充実している	1	0	0	1	0	0	0
娯楽が多い	0	0	0	0	0	0	0
生活費が安い(土地や物価等)	12	2	4	3	2	0	1
出産する場が多い	0	0	0	0	0	0	0
保育環境がいい	1	0	0	1	0	0	0
教育環境がいい	1	0	0	1	0	0	0
子育て支援制度が豊富	0	0	0	0	0	0	0
子どもの遊ぶ場所が多い	1	0	0	1	0	0	0
子連れで外出しやすい	3	0	0	1	1	1	0
ご自身や配偶者の親族が住んでいる	95	6	14	50	13	11	1
ご自身や配偶者の生まれ育った街だから	123	7	18	57	24	14	3
ご自身の両親や配偶者の両親から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	37	5	6	15	5	5	1
その他	14	0	2	7	1	3	1

仮説 7：（若年層が流出してしまうのは）市内の専門学校や短大の生徒が市内就職していないからではないか。⇒検証不可能

【問 13-1. 学生の進路希望】

「学生」に質問（問 8：学生のみ回答項目表示）

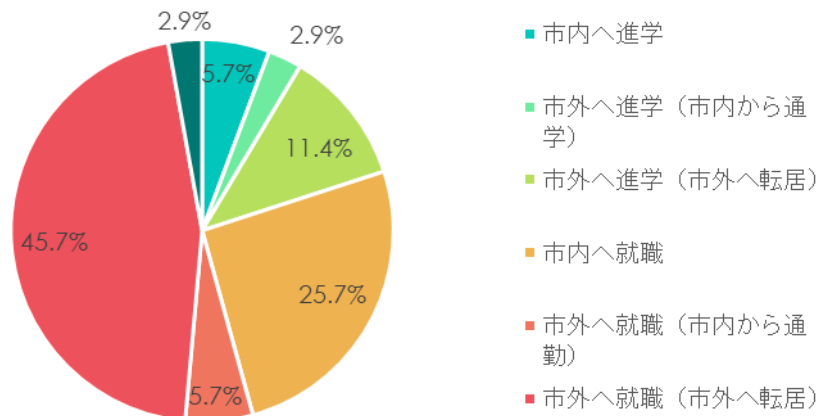
⇒回答者数が少なく、検証は不可能だった。（以下、その中でも参考として記載。）

⇒回答者の母数が少ないが、「市外へ就職」が 51.4%となり、「市内への就職」を大きく超える結果となった。

⇒「市外への就職」の中でも「市外へ転居」を希望する人の割合が高い。近隣地域や圏域内においても学生のニーズに応えられていない現状がある。

回答	回答数	割合
市内へ進学	2	5.7%
市外へ進学(市内から通学)	1	2.9%
市外へ進学(市外へ転居)	4	11.4%
市内へ就職	9	25.7%
市外へ就職(市内から通勤)	2	5.7%
市外へ就職(市外へ転居)	16	45.7%
未定	1	2.9%
総数	35	100.0%

13-1 学生の進路希望



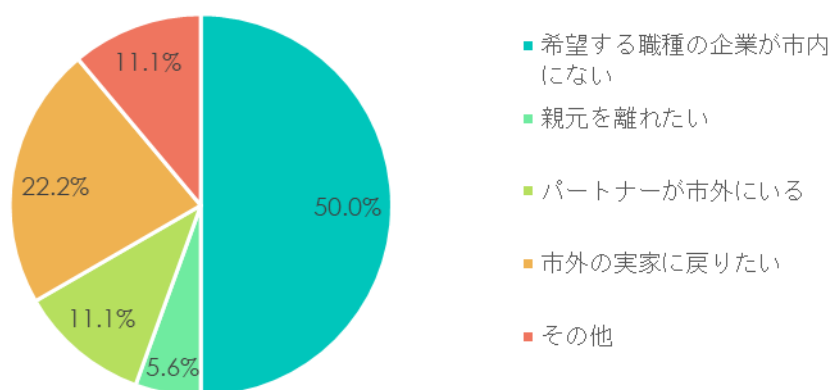
【問 13-3.学生の市外就職希望の理由】

「学生」で「進路希望が「市外へ就職」者」へ質問（問 8：学生、及び、問 13-1：市外へ就職（市内から通勤）・市外へ就職（市外へ転居）のみに回答項目表示）

その他の内容は「働きたい場所が市外にある」「魅力がない」であった。

回答	回答数	割合
希望する職種の企業が市内にない	9	50.0%
親元を離れたい	1	5.6%
パートナーが市外にいる	2	11.1%
市外の実家に戻りたい	4	22.2%
その他	2	11.1%
総数	18	100.0%

13-3 学生の市外就職希望理由



アンケート調査結果：その他クロス集計

【問 2.年齢×問 5.市内居住年数】

⇒どの年代も「出生から今までずっと上田」という人が多いが、20代・30代では居住年数が「5年未満」や「5～10年未満」という人も多い。回答者は就学や就職・結婚のために移住してきた人が多いと考えられる。

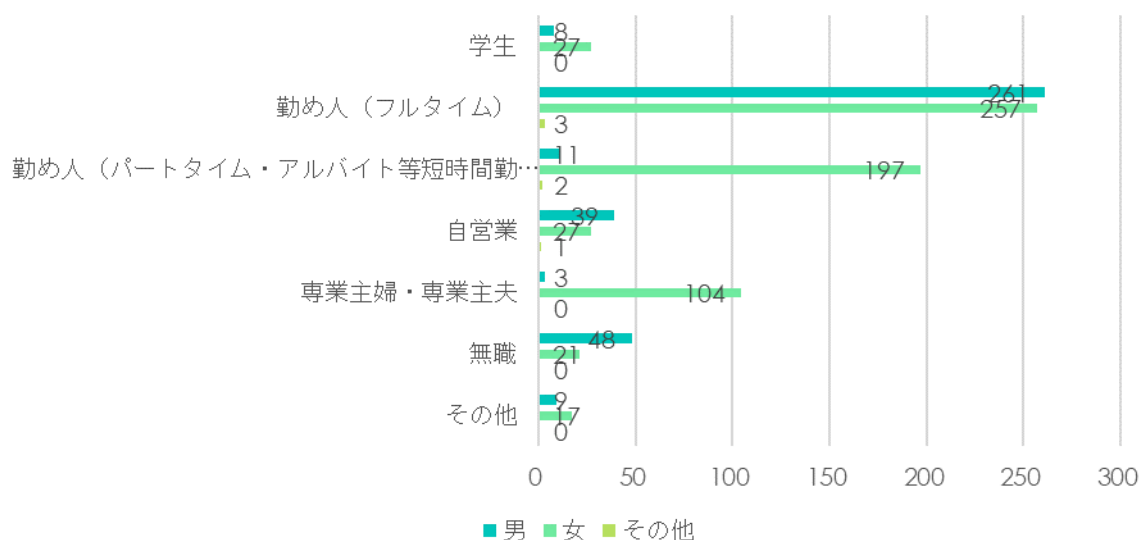
	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
市内居住年数	回答数	15	103	278	285	189	105	48	5	7
5年未満	105	9	33	48	10	1	1	1	1	1
5～10年未満	92	0	13	40	33	5	1	0	0	0
10～15年未満	67	1	1	36	26	3	0	0	1	0
15～20年未満	51	0	5	10	24	8	1	1	0	1
20～25年未満	58	0	9	14	11	18	4	0	1	1
25～30年未満	68	0	3	31	13	16	5	0	0	0
30～35年未満	66	0	0	25	17	13	10	1	0	0
35～40年未満	52	0	0	5	29	5	7	5	0	1
40～45年未満	60	0	0	0	29	14	14	3	0	0
45～50年未満	24	0	0	0	4	10	6	4	0	0
50～55年未満	26	0	0	0	0	14	5	6	1	0
55～60年未満	18	0	0	0	0	7	11	0	0	0
60年以上	13	0	0	0	0	0	6	7	0	0
出生から今までずっと上田	284	5	26	57	73	69	31	20	1	2
市外在住	50	0	13	12	16	5	3	0	0	1
無回答	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0

【問 1.性別×問 8.自身の職業】

⇒男女とも「勤め人（フルタイム）」が多いが、女性は「勤め人（パートタイム・アルバイト等短時間勤務）」「専業主婦」も多い。

	性別	男	女	その他
自身の職業	回答数	379	650	6
学生	35	8	27	0
勤め人(フルタイム)	521	261	257	3
勤め人(パートタイム・アルバイト等短時間勤務)	210	11	197	2
自営業	67	39	27	1
専業主婦・専業主夫	107	3	104	0
無職	69	48	21	0
その他	26	9	17	0

1 性別 × 8 自身の職業

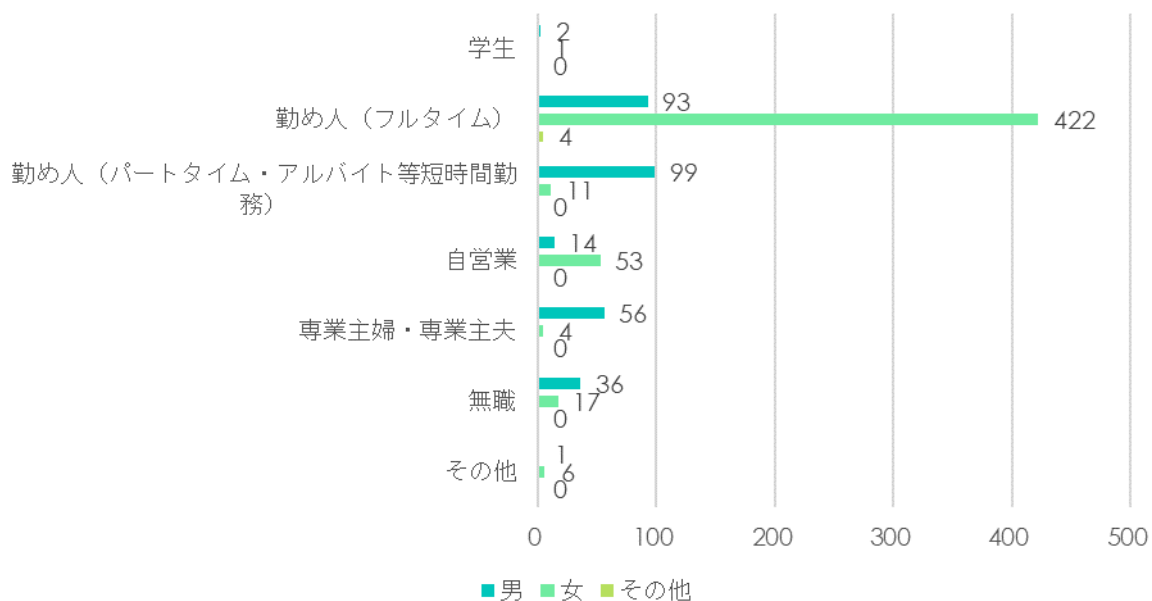


【問 1.性別×問 9.配偶者の職業】

⇒女性が回答したの配偶者の職業はほぼ「勤め人（フルタイム）」となった。

	性別	男	女	その他
配偶者の職業	回答数	301	514	4
学生	3	2	1	0
勤め人(フルタイム)	519	93	422	4
勤め人(パートタイム・アルバイト等短時間勤務)	110	99	11	0
自営業	67	14	53	0
専業主婦・専業主夫	60	56	4	0
無職	53	36	17	0
その他	7	1	6	0

1 性別 × 9 配偶者の職業



【問 13-3.学生の市外就職希望の理由×問 13-4.学生の就職希望職種：複数回答】

⇒回答数が少なく、傾向をつかむのは困難だった。

	回答	希望する 職種の 企業が 市内にな い	親元を離 れたい	パートナ ーが市外 にいる	市外の 実家に戻 りたい	その他
回答	回答数	16	1	3	5	6
農業・林業・漁業	1	1	0	0	0	0
建設・土木・電気工事	2	0	0	1	1	0
製造・修理・塗装	0	0	0	0	0	0
研究者・技術者	2	1	0	0	1	0
法務	0	0	0	0	0	0
経営・金融・保険	1	1	0	0	0	0
文化芸術	0	0	0	0	0	0
医療・看護・保健	3	2	0	0	0	1
保育・教育	4	2	0	0	0	2
事務職	5	4	0	0	0	1
販売・営業	1	1	0	0	0	0
福祉・介護	5	1	0	1	2	1
理美容師・美容関連サービス	0	0	0	0	0	0
調理・飲食サービス	2	0	1	0	0	1
宿泊	0	0	0	0	0	0
IT関係	1	1	0	0	0	0
警備員	0	0	0	0	0	0
自衛官・警察官・消防隊員	1	1	0	0	0	0
配送・輸送・機械運転	1	1	0	0	0	0
清掃・洗浄	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	1	1	0

【問 1.性別×問 15. 市内居住理由】

⇒男性は「ご自身や配偶者の生まれ育った街だから」「ご自身や配偶者の親族が住んでいる」「市内・近郊で希望する仕事・職場に就けた」の回答が多く、女性は「ご自身や配偶者の生まれ育った街だから」「ご自身や配偶者の親族が住んでいる」「市内在住の方と結婚」となっている。

⇒男女共に出身地や実家という理由が多いが、男性は市内への就職が多く、女性は結婚で市外から市内へ嫁いでくる人が多い。

	性別	男	女	その他
市内居住を決めた理由	回答数	398	619	5
市内・近郊に希望する学校や学部・学科があった	48	15	33	0
市内・近郊に希望する仕事・職場があった	91	44	46	1
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けた	109	54	55	0
市内在住の方と結婚	101	16	84	1
自然環境がいい	82	40	42	0
買い物などの日常生活が便利	42	13	28	1
通勤通学に便利	49	18	31	0
医療福祉が充実している	2	1	1	0
娯楽が多い	8	1	7	0
生活費が安い(土地や物価等)	23	10	13	0
出産する場が多い	0	0	0	0
保育環境がいい	3	0	3	0
教育環境がいい	4	1	3	0
子育て支援制度が豊富	3	0	3	0
子どもの遊ぶ場所が多い	2	0	2	0
子連れで外出しやすい	7	3	4	0
ご自身や配偶者の親族が住んでいる	155	58	97	0
ご自身や配偶者の生まれ育った街だから	172	80	91	1
ご自身の両親や配偶者の両親から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	54	20	33	1
その他	67	24	43	0

【問 1.性別×問 16. 市外への転出予定理由】

⇒男性は回答数が少ないが、「市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった」「市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった」「医療福祉が充実していない」の回答が多い。女性は「市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった」「子育て支援制度が少ない」「転居先にご自身や配偶者の親族が住んでいる」の回答が多い。

	性別	男	女	その他
市外転居理由	回答数	62	122	1
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	21	10	11	0
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	27	11	16	0
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	9	4	5	0
市外在住の方と結婚	8	5	3	0
自然環境が悪い	2	1	1	0
買い物などの日常生活が不便	5	3	2	0
交通が不便	10	5	5	0
医療福祉が充実していない	14	7	7	0
娯楽が少ない	11	2	9	0
生活費が高い(土地や物価等)	3	0	3	0
出産する場がない	3	1	2	0
保育環境が悪い	3	1	2	0
教育環境が悪い	5	1	4	0
子育て支援制度が少ない	15	2	13	0
子どもの遊ぶ場所が少ない	3	2	1	0
子連れで外出しにくい	2	0	2	0
転居先にご自身や配偶者の親族が住んでいる	14	1	13	0
転居先がご自身や配偶者の生まれ育った街だから	13	3	10	0
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	5	0	4	1
その他	12	3	9	0

【問 1.性別×問 17. 市外転居・市外居住理由】

⇒男女とも回答数が少なく、傾向をつかむのは困難だった。

	性別	男	女	その他
市外転居・市外居住理由	回答数	37	41	0
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	7	2	5	0
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	7	3	4	0
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	6	4	2	0
市外在住の方と結婚	6	1	5	0
自然環境が悪い	0	0	0	0
買い物などの日常生活が不便	1	1	0	0
交通が不便	2	1	1	0
医療福祉が充実していない	4	2	2	0
娯楽が少ない	3	2	1	0
生活費が高い(土地や物価等)	2	1	1	0
出産する場がない	3	1	2	0
保育環境が悪い	2	1	1	0
教育環境が悪い	2	0	2	0
子育て支援制度が少ない	1	1	0	0
子どもの遊ぶ場所が少ない	0	0	0	0
子連れで外出しにくい	0	0	0	0
居住地にご自身や配偶者の親族が住んでいる	12	8	4	0
居住地がご自身や配偶者の生まれ育った街だから	14	7	7	0
居住地で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	2	1	1	0
その他	4	1	3	0

【問 1.性別×問 18.市内定住理由】

⇒男性は「ご自身や配偶者の生まれ育った街だから」「市内・近郊で希望する進学先・職場があった」「ご自身や配偶者の親族が住んでいる」の回答が多く、女性は「ご自身や配偶者の生まれ育った街だから」「ご自身や配偶者の親族が住んでいる」「市内在住の方と結婚」となっている。

⇒【問 1.性別×問 15. 市内居住理由】と同様の傾向がみられる。

	性別	男	女	その他
市内定住理由	回答数	220	333	4
市内・近郊に希望する進学先・職場があった	102	42	59	1
市内在住の方と結婚	75	14	60	1
自然環境がいい	52	30	21	1
買い物などの日常生活が便利	24	8	16	0
通勤通学に便利	16	11	5	0
医療福祉が充実している	1	1	0	0
娯楽が多い	0	0	0	0
生活費が安い(土地や物価等)	12	3	9	0
出産する場が多い	0	0	0	0
保育環境がいい	1	1	0	0
教育環境がいい	1	0	1	0
子育て支援制度が豊富	0	0	0	0
子どもの遊ぶ場所が多い	1	0	1	0
子連れで外出しやすい	3	3	0	0
ご自身や配偶者の親族が住んでいる	95	31	64	0
ご自身や配偶者の生まれ育った街だから	123	49	73	1
ご自身の両親や配偶者の両親から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	37	22	15	0
その他	14	5	9	0

【問 20-1.自身の結婚前居住地×問 20-2.配偶者の結婚前居住地】

⇒市内同士の結婚、市外同士の結婚が多い。

	自身の結婚前居住地	市内	市外
配偶者の結婚前居住地	回答数	485	411
市内	455	302	153
市外	441	183	258

【問 1.性別×問 21-1.結婚時の自身の職業】

結婚時は男女とも「勤め人（フルタイム）」で勤務していた人が多いが、女性はその後「勤め人（パートタイム・アルバイト等短時間勤務）」「専業主婦」になっている人も多い。

⇒女性は結婚や出産を機に退職をする人が多いと考えられる。

	自身の職業	学生	勤め人（フル）	勤め人（短時間）	自営業	専業主婦・夫	無職	その他
結婚時の自身の職業×性別	回答数	1	438	206	61	107	64	22
学生	11	1	5	3	1	1	0	0
男	3	0	2	0	1	0	0	0
女	8	1	3	3	0	1	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
勤め人（フル）	771	0	415	165	39	80	57	15
男	293	0	209	10	23	2	44	5
女	475	0	204	154	16	78	13	10
その他	3	0	2	1	0	0	0	0
勤め人（短時間）	60	0	10	24	3	20	2	1
男	2	0	2	0	0	0	0	0
女	57	0	8	23	3	20	2	1
その他	1	0	0	1	0	0	0	0
自営業	27	0	3	2	18	2	1	1
男	16	0	3	0	12	1	0	0
女	11	0	0	2	6	1	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
専業主婦・夫	17	0	4	9	0	2	2	0
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	16	0	3	9	0	2	2	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0
無職	8	0	1	3	0	2	1	1
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	8	0	1	3	0	2	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	0	0	0	0	0	1	4
男	2	0	0	0	0	0	0	2
女	3	0	0	0	0	0	1	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

【問 1.性別×問 21-2.結婚時の配偶者の職業】

【問 1.性別×問 21-1.結婚時の自身の職業】と同様の状況が見られる。

	配偶者の職業	学生	勤め人 (フル)	勤め人 (短時間)	自営業	専業主婦・夫	無職	その他
結婚時の配偶者の職業×性別	回答数	3	516	110	67	60	52	7
学生	4	0	3	0	0	1	0	0
男	1	0	0	0	0	1	0	0
女	2	0	2	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0
勤め人(フル)	688	3	496	82	28	36	40	3
男	226	2	84	72	8	33	27	0
女	459	1	409	10	20	3	13	3
その他	3	0	3	0	0	0	0	0
勤め人(短時間)	46	0	11	26	0	6	3	0
男	37	0	5	25	0	6	1	0
女	9	0	6	1	0	0	2	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
自営業	46	0	5	0	38	2	1	0
男	9	0	2	0	5	2	0	0
女	37	0	3	0	33	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
専業主婦・夫	17	0	0	1	0	13	3	0
男	17	0	0	1	0	13	3	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
無職	7	0	1	0	0	1	5	0
男	5	0	1	0	0	0	4	0
女	2	0	0	0	0	1	1	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	7	0	0	1	1	1	0	4
男	4	0	0	1	1	1	0	1
女	3	0	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

【問 10.住まいの形態×問 22. 子供のいない理由】

	住まい の形態	自己また は配偶者 名義の持 ち家	賃貸	社宅、 宿舍、 寮等	両親、配 偶者の両 親の家に 同居	その 他
子供のいない理由	回答数	77	177	16	77	2
結婚をしていない	125	17	52	7	48	1
結婚してからの期間が短く、まだ子どもは考えられない	12	0	9	1	1	1
現在、妊活中	24	5	18	0	1	0
ライフプランの中で子どもを産み育てることは考えていない	23	2	14	3	4	0
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	4	0	4	0	0	0
仕事が忙しい	7	3	4	0	0	0
職場に自分の代わりがない	2	0	0	0	2	0
職場に迷惑だと思う	2	2	0	0	0	0
仕事を辞める必要がある	4	0	3	0	1	0
職場に育児への理解がない	5	2	3	0	0	0
出産費用が高い	15	2	10	1	2	0
育児費用が高い	23	4	15	0	4	0
教育費用が高い	15	0	11	1	3	0
住宅ローンがあるため金銭面が不安	4	2	2	0	0	0
趣味と育児の両立が難しい	7	1	3	1	2	0
地域活動と育児の両立が難しい	0	0	0	0	0	0
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	3	0	3	0	0	0
配偶者の家事、育児への協力が期待できない	0	0	0	0	0	0
高齢のため	14	7	5	0	2	0
持病のため	10	4	3	1	2	0
配偶者が望まない	2	0	1	1	0	0
地域に不妊治療を受けられるところがない	13	8	4	0	1	0
不妊治療はしていないが、なかなか授からない	18	8	9	0	1	0
その他	17	10	4	0	3	0

【問 1.性別×問 23-1.結婚年齢】

⇒男性と女性を比較すると、女性の方がわずかではあるが、ピークが若い。

	性別	男	女	その他
結婚年齢	785	264	517	4
18才	3	0	3	0
19才	3	0	3	0
20才	19	4	15	0
21才	16	3	13	0
22才	25	5	19	1
23才	43	8	35	0
24才	56	14	42	0
25才	100	30	69	1
26才	80	25	55	0
27才	92	31	60	1
28才	75	30	45	0
29才	72	27	44	1
30才	51	22	29	0
31才	34	16	18	0
32才	28	10	18	0
33才	20	7	13	0
34才	14	4	10	0
35才	26	14	12	0
36才	10	4	6	0
37才	3	0	3	0
38才	3	3	0	0
39才	3	1	2	0
40才以上	9	6	3	0

【問 1.性別×問 23-2.第一子出産年齢】

	性別	男	女	その他
第一子出産年齢	784	260	520	4
20才未満	2	0	2	0
20才	8	1	7	0
21才	11	4	7	0
22才	16	2	14	0
23才	21	4	16	1
24才	30	10	20	0
25才	58	12	46	0
26才	73	20	52	1
27才	52	19	33	0
28才	83	25	58	0
29才	85	33	51	1
30才	62	24	38	0
31才	42	19	23	0
32才	59	25	34	0
33才	46	12	33	1
34才	32	10	22	0
35才	29	11	18	0
36才	21	10	11	0
37才	17	7	10	0
38才	11	1	10	0
39才	11	4	7	0
40才	7	2	5	0
41才	3	1	2	0
42才	2	2	0	0
43才	1	0	1	0
44才	2	2	0	0

【問 23-1.結婚年齢×（問 23-2.第一子出産年齢） - （問 23-1.結婚年齢） = 結婚～第一子妊娠出産期間】

	結婚～第一子出産期間	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	15年
結婚年齢	759	78	288	176	83	38	42	20	12	6	3	7	2	2	1	1
18才	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
19才	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
20才	19	6	7	3	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
21才	16	4	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22才	25	1	11	7	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
23才	43	7	18	10	3	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1
24才	56	1	31	18	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25才	99	13	40	13	14	3	8	2	2	1	1	0	1	1	0	0
26才	80	6	22	25	14	2	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0
27才	91	8	36	23	10	1	9	2	1	0	1	0	0	0	0	0
28才	74	4	29	20	6	8	2	0	1	2	0	1	0	1	0	0
29才	70	6	17	12	12	7	5	7	1	1	0	2	0	0	0	0
30才	46	4	13	14	8	3	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0
31才	32	2	8	10	4	3	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0
32才	27	2	11	8	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33才	18	4	7	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
34才	14	1	9	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35才	22	3	8	4	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
36才	8	2	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37才	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38才	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
39才	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40才	4	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41才	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【問 1.性別×問 23-3.第二子出産年齢】

	性別	男	女	その他
第二子出産年齢	579	207	368	4
20才	1	0	1	0
21才	0	0	0	0
22才	2	0	2	0
23才	11	4	7	0
24才	12	0	12	0
25才	10	2	8	0
26才	23	3	20	0
27才	31	8	23	0
28才	42	13	29	0
29才	48	21	27	0
30才	61	19	40	2
31才	52	20	32	0
32才	47	17	30	0
33才	51	19	31	1
34才	36	15	21	0
35才	40	15	24	1
36才	31	12	19	0
37才	22	10	12	0
38才	26	12	14	0
39才	14	4	10	0
40才	10	5	5	0
41才	3	2	1	0
42才	3	3	0	0
43才	1	1	0	0
44才	1	1	0	0
45才以上	1	1	0	0

【問 1.性別×問 23-4.第三子出産年齢】

	性別	男	女	その他
第三子出産年齢	211	78	131	2
24才	1	1	0	0
25才	1	0	1	0
26才	5	0	5	0
27才	2	0	2	0
28才	9	2	7	0
29才	13	3	10	0
30才	13	1	12	0
31才	16	5	11	0
32才	23	10	13	0
33才	22	8	13	1
34才	16	9	7	0
35才	22	9	13	0
36才	13	5	8	0
37才	12	4	8	0
38才	11	6	5	0
39才	12	5	7	0
40才	7	4	2	1
41才	7	3	4	0
42才	3	1	2	0
43才	2	1	1	0
44才	1	1	0	0

【問 1.性別×問 23-5.第四子以上出産年齢】

	性別	男	女	その他
第四子以降出産年齢	23	12	11	0
26才	1	1	0	0
27才	0	0	0	0
28才	0	0	0	0
29才	0	0	0	0
30才	1	1	0	0
31才	1	0	1	0
32才	1	0	1	0
33才	4	2	2	0
34才	2	1	1	0
35才	4	1	3	0
36才	2	2	0	0
37才	0	0	0	0
38才	2	1	1	0
39才	2	1	1	0
40才	1	0	1	0
41才	0	0	0	0
42才	0	0	0	0
43才	0	0	0	0
44才	1	1	0	0
45才	0	0	0	0
46才	1	1	0	0

【問 11-1.子供の理想数×問 25.結婚～第一子妊娠出産期間の考え方】

⇒2人、3人以上の子供が理想の数と答えた人は、結婚後すぐに第一子がほしいと考えていたと回答する人の割合が高い。理想の子供数が2人と3人以上の間に考え方の違い（傾向の違い）が見られる。子供の理想の数によって、結婚後の行動に差が出ていると考えられる。

	理想数	0人	1人	2人	3人以上
結婚～第一子妊娠出産期間の考え方	回答数	2	12	182	202
結婚後すぐに第一子がほしいと考えていた	188	0	4	68	116
結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた	98	0	3	56	39
いつでもいいと考えていた	112	2	5	58	47

【問 11-2.子供の実際数×問 25.結婚～第一子妊娠出産期間の考え方】

⇒結婚後すぐに第一子が欲しいと考えていた人も実際の子供の人数の回答の最大割合も「2人」にとどまっている。また、結婚後時間をおいて第一子がほしい人、いつでもいいと考えていた人は「2人」の割合も高いが、「1人」の割合も高い。結婚後、すぐに子供を欲しいと思い、そのように行動した人でも子供の理想数までの子供を持つことができない現状がある。

⇒そもそも結婚後、すぐに子供を欲しいと思わない人たちは子供の数が少なくなる傾向にある。

	実際数	0人	1人	2人	3人以上
結婚～第一子妊娠出産期間の考え方	回答数	0	122	181	96
結婚後すぐに第一子がほしいと考えていた	189	0	51	83	55
結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた	98	0	40	49	9
いつでもいいと考えていた	112	0	31	49	32

【問 23-1.結婚年齢×問 25.結婚～第一子妊娠出産期間の考え方】

⇒結婚年齢が 35 才を超えると「結婚後すぐに第一子がほしいと考えていた」という回答が増えるが、結婚年齢が若いために、「結婚後から時間をおいて第一子が欲しいと考えていた」という回答にはつながっていない。むしろ 25 才以下で結婚した人は「結婚後すぐに第一子が欲しいと考えていた」人が多い結果となっている。

	結婚～第一子 妊娠出産期間 の考え方	結婚後すぐに第 一子がほしいと 考えていた	結婚後から時間 をおいて第一子がほ しいと考えていた	いつでもいいと考え ていた
結婚年齢	399	189	98	112
18 才	1	1	0	0
19 才	2	0	1	1
20 才	10	3	0	7
21 才	7	3	1	3
22 才	7	4	0	3
23 才	19	10	5	4
24 才	22	10	9	3
25 才	40	15	9	16
26 才	38	19	13	6
27 才	40	19	11	10
28 才	44	18	9	17
29 才	46	24	14	8
30 才	27	15	4	8
31 才	20	7	5	8
32 才	17	8	3	6
33 才	10	6	3	1
34 才	9	7	1	1
35 才	13	10	2	1
36 才	7	3	1	3
37 才	3	2	0	1
38 才	2	0	1	1
39 才	2	1	0	1
40 才	3	2	1	0
41 才	1	1	0	0
無回答	9	1	5	3

【(問 23-2.第一子出産年齢) - (問 23-1.結婚年齢) = 結婚～第一子妊娠出産期間×問

25.結婚～第一子妊娠出産期間の考え方】

⇒結婚後すぐに第一子が欲しいと考えていた人は0～2年の間に第一子を出産している人が多いが、結婚後から時間をおいて第一子が欲しいと考えていた人は2～5年の間に第一子を出産している人が多い。結婚～第一子妊娠出産の考え方により、妊娠～第一子出産の期間に1～3年程度の差が見られる。

	結婚～第一子妊娠出産期間の考え方	結婚後すぐに第一子がほしいと考えていた	結婚後から時間をおいて第一子がほしいと考えていた	いつでもいいと考えていた
結婚～第一子出産期間	384	179	95	110
0	43	17	6	20
1	122	75	6	41
2	98	48	29	21
3	39	8	19	12
4	20	8	8	4
5	25	10	11	4
6	16	7	6	3
7	6	1	4	1
8	5	4	1	0
9	3	0	2	1
10	5	1	2	2
12	2	0	1	1

※第一子出産年齢・結婚年齢のどちらかが未回答、及び、第一子出産年齢-結婚年齢がマイナスになった回答を除き集計

【問 10.住まいの形態×問 27.第二子の妊娠・出産への考え】

第二子の妊娠・出産への考え	住まいの形態	自己または配偶者名義の持ち家	賃貸	社宅、宿舎、寮等	両親、配偶者の両親の家に同居	その他
回答	回答数	98	51	3	12	1
すぐに第二子がほしいと考えている	50	38	9	0	3	0
今後、第二子がほしいと考えている	49	23	21	1	4	0
どちらでもいいと考えている	28	12	14	0	2	0
第一子のみでいいと考えている	38	25	7	2	3	1

【問 25.結婚～第一子妊娠出産期間の考え方×問 27.第二子の妊娠・出産への考え】

⇒第一子をすぐに欲しいと考えていた人は第二子についても「すぐにほしい」か「今後ほしい」と考える人が多い。

	第一子 妊娠出 産	結婚後すぐに第一 子がほしいと考え ていた	結婚後から時間を おいて第一子がほ しいと考えていた	いつでもいいと考 えていた
第二子妊娠出産	回答数	79	42	43
すぐに第二子がほしいと考えている	50	34	9	7
今後、第二子がほしいと考えている	48	24	13	11
どちらでもいいと考えている	28	7	5	16
第一子のみでいいと考えている	38	14	15	9

【問 10.住まいの形態×問 28.第一子のみでいいと考える理由】

	住まいの形態	自己または配偶者名義の持ち家	賃貸	社宅、 宿舎、 寮等	両親、 配偶者の両親の家に同居	その他
第一子のみでいい理由	回答数	76	17	6	11	1
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2	0	0	1	0
仕事が忙しい	4	4	0	0	0	0
職場に自分の代わりがない	0	0	0	0	0	0
職場に迷惑だと思う	0	0	0	0	0	0
仕事を辞める必要がある	2	1	1	0	0	0
職場に育児への理解がない	0	0	0	0	0	0
出産費用が高い	8	7	0	0	1	0
育児費用が高い	21	13	5	0	3	0
教育費用が高い	19	13	4	2	0	0
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	5	0	0	0	0
趣味と育児の両立が難しい	0	0	0	0	0	0
地域活動と育児の両立が難しい	2	2	0	0	0	0
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	2	0	0	0	0
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	5	1	2	0	0
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	1	1	2	2	0
高齢のため	19	14	3	0	2	0
持病のため	2	2	0	0	0	0
配偶者が望まない	0	0	0	0	0	0
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	1	0	0	0	0
ライフプランの中で子どもは一人でもいいと考えている	5	3	1	0	1	0
その他	4	1	1	0	1	1

【問 28.第一子のみでいいと考える理由】【問 29.第二子以降出産時の悩み】比較

比較すると、第二子以降を出産した人の悩みは第一子のみでいいと考えている人に比べ、「高齢のため」の回答率が減少し、「住宅ローンがあるため金銭面が不安」「育休等で仕事のキャリアを中断させたくない」「職場に迷惑だと思う」「教育費用が高い」が増加している。

⇒第二子以降出産に踏み切った人の中での不安は、「住宅ローン」「仕事面」「教育費用」となった。

理由/悩み・不安	第一子のみ		第二子以降		差
	回答数	割合	回答数	割合	割合
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2.7%	33	5.7%	3.0%
仕事が忙しい	4	3.6%	24	4.2%	0.5%
職場に自分の代わりがない	0	0.0%	9	1.6%	1.6%
職場に迷惑だと思う	0	0.0%	14	2.4%	2.4%
仕事を辞める必要がある	2	1.8%	17	2.9%	1.1%
職場に育児への理解がない	0	0.0%	8	1.4%	1.4%
出産費用が高い	8	7.2%	43	7.4%	0.2%
育児費用が高い	21	18.9%	103	17.8%	-1.1%
教育費用が高い	19	17.1%	113	19.6%	2.4%
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	4.5%	64	11.1%	6.6%
趣味と育児の両立が難しい	0	0.0%	12	2.1%	2.1%
地域活動と育児の両立が難しい	2	1.8%	6	1.0%	-0.8%
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	1.8%	14	2.4%	0.6%
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	7.2%	42	7.3%	0.1%
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	5.4%	16	2.8%	-2.6%
高齢のため	19	17.1%	22	3.8%	-13.3%
持病のため	2	1.8%	3	0.5%	-1.3%
配偶者が望まない	0	0.0%	3	0.5%	0.5%
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	0.9%	7	1.2%	0.3%
ライフプランの中で子どもは一人がいいと考えている	5	4.5%			
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった			8	1.4%	
その他	4	3.6%	17	2.9%	-0.7%
総数	111	100.0%	578	100.0%	

【問 26.結婚から時間をおいて第一子がほしいと考えていた理由×問 31-1.同居・近住親族の家
事・育児への手助けの状況】

	手助け 有無	はい (有)	いいえ (無)
時間をおいて第一子が欲しいと考えていた理由	回答数	89	33
育休等で仕事のキャリアを中断させたくなかった	6	4	2
仕事が忙しかった	15	12	3
職場に自分の代わりがいなかった	2	2	0
職場に迷惑だと思った	9	6	3
仕事を辞める必要があった	4	2	2
出産費用を貯めるため	9	6	3
育児費用を貯めるため	7	6	1
教育費用を貯めるため	3	2	1
趣味を大事にしたかった	6	5	1
地域活動を大事にしたかった	0	0	0
夫婦の時間を大事にしたかった	42	31	11
不妊治療のため	9	6	3
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがなかった	5	3	2
配偶者の家事・育児への協力が期待できなかった	2	1	1
配偶者が望まなかった	1	1	0
その他	2	2	0

【問 28.第一子のみでいいと考える理由×問 31-1.同居・近住親族の家事・育児への手助けの状況】

	手助け 有無	はい (有)	いいえ (無)
第一子のみでいいと考える理由	回答数	43	25
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2	1
仕事が忙しい	1	1	0
職場に自分の代わりがない	0	0	0
職場に迷惑だと思う	0	0	0
仕事を辞める必要がある	2	2	0
職場に育児への理解がない	0	0	0
出産費用が高い	8	5	3
育児費用が高い	15	11	4
教育費用が高い	10	7	3
住宅ローンがあるため金銭面が不安	1	0	1
趣味と育児の両立が難しい	0	0	0
地域活動と育児の両立が難しい	1	0	1
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	1	1
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	0	0	0
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	3	3	0
高齢のため	13	7	6
持病のため	1	0	1
配偶者が望まない	0	0	0
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	0	1
ライフプランの中で子どもは一人でいいと考えている	3	1	2
その他	4	3	1

【問 4.出身地×問 22. 子供のいない理由】

	出身地	上田市(合併前の旧丸子町・旧真田町・旧武石村含む)	市外
子供のいない理由	回答数	176	176
結婚をしていない	125	72	53
結婚してからの期間が短く、まだ子どもは考えられない	12	9	3
現在、妊活中	25	14	11
ライフプランの中で子どもを産み育てることは考えていない	23	11	12
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	4	2	2
仕事が忙しい	7	2	5
職場に自分の代わりがない	2	2	0
職場に迷惑だと思う	2	1	1
仕事を辞める必要がある	5	2	3
職場に育児への理解がない	5	1	4
出産費用が高い	15	8	7
育児費用が高い	23	8	15
教育費用が高い	15	6	9
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	3	2
趣味と育児の両立が難しい	7	3	4
地域活動と育児の両立が難しい	0	0	0
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	3	1	2
配偶者の家事、育児への協力が期待できない	0	0	0
高齢のため	14	7	7
持病のため	10	2	8
配偶者が望まない	2	0	2
地域に不妊治療を受けられるところがない	13	8	5
不妊治療はしていないが、なかなか授からない	18	7	11
その他	17	7	10

【問 4.出身地×問 26.結婚から時間をおいて第一子がほしいと考えていた理由】

	出身地	上田市	市外
時間をおいて第一子が欲しいと考えていた理由	回答数	68	121
育休等で仕事のキャリアを中断させたくなかった	13	3	10
仕事が忙しかった	22	10	12
職場に自分の代わりがいなかった	2	2	0
職場に迷惑だと思った	9	5	4
仕事を辞める必要があった	8	4	4
出産費用を貯めるため	14	5	9
育児費用を貯めるため	14	4	10
教育費用を貯めるため	7	1	6
趣味を大事にしたかった	8	3	5
地域活動を大事にしたかった	0	0	0
夫婦の時間を大事にしたかった	61	20	41
不妊治療のため	13	2	11
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがなかった	9	5	4
配偶者の家事・育児への協力が期待できなかった	2	2	0
配偶者が望まなかった	2	1	1
その他	5	1	4

【問 4.出身地×問 28.第一子のみでいいと考える理由】

⇒「自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない」市外出身者と市内出身者で大きく回答が異なり、市外出身者に回答が多い。

⇒市外出身者は家事・育児の負担が大きく、第一子のみでいいと考えている。

	出身地	上田市	市外
第一子のみでいい理由	回答数	35	76
育休等で仕事のキャリアを中断させたくない	3	2	1
仕事が忙しい	4	2	2
職場に自分の代わりがない	0	0	0
職場に迷惑だと思う	0	0	0
仕事を辞める必要がある	2	0	2
職場に育児への理解がない	0	0	0
出産費用が高い	8	4	4
育児費用が高い	21	7	14
教育費用が高い	19	5	14
住宅ローンがあるため金銭面が不安	5	0	5
趣味と育児の両立が難しい	0	0	0
地域活動と育児の両立が難しい	2	0	2
PTA 活動と育児の両立が難しい	2	1	1
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	8	0	8
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	6	3	3
高齢のため	19	7	12
持病のため	2	0	2
配偶者が望まない	0	0	0
地域に不妊治療を受けられるところがない	1	1	0
ライフプランの中で子どもは一人がいいと考えている	5	0	5
その他	4	3	1

【問 4.出身地×問 29.第二子以降出産時の悩み】

⇒「自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない」市外出身者と市内出身者で大きく回答が異なり、市外出身者に回答が多い。

⇒市外出身者は家事・育児の負担が大きく、第二子出産時の悩みと考えていた。

	出身地	上田市	市外
第二子以降出産時の悩み	回答数	308	270
育休等で仕事のキャリアを中断してしまう	33	16	17
仕事が忙しい	24	15	9
職場に自分の代わりがない	9	7	2
職場に迷惑だと思った	14	9	5
仕事を辞める必要がある	17	10	7
職場に育児への理解がない	8	5	3
出産費用が高い	43	31	12
育児費用が高い	103	56	47
教育費用が高い	113	58	55
住宅ローンがあるため金銭面が不安	64	39	25
趣味と育児の両立	12	6	6
地域活動と育児の両立	6	4	2
PTA 活動と育児の両立	14	6	8
自分たち夫婦以外に家事・育児で頼るところがない	42	6	36
高齢のため	22	12	10
持病のため	3	3	0
配偶者が望まない	3	1	2
配偶者の家事・育児への協力が期待できない	16	8	8
地域に不妊治療を受けられるところがない	7	3	4
不妊治療はしていなかった、なかなか授からなかった	8	2	6
その他	17	11	6

【問 1.性別・問 6.同居の家族構成×問 16.市外への転出予定理由】

⇒女性の転出理由の中で第 2 位の「子育て支援制度が少ない」と回答しているのは「2 世代世帯（子と）」となっており、実際に子育てをしている世帯の意見であった。

	女						
		单身	夫婦	2世代世帯(子と)	2世代世帯(親と)	3世代世帯(親と子と)	その他
市外転出理由	122	30	18	45	12	13	2
市内・近郊に希望する学校や学部・学科がなかった	11	1	2	3	2	2	0
市内・近郊に希望する仕事・職場がなかった	16	7	0	4	2	2	1
市内・近郊で希望する仕事・職場に就けなかった	5	0	2	2	0	1	0
市外在住の方と結婚	3	1	1	0	1	0	0
自然環境が悪い	1	0	0	0	0	1	0
買い物などの日常生活が不便	2	1	0	1	0	0	0
交通が不便	5	3	0	2	0	0	0
医療福祉が充実していない	7	0	0	4	1	2	0
娯楽が少ない	9	3	2	1	2	0	0
生活費が高い(土地や物価等)	3	2	0	0	0	1	0
出産する場がない	2	0	1	0	1	0	0
保育環境が悪い	2	1	0	1	0	0	0
教育環境が悪い	4	0	0	3	1	0	0
子育て支援制度が少ない	13	2	1	6	2	2	0
子どもの遊ぶ場所が少ない	1	0	0	1	0	0	0
子連れで外出しにくい	2	0	0	1	0	1	0
転居先にご自身や配偶者の親族が住んでいる	13	3	4	5	0	1	0
転居先がご自身や配偶者の生まれ育った街だから	10	3	1	6	0	0	0
転居先で親族や配偶者の親族から土地や建物の譲渡や相続、売買があった	4	0	0	4	0	0	0
その他	9	3	4	1	0	0	1